

# 事業年報

Activity Report 2015 (No.33)

.....  
平成27年度版  
.....

通巻 第33号

公益財団法人 兵庫県予防医学協会  
Hyogo Health Service Association



# 綱 領

1. 国民の健康保持増進のため、予防医学事業の進展に務めることを目的とし、広く社会に貢献します。
2. 常に新しい医学の研究に取り組み、技術の向上を怠らず、正確に迅速な健診検査業務を行うとともに、保健知識の普及に努めます。
3. 確固とした自主独立の精神を堅持し、質実を心掛け、謙讓の気持ちを忘れず、協会発展のため誠実かつ積極的にその職責を全うします。

公益財団法人 兵庫県予防医学協会



## はじめに

本会の事業運営につきましては、日ごろより格別なるご支援とご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

超高齢化社会に突入し産業構造が変化する中、生活習慣病予防だけでなく、メンタルヘルス対策、認知症予防対策が最重要かつ喫緊の課題となってきております。

健診・検査を取り巻く環境といたしましては、平成27年12月に50人以上の事業場に対しストレスチェックの実施が義務化されました。事業主は、従業員の健康を管理するうえで、より高度な対応を求められており、その役割を全うするためには、事業主・産業医・衛生管理者ならびに健診機関等が今まで以上に協力することが必要です。本会では、充実したシステムを構築し、みなさまの「こころ」と「からだ」両面の健康管理・増進をサポートできるよう取り組んでまいります。

健診事業では、健康ライフプラザで神戸市国民健康保険加入者を対象に、特定健康診査・特定保健指導とがん検診を同時に受診できる『セット健診』を始めました。今後も神戸市との連携のもと、受診者の利便性を図り、受診率の向上に努めます。

経営面においては、健診センター及び改修した御影健診センターにかかる高額な減価償却費の影響もあり、厳しい状況が見込まれますが、全ての役職員がコスト削減の意識をもつとともに、健診・検査の精度及びサービスの向上を図り、より安定した経営基盤が築けるよう邁進いたします。さらに、予防医学事業の進展に努め、県民の疾病予防と健康増進に寄与するという公益財団法人としての使命を果たしてまいります。

このたび、平成27年度の事業活動内容をとりまとめ、「事業年報」を発刊いたしました。

ご高覧の上ご活用いただきますとともに、尚一層のご支援、ご指導を心よりお願い申し上げます。

平成28年5月

公益財団法人 兵庫県予防医学協会  
会 長 南 部 征 喜





(2) 喀痰細胞診 .....	63
10. 腸内細菌検査 .....	65
11. 環境測定 .....	66
12. 食品検査 .....	67
13. 水質検査 .....	68
14. 水道施設検査 .....	69

### Ⅲ 予防医学に関する調査研究事業

調査・研究 .....	73
1. 論文発表（総説論文、原著論文等） .....	73
2. 学会報告等 .....	73

### Ⅳ 健康支援のための健康増進事業及び健康教育事業

1. 健康づくり事業 .....	77
(1) 健康学習 .....	77
(2) 健康づくり教室 .....	79
2. 健康づくり支援事業 .....	84
(1) 講師派遣等 .....	84

### Ⅴ 沿革・概要

1. 沿革 .....	89
2. 施設概要 .....	94
3. 組織図 .....	95
4. 名簿 .....	96
(1) 評議員 .....	96
(2) 理事 .....	97
(3) 顧問・名誉会長 .....	98
5. 有資格者一覧 .....	99

# I 疾病予防に関する知識の 普及・啓発活動



# 1. 広報・情報提供事業

## (1) 機関誌「あすの健康」の発行

昭和48年7月から、予防医学知識の普及・啓発や健康づくり情報を広く提供することを目的として発行しており、平成27年12月で100号を迎えた。年4回発行し、県内の学校（小、中、高、大）、県内医師会、関連事業

所、行政、関係機関などに配布している。誌面は、「からだの話」「赤ちゃんの四季」「コラム折りおり」「ひょうご・小さな旅」「歴史を歩く」「トピックス」「協会情報」欄から構成されている。

	98号 平成27年6月	99号 平成27年9月	100号 平成27年12月	101号 平成28年3月
からだの話	肺がんの予防と早期発見	フレイル予防	胃がん	下肢静脈瘤
赤ちゃんの四季	人は、いつまで反抗期？	完全母乳主義の落とし穴	脳の進化からみた乳幼児期にふさわしい教育を考える	子宮内環境が生活習慣病に関係する
コラム折りおり	目の前にある「健康日本」	血圧の薬って、やめられない？	熱血先生とたばこ	運動嫌い
ひょうご・小さな旅	龍野城下町界限－たつの市龍野町	神戸市垂水区のウォーターフロント－神戸市垂水区海岸、平磯周辺	植村直己冒険館－豊岡市飯高町伊府	手柄山中央公園－姫路市西延末など
歴史を歩く	摩耶山の大神	諏訪山と金星台	神戸の山手で世界の宗教に	灘の浜に上陸した神々
協会情報	－	「ストレスチェック制度」実施に向けて－労働安全衛生法改正－	－	－

## (2) ホームページでの情報提供事業等

機関誌「あすの健康」やセミナー、フォーラムの参加者募集の案内を掲載するなど、予防医学の普及・啓発をおこなった。12月より新たに開設した禁煙外来のページを追加掲載した他、健康ライフプラザの健康づくり教室のコース分類を変更し、講師紹介ページとともに更新した。トップページのグローバルメニューをアコーディオ

ン形式に変更するなど、追加修正を加えながらより利用しやすいものに改善している。

「頭にいいラジオ」（ラジオ関西）のバナーもトップページに配置し、神戸新聞電子版を通して放送内容をいつでも聴いていただけるようにしている。

## 2. 講演会開催、講師派遣、普及・啓発活動

### (1) 講演会の開催

#### ① 予防医学フォーラム

昭和61年の予防医学事業推進神戸大会からさまざまなテーマで開催し、今回で30回目を迎えた。今年度は、神戸新聞松方ホールにおいて平成27年11月14日に開催した。

東北大学大学院医学系研究科行動医学分野教授 福土審氏から「脳と腸の不思議な関係」と題し、ご講演いた

だいた。

講演後は、聞き手に元神戸新聞論説委員 古山桂子氏との対談が行われ、心の健康を保つためにも腸の健康が大切である。便通を整えるためにも食生活や運動習慣を見直し、ストレスにもきちんと対処することが必要などと話し合われた。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
第30回 11月14日	<p>脳と腸の不思議な関係</p> <p>【要旨】 動物は1個の受精卵から発生し、分割を繰り返し腸が作られ、やがて脊髄ができ、その先端部がふくらんで脳が出来る。 脳のない動物は存在するが、腸のない動物は存在しない。腸こそが生物の基本であり、動物の進化は腸から始まったと言っても過言ではない。 脳の神経のひとつである迷走神経は、広く消化管に分布し、その90%の情報を脳に伝える。腸と脳は密接につながっている。 腸の状態が脳の情動に深くかかわり、腸と脳は互いに働きかけている。ストレスに強くなるためにも、腸内環境を整えることが大切。まずは、規則正しい生活習慣を持つ。食生活は、食物繊維が豊富な野菜や果物、豆類などを素材を生かした調理法で食べる伝統的な日本食がよい。適度な運動、音楽や自然などに親しむ、座禅やヨガなどでリラックスすることもおすすめ。 「老化に伴い腸の働きも落ち、便秘になりやすい。薬に頼り過ぎずに、なるべく食事や運動で解消してほしい」と話された。</p>	東北大学大学院医学系 研究科行動医学分野教授 福土 審 氏	640

#### ② いきいきライフセミナー

毎年9月のがん征圧月間にちなみがんの話や、さまざまな健康をテーマに「いきいきライフセミナー」を開催している。今年度は、平成27年9月12日に神戸新聞松方ホールにおいて開催した。

「がんを遠ざける生活習慣－予防のための正しい知

識」と題し、国立研究開発法人国立がん研究センターがん予防・検診研究センターセンター長 津金昌一郎氏にご講演いただいた。

講演後、元神戸新聞論説委員 古山桂子氏との対談では、日本人のためのがん予防法について詳しくお話があり、続いて座ったままできる健康表現体操があった。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
第28回 9月12日	<p>がんを遠ざける生活習慣 －予防のための正しい知識－</p> <p>【要旨】 がんは日本人の2人に1人がかかるといわれている。高齢になるほど罹患率も上がるので、老化現象の一つと捉えられる大変身近な病気である。 働き盛りの世代の死因をみると、その半数はがんが原因で亡くなっている。そのため、中高年ではがんに関する正しい知識を得て、生活習慣を改善し予防に努めることが大事である。定期的に検診を受け、精密検査の指示があれば必ず受診すること。 最近のがんに関する情報も数多く発表され、受け取る方は迷うが、これまでおこなわれた多くの研究を系統的に収集・評価して、現状において確かな、日本人にとって効果的な予防法が国立がん研究センターから提言されている。 「これらの予防法を実践している人は、ほとんど実践していない人と比べて、がんになる確率が半分くらいであるというデータもあるので、まずはこれらの予防法を実践することをお勧めする」と話された。</p>	国立研究開発法人 国立がん研究センター がん予防・検診研究センター センター長 津金 昌一郎 氏	604

## ③ がんをよく知るための講座

日本人の死亡率のトップを占める“がん”についての知識を深めるために、専門分野の医師による講座を開催

している。

今年度は健康ライフプラザ5階多目的室において2回開催した。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
第43回 7月31日	<p>知っておいて得する胃がんの知識 －予防から治療まで－</p> <p>【要旨】 胃がんは、胃の内部の粘膜に発生するがんで、時間がたつにつれ横に広がったり、中の方に深く潜っていく。最近では、まだ表面に近いところにがんがある早期がんの発見が増え、死亡率は低下している。主な原因は、ピロリ菌、塩分、喫煙など。長年ピロリ菌に感染している人は、がんの芽があるので、除菌してもがんになる可能性があるため、定期的な検診は必要。高濃度の塩分は胃の粘膜を傷つけ、それを修復する作業を繰り返すため、がんが起りやすくなる。塩分の取り過ぎは避けること。 治療の選択肢は進行度により、内視鏡あるいは手術で切ってしまうのが前提。早期がんの約半数は、内視鏡で胃の病巣部を切り取る治療で治る。QOLの観点からも胃の機能温存を第一に考え、治療法を選択する。胃がんで死なないためには、ならないのが一番。なった場合も、治療の選択をきちんとすること。</p>	<p>兵庫医科大学 外科学 上部消化管外科 主任教授 笹子 三津留 氏</p>	97
第44回 1月27日	<p>ここまでよくなった抗がん薬</p> <p>【要旨】 従来の抗がん薬の作用は、細胞の分裂を阻害し死滅させるといったものだった。そのため、がん細胞だけでなく、正常な細胞分裂をしている細胞にも影響を及ぼし、脱毛や白血球の減少、口内炎、下痢などの副作用が現れることが多かった。その後、がん細胞が増殖する複雑なメカニズムについての研究が進み、がん細胞を増殖させる因子に、分子レベルで照準を合わせ攻撃する「分子標的薬」が、国の承認を受け、がんの治療成績向上に大きく寄与している。 さらに今後は、人体に備わる免疫機能とがん細胞との関係に着目した「免疫チェックポイント阻害薬」が期待される。がん細胞が免疫の働きにブレーキをかけ、免疫細胞による攻撃を阻止していることを踏まえ、がん細胞のブレーキを阻害する。このように抗がん薬の進歩は目覚ましいが、がんのタイプにより使用法や効果も異なるため、正式な承認を受けた薬を専門の腫瘍内科医のもとで投与することが最も大事である。</p>	<p>神戸大学大学院 医学研究科 内科学講座 腫瘍・血液内科学分野 教授 南 博信 氏</p>	78

## ④ 働く人の健康管理研修会

「働く人の健康管理研修会」は、県下の各種団体や事業所・健康保険組合に勤務する衛生管理者、健康診断担当者や医療従事者に、産業保健分野に関する新しい情報

や時事の話題をタイムリーに提供するとともに、参加者相互の情報交換や交流の場として活用ができる機会となることを目的に、定期的を開催している。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
第46回 3月18日	<p>①『事例から学ぶ疾病サインと対応 －メンタルヘルス推進担当者が目指すものとは－』</p> <p>【要旨】 2015年12月1日よりスタートした「ストレスチェック制度」。制度新設の目的は、ストレスにより職場の生産性が低下することを防止するだけでなく、従業員が人間らしく扱われ、従業員の職場における自己実現を促進しようとするものである。社会構造の複雑化、価値観の多様化などにより、職場におけるメンタル不調も対応が困難な事例が増えてきている。最近のメンタル不調について、メンタルヘルス推進担当者は、どのように対処すべきかをお話いただいた。</p> <p>②『当協会のストレスチェック結果票について』</p>	<p>①神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 教授 神戸大学 名誉教授 前田 潔 氏</p> <p>②公益財団法人 兵庫県予防医学協会 保健師 亀井 真由美 氏</p>	36

## (2) 講師派遣（産業医としての指導も含む）

実施日	対 象	テ ー マ	講 師
8月21日	神戸交通振興株式会社	健診結果の見方・活かし方	健診センター副センター長 中 谷 利 夫
8月28日	株式会社ノーリツ 加古川事業所	健診結果の見方・活かし方	健診センター副センター長 中 谷 利 夫
9月2日	株式会社ノーリツ 関西支社	長時間労働と健康障害	健診センター副センター長 中 谷 利 夫
9月8日	コープファミリー倶楽部	いきいきライフのすすめ	会 長 南 部 征 喜
9月24日	株式会社ノーリツ 明石事業所	健診結果の見方・活かし方	健診センター副センター長 中 谷 利 夫
12月24日	株式会社ノーリツ 明石事業所	ストレスチェック制度の概要	健診センター副センター長 中 谷 利 夫
1月22日	神戸交通振興株式会社	労災と腰痛	健診センター副センター長 中 谷 利 夫
3月23日	株式会社ノーリツ 明石事業所	古くて新しい感染症の話	健診センター副センター長 中 谷 利 夫

## (3) 普及・啓発活動

結核、乳がんの早期発見や知識の普及啓発を目的に、自治体や各種団体が主催するキャンペーン事業に協力し、胸部X線検診車や乳がん検診車を配車するなど、市街地で結核健診、乳がん検診の集団検診を実施した。

結核健診受診者は、こうべ福祉・健康フェアで202名、結核ハイリスク者に対する早期発見および蔓延防止のための啓発活動で1,228名であった。

乳がん検診受診者は、母の日キャンペーンで21名、ピンクリボンフェスティバル神戸大会で21名であった。

ピンクリボンフェスティバル神戸大会では神戸推進委員会の一員として、企画運営に参加し、街頭キャンペーンやシンポジウムへの協力、スマイルウォーク参加者への乳がん検診実施など多方面で啓発活動をおこなった。

また、認知症予防に向けた自己健康管理への支援活動として認知症予防事業を開始し、まず認知症予防に関する

知識の普及啓発として講演会や講話を開催するとともに、タブレット端末を使用した認知機能スクリーニングを行なった。参加者は、自治会の世話役、事業所の健康づくり担当者などを対象とした講演会で56名、地域の自治会などでの講話及び認知症スクリーニングが2グループ34名であった。

その他、要介護予防事業の一環として、引き続きラジオ関西、神戸新聞社と連携し、認知症の予防啓発や高齢者の健康な生活の提案を目的に、「頭にいいラジオ」を製作・監修した。従来からの脳トレーニング、食生活、回想、コミュニケーション、運動などに加え、リスナーと直接コミュニケーションをとれる「なぞなぞ」を取り入れ、日替わりで放送した。その内容は神戸新聞電子版でも聴くことができる。

## Ⅱ 疾病予防のための健康診断 及び検査事業



# 1. 地域保健

## (1) 特定健康診査（神戸市）・神戸市健康診査

特定健康診査を神戸市国民健康保険などから受託し各区拠点会場において実施した。同時に神戸市独自の若年者（30、35～39歳）・後期高齢者などの神戸市健康診査も受託し実施した。検査項目、実施回数、受診者数は下記のとおりである。

基本項目：身長・体重・BMI・腹囲測定・尿検査・血圧測定・血液検査（肝機能、脂質、血糖）・診察（問診）  
 詳細検査：貧血検査・心電図検査・眼底検査  
 希望検査：骨粗鬆症検診、前立腺がん検診（PSA検査）  
 追加検査：結核健診

表1 特定健康診査（神戸市）・神戸市健康診査受診状況

年度	実施回数	実施人数	性別	受診者数						
				特定健康診査		神戸市健康診査			骨粗鬆症検診	前立腺がん検診
				神戸市国保	市国保以外	若年者	生活保護受給者等	後期高齢者		
平成25年度	406	49,365	男	16,875	160	947	101	1,965	2,670	10,108
			女	23,169	3,536	3,071	141	1,879	11,703	
			計	40,044	3,696	4,018	242	3,844	14,373	10,108
平成26年度	410	54,746	男	17,289	207	988	101	2,376	2,647	10,555
			女	23,200	4,957	3,121	144	2,363	12,210	
			計	40,489	5,164	4,109	245	4,739	14,857	10,555
平成27年度	425	54,940	男	16,680	211	1,021	91	2,757	2,743	10,598
			女	22,494	5,696	3,089	174	2,727	12,060	
			計	39,174	5,907	4,110	265	5,484	14,803	10,598

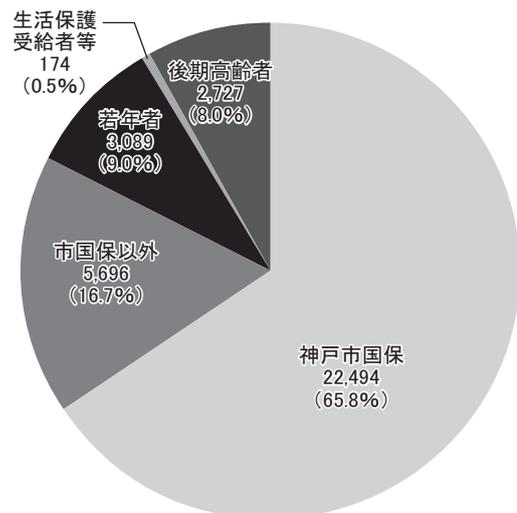
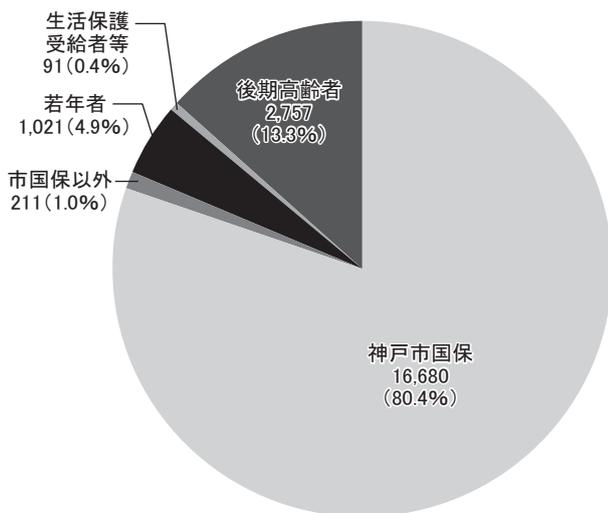


図1 特定健診・神戸市健康診査受診割合（男）

図2 特定健診・神戸市健康診査受診割合（女）

表2 特定健康診査（神戸市）受診結果

年度	実施人数	性別	受診者数	総合判定				有所見率 (%)
				異常なし	要注意	要医療	医療中	
平成25年度	40,044	男	16,875	448	3,449	6,794	6,184	76.9
		女	23,169	1,624	4,947	9,607	6,991	71.6
		計	40,044	2,072	8,396	16,401	13,175	73.9
平成26年度	40,489	男	17,289	508	3,442	6,910	6,429	77.2
		女	23,200	1,382	5,116	9,771	6,931	72.0
		計	40,489	1,890	8,558	16,681	13,360	74.2
平成27年度	39,174	男	16,680	386	3,359	6,555	6,380	77.5
		女	22,494	1,137	5,275	9,200	6,882	71.5
		計	39,174	1,523	8,634	15,755	13,262	74.1

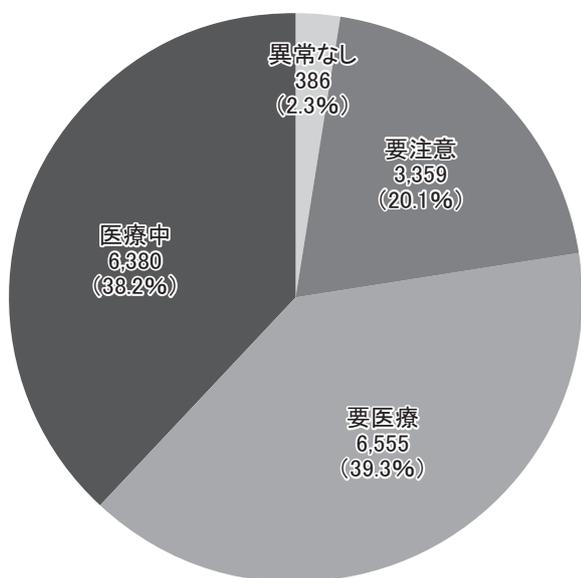


図3 特定健診（神戸市）受診結果（男）

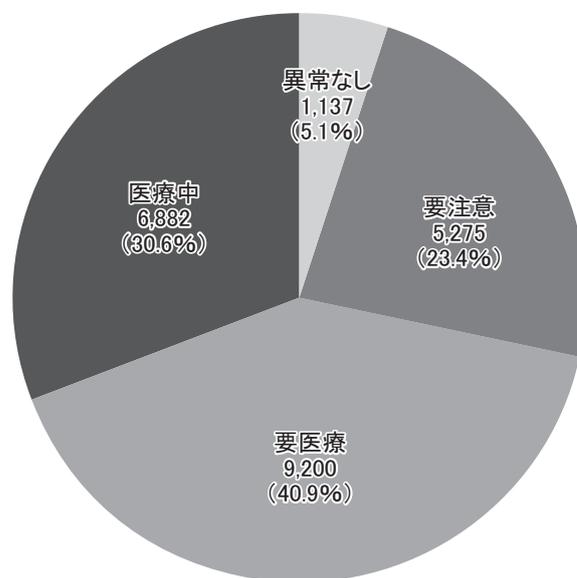


図4 特定健診（神戸市）受診結果（女）

表3 神戸市健康診査受診結果

種別	年度	実施人数	性別	受診者数	総合判定				有所見率 (%)
					異常なし	要注意	要医療	医療中	
若年者	平成25年度	4,018	男	947	160	398	374	15	41.1
			女	3,071	1,554	971	533	13	17.8
			計	4,018	1,714	1,369	907	28	23.3
	平成26年度	4,109	男	988	171	391	405	21	43.1
			女	3,121	1,469	1,042	586	24	19.5
			計	4,109	1,640	1,433	991	45	25.2
	平成27年度	4,110	男	1,021	154	421	431	15	43.7
			女	3,089	1,313	1,200	559	17	18.6
			計	4,110	1,467	1,621	990	32	24.9
生活保護受給者等	平成25年度	242	男	101	1	25	43	32	74.3
			女	141	29	36	47	29	53.9
			計	242	30	61	90	61	62.4
	平成26年度	245	男	101	6	21	39	35	73.3
			女	144	18	57	48	21	47.9
			計	245	24	78	87	56	58.4
	平成27年度	265	男	91	3	20	33	35	74.7
			女	174	24	52	57	41	56.3
			計	265	27	72	90	76	62.6
後期高齢者	平成25年度	3,844	男	1,965	38	409	656	862	77.3
			女	1,879	39	365	657	818	78.5
			計	3,844	77	774	1,313	1,680	77.9
	平成26年度	4,739	男	2,376	31	511	757	1,077	77.2
			女	2,363	47	451	885	980	78.9
			計	4,739	78	962	1,642	2,057	78.1
	平成27年度	5,484	男	2,757	42	578	902	1,235	77.5
			女	2,727	35	548	944	1,200	78.6
			計	5,484	77	1,126	1,846	2,435	78.1

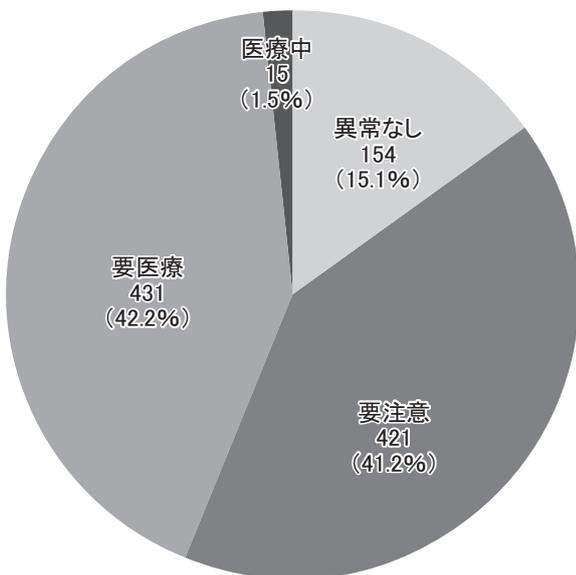


図5 若年者受診結果 (男)

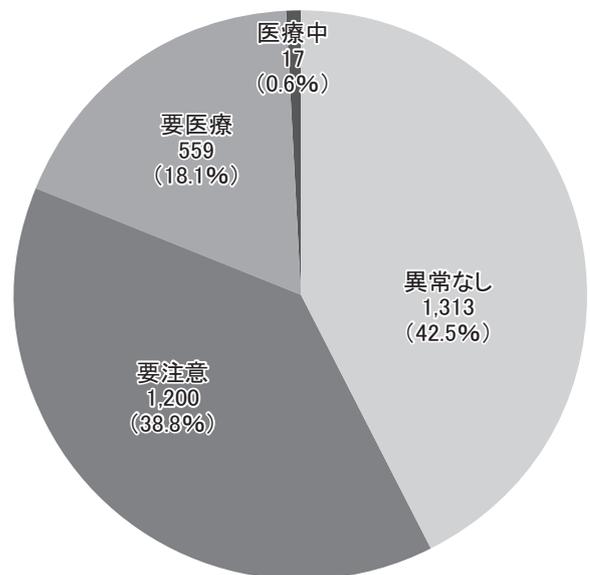


図6 若年者受診結果 (女)

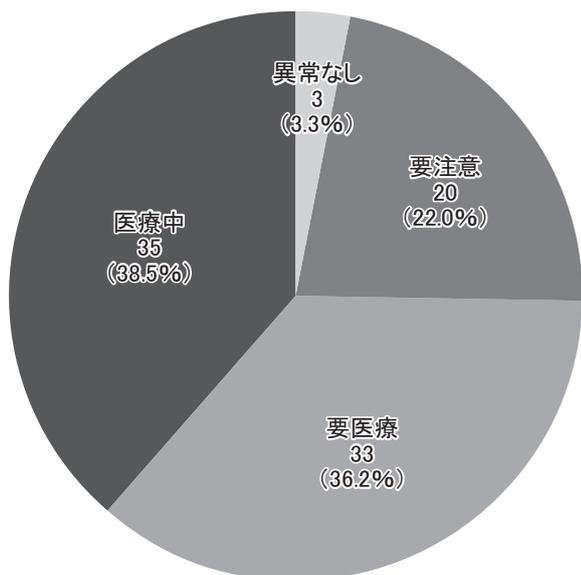


図7 生活保護受給者等受診結果（男）

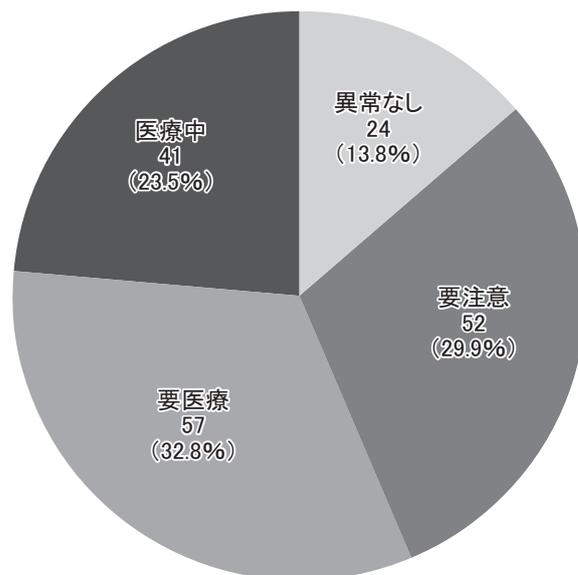


図8 生活保護受給者等受診結果（女）

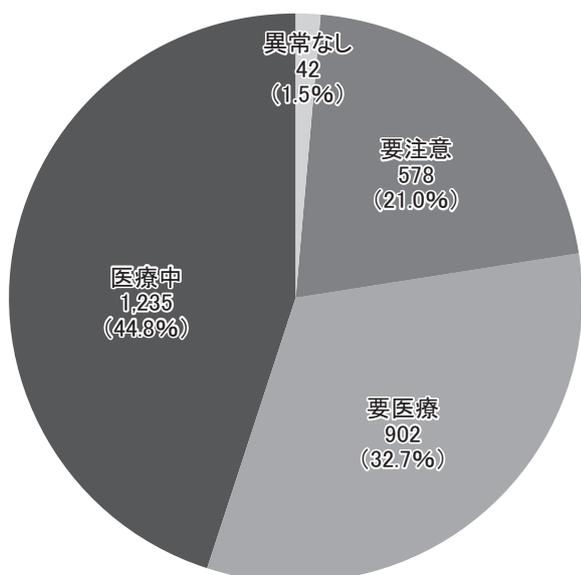


図9 後期高齢者受診結果（男）

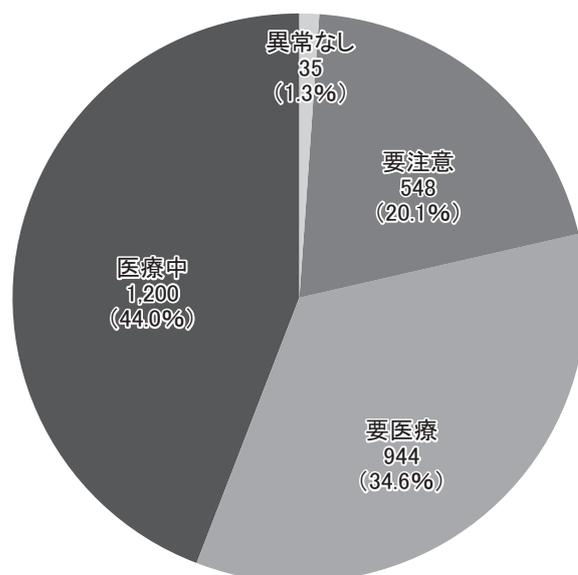


図10 後期高齢者受診結果（女）

## (2) 特定健康診査（神戸市以外）

表1 特定健康診査（神戸市以外）受診結果

年齢階級	性別	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)
40～44	男	70	35	50.0	60	35	58.3	60	40	66.7
	女	119	28	23.5	110	22	20.0	103	28	27.2
	計	189	63	33.3	170	57	33.5	163	68	41.7
45～49	男	73	36	49.3	82	53	64.6	76	40	52.6
	女	103	29	28.2	99	21	21.2	105	26	24.8
	計	176	65	36.9	181	74	40.9	181	66	36.5
50～54	男	71	47	66.2	52	32	61.5	64	39	60.9
	女	127	61	48.0	120	54	45.0	105	47	44.8
	計	198	108	54.5	172	86	50.0	169	86	50.9
55～59	男	84	61	72.6	60	42	70.0	57	40	70.2
	女	159	97	61.0	146	83	56.8	137	77	56.2
	計	243	158	65.0	206	125	60.7	194	117	60.3
60～64	男	152	116	76.3	128	102	79.7	116	91	78.4
	女	301	199	66.1	253	168	66.4	243	163	67.1
	計	453	315	69.5	381	270	70.9	359	254	70.8
65～69	男	271	221	81.5	292	237	81.2	332	269	81.0
	女	387	265	68.5	427	304	71.2	492	348	70.7
	計	658	486	73.9	719	541	75.2	824	617	74.9
70～74	男	154	120	77.9	185	142	76.8	210	160	76.2
	女	190	141	74.2	228	161	70.6	250	180	72.0
	計	344	261	75.9	413	303	73.4	460	340	73.9
合計	男	875	636	72.7	859	643	74.9	915	679	74.2
	女	1,386	820	59.2	1,383	813	58.8	1,435	869	60.6
	計	2,261	1,456	64.4	2,242	1,456	64.9	2,350	1,548	65.9

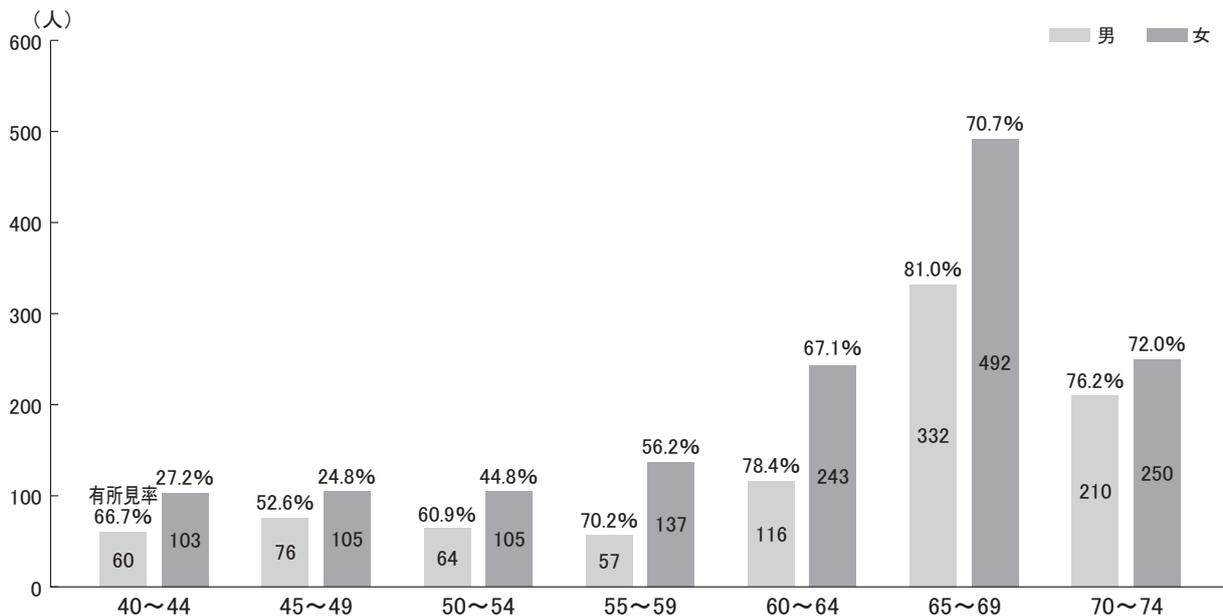


図1 年齢階級別受診者数と有所見率

### (3) 胃がん検診（神戸市・伊丹市）

地域胃がん検診は、胃部X線検査でおこなっており、神戸市、伊丹市より委託され地域住民を対象に実施している。神戸市は撮影を当協会、読影は神戸市医師会（一部当協会）、追跡管理は当協会でおこなっている。伊丹

市は撮影、読影は当協会が、追跡管理は伊丹市でおこなっている。受診勧奨を積極的におこない、休日にも検診を実施するなど、受診を促す環境の整備をすることにより受診率向上を図っている。

表1 胃部X線検査（神戸市）

年齢階級	性別	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	女	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	計	0	0	-	0	0	-	0	0	-
40～44	男	795	17	2.1	909	27	3.0	912	33	3.6
	女	2,187	67	3.1	2,297	96	4.2	2,380	89	3.7
	計	2,982	84	2.8	3,206	123	3.8	3,292	122	3.7
45～49	男	408	18	4.4	481	25	5.2	464	25	5.4
	女	743	38	5.1	867	20	2.3	972	40	4.1
	計	1,151	56	4.9	1,348	45	3.3	1,436	65	4.5
50～54	男	342	23	6.7	412	26	6.3	472	24	5.1
	女	625	22	3.5	800	31	3.9	880	52	5.9
	計	967	45	4.7	1,212	57	4.7	1,352	76	5.6
55～59	男	376	18	4.8	437	34	7.8	465	33	7.1
	女	730	31	4.2	880	47	5.3	921	44	4.8
	計	1,106	49	4.4	1,317	81	6.2	1,386	77	5.6
60～64	男	903	71	7.9	957	78	8.2	843	75	8.9
	女	1,562	79	5.1	1,676	112	6.7	1,512	82	5.4
	計	2,465	150	6.1	2,633	190	7.2	2,355	157	6.7
65～69	男	2,031	144	7.1	2,109	184	8.7	2,317	208	9.0
	女	2,214	127	5.7	2,320	163	7.0	2,484	216	8.7
	計	4,245	271	6.4	4,429	347	7.8	4,801	424	8.8
70～74	男	2,448	189	7.7	2,621	235	9.0	2,579	286	11.1
	女	2,182	132	6.0	2,200	160	7.3	2,136	185	8.7
	計	4,630	321	6.9	4,821	395	8.2	4,715	471	10.0
75歳以上	男	1,726	155	9.0	1,858	163	8.8	1,865	195	10.5
	女	1,308	72	5.5	1,387	102	7.4	1,288	79	6.1
	計	3,034	227	7.5	3,245	265	8.2	3,153	274	8.7
合計	男	9,029	635	7.0	9,784	772	7.9	9,917	879	8.9
	女	11,551	568	4.9	12,427	731	5.9	12,573	787	6.3
	計	20,580	1,203	5.8	22,211	1,503	6.8	22,490	1,666	7.4

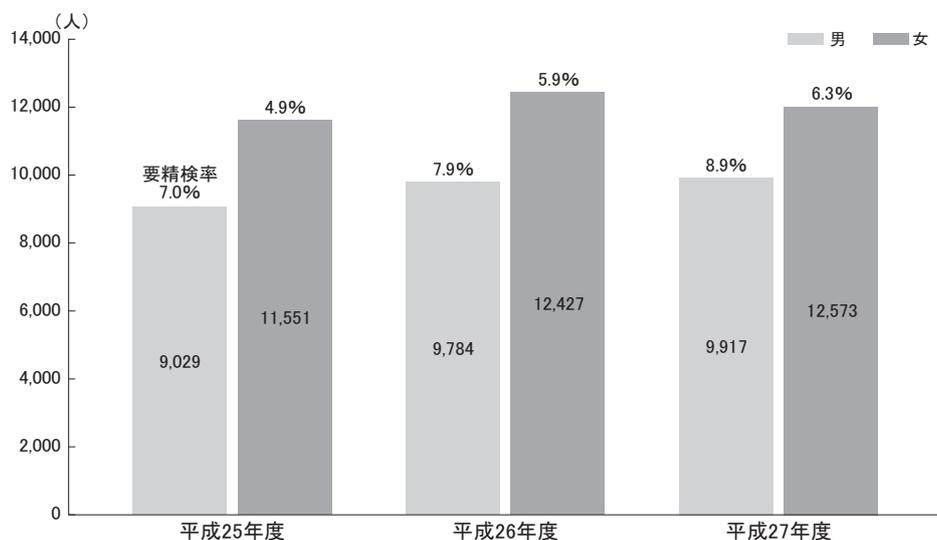


図1 胃がん検診年度別受診者数と要精検率（神戸市）

表2 胃部X線検査（伊丹市）

年齢階級	性別	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	女	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	計	0	0	-	0	0	-	0	0	-
40～44	男	48	1	2.1	53	2	3.8	39	2	5.1
	女	113	4	3.5	109	3	2.8	98	9	9.2
	計	161	5	3.1	162	5	3.1	137	11	8.0
45～49	男	51	5	9.8	39	1	2.6	36	2	5.6
	女	104	2	1.9	93	5	5.4	88	5	5.7
	計	155	7	4.5	132	6	4.5	124	7	5.6
50～54	男	34	0	0	39	0	0	38	5	13.2
	女	85	5	5.9	77	2	2.6	75	7	9.3
	計	119	5	4.2	116	2	1.7	113	12	10.6
55～59	男	39	2	5.1	36	1	2.8	27	4	14.8
	女	89	4	4.5	88	3	3.4	63	6	9.5
	計	128	6	4.7	124	4	3.2	90	10	11.1
60～64	男	80	6	7.5	71	10	14.1	64	4	6.3
	女	176	6	3.4	152	14	9.2	105	8	7.6
	計	256	12	4.7	223	24	10.8	169	12	7.1
65～69	男	244	34	13.9	231	21	9.1	230	28	12.2
	女	255	14	5.5	271	24	8.9	272	33	12.1
	計	499	48	9.6	502	45	9.0	502	61	12.2
70～74	男	259	16	6.2	226	25	11.1	195	15	7.7
	女	229	15	6.6	230	27	11.7	181	19	10.5
	計	488	31	6.4	456	52	11.4	376	34	9.0
75歳以上	男	233	24	10.3	234	29	12.4	236	32	13.6
	女	166	7	4.2	153	17	11.1	149	17	11.4
	計	399	31	7.8	387	46	11.9	385	49	12.7
合計	男	988	88	8.9	929	89	9.6	865	92	10.6
	女	1,217	57	4.7	1,173	95	8.1	1,031	104	10.1
	計	2,205	145	6.6	2,102	184	8.8	1,896	196	10.3

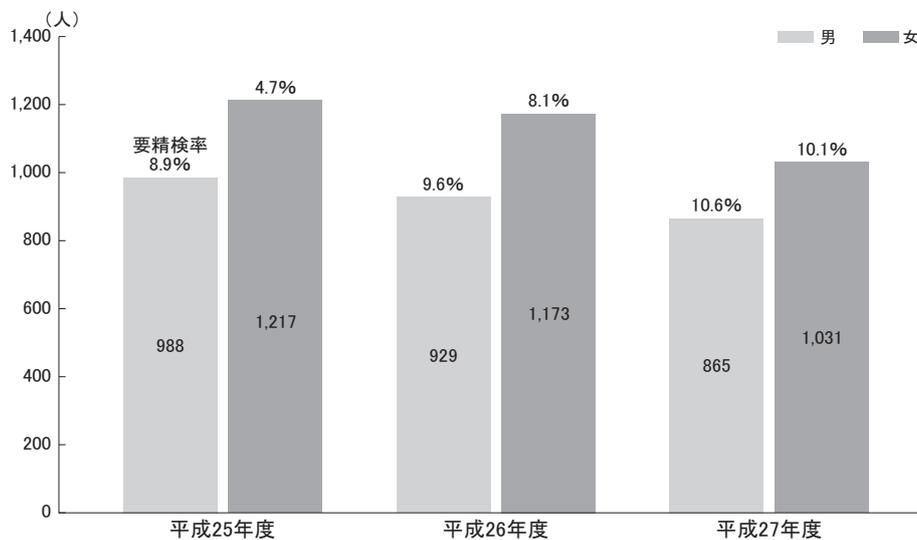


図2 胃がん検診年度別受診者数と要精検率（伊丹市）

### (4) 乳がん検診（神戸市・伊丹市・芦屋市）

乳がん検診は、マンモグラフィと視触診でおこなっている。

近年、乳がんの罹患率・死亡数の増加が注目され、地方自治体からの巡回検診の依頼や、受診者数は増加して

いる。これらに対応するため、検診車の効率的稼働と優良施設認定機関として精度管理など検診体制の充実を図っている。

表1 乳がん検診（神戸市）

年齢階級	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)
40～44	843	47	5.6	1,230	100	8.1	1,160	148	12.8
45～49	628	46	7.3	1,174	102	8.7	737	112	15.2
50～54	895	46	5.1	1,083	105	9.7	1,080	109	10.1
55～59	579	28	4.8	1,060	83	7.8	800	78	9.8
60～64	1,463	84	5.7	1,566	118	7.5	1,159	97	8.4
65～69	1,047	66	6.3	1,519	117	7.7	1,140	94	8.2
70歳以上	1,923	102	5.3	1,226	96	7.8	1,678	132	7.9
計	7,378	419	5.7	8,858	721	8.1	7,754	770	9.9

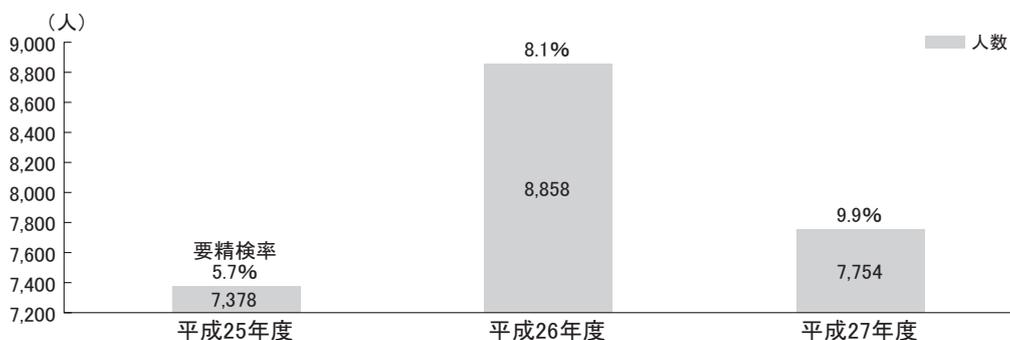


図1 乳がん検診年度別受診者数と要精検率（神戸市）

表2 乳がん検診（伊丹市）

年齢階級	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)
35～39	0	0	-	0	0	-	0	0	-
40～44	284	15	5.3	296	16	5.4	282	17	6.0
45～49	204	16	7.8	250	20	8.0	144	10	6.9
50～54	140	7	5.0	183	20	10.9	102	7	6.9
55～59	108	8	7.4	135	16	11.9	52	4	7.7
60～64	136	4	2.9	107	3	2.8	47	3	6.4
65～69	43	2	4.7	40	2	5.0	97	16	16.5
70歳以上	24	2	8.3	41	3	7.3	74	6	8.1
計	939	54	5.8	1,052	80	7.6	798	63	7.9

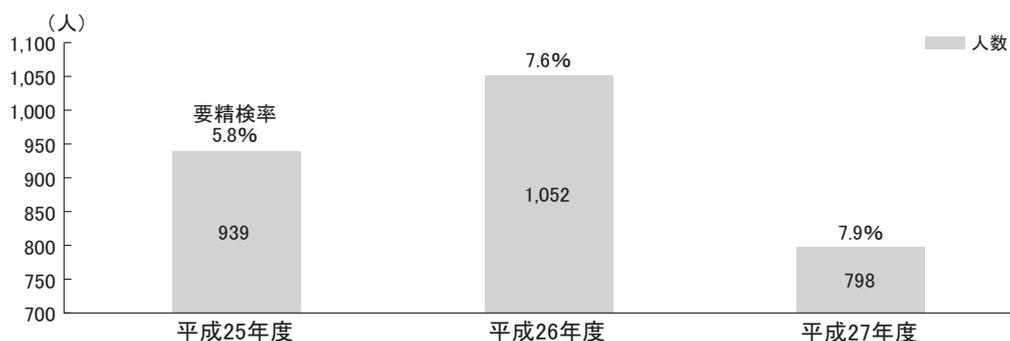


図2 乳がん検診年度別受診者数と要精検率（伊丹市）

表3 乳がん検診（芦屋市）

年齢階級	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)
40～44	127	7	5.5	130	10	7.7	175	8	4.6
45～49	92	4	4.3	83	7	8.4	82	8	9.8
50～54	71	11	15.5	92	8	8.7	67	5	7.5
55～59	93	6	6.5	99	10	10.1	66	4	6.1
60～64	139	5	3.6	88	7	8.0	69	2	2.9
65～69	87	4	4.6	95	8	8.4	127	11	8.7
70歳以上	78	7	9.0	101	8	7.9	132	7	5.3
計	687	44	6.4	688	58	8.4	718	45	6.3

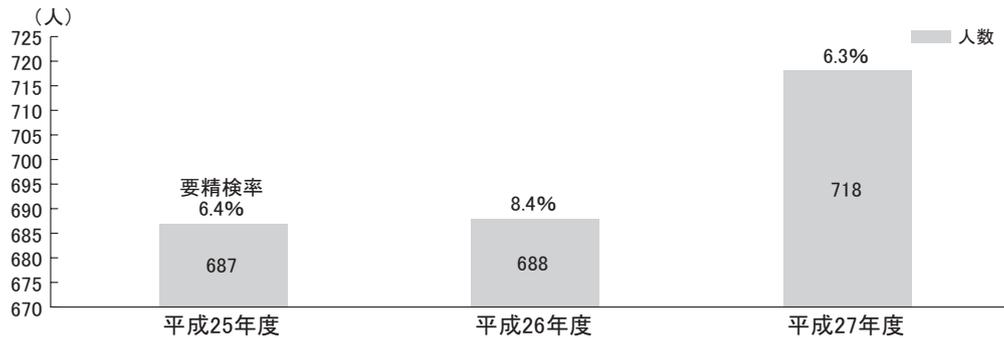


図3 乳がん検診年度別受診者数と要精検率（芦屋市）

### （5）子宮頸がん検診（指定医療機関分）

神戸市の「検診・健康診査実施要項」に基づく子宮がん検診の指定医療機関として実施している。

対象者は、神戸市民の20歳以上で偶数歳となる女性（自己負担1,700円）と70歳以上の女性（無料）および国の「女性特有のがん検診推進事業」により無料クーポンの配布を受けた神戸市民に加え、三田市民の受け入れ

もおこなっている。今年度は、健康ライフプラザにおいて開始したセット健診により大幅な増となっている。

また、検診項目に含まれる細胞診検査については、当協会が神戸市医師会を介して検査を全面的に受託しており、受診率向上の一端を担っている。

表1 子宮頸がん検診（診察）

年齢階級	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
	受診者数	有所見者数*	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)
34歳以下	97	3	3.1	128	1	0.8	86	5	5.8
35～39	55	4	7.3	77	2	2.6	36	2	5.6
40～44	453	29	6.4	371	21	5.7	467	19	4.1
45～49	130	9	6.9	107	13	12.1	148	14	9.5
50～54	108	5	4.6	117	5	4.3	184	7	3.8
55～59	88	2	2.3	74	4	5.4	137	7	5.1
60～64	93	4	4.3	92	3	3.3	243	5	2.1
65～69	69	1	1.4	64	2	3.1	246	8	3.3
70～74	68	2	2.9	49	—	0	206	2	1.0
75歳以上	22	—	0	20	—	0	26	1	3.8
計	1,183	59	5.0	1,099	51	4.6	1,779	70	3.9

※炎症性疾患、筋腫等の内診による所見

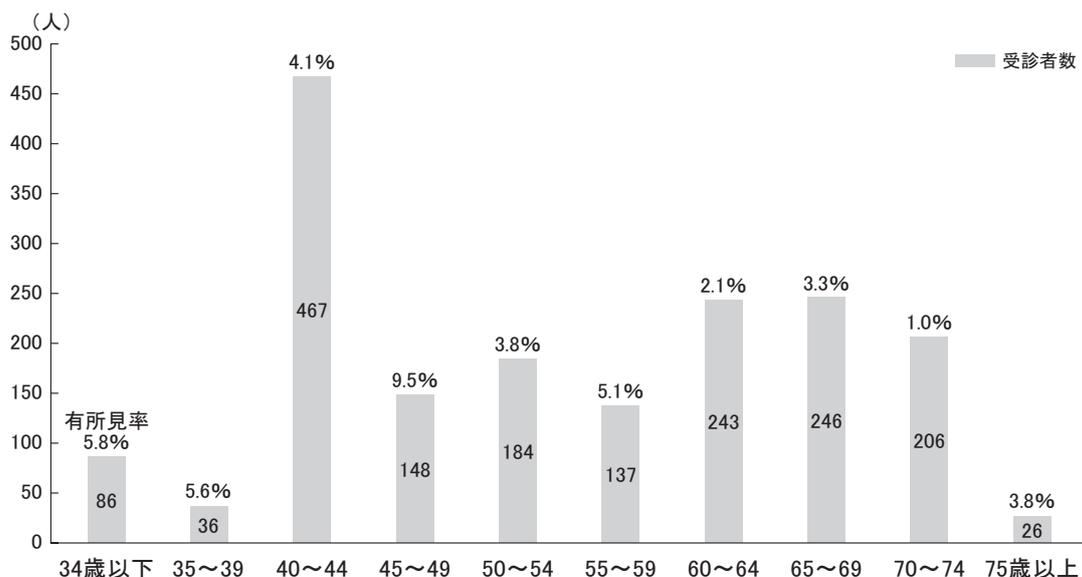


図1 子宮頸がん（診察）年齢階級別受診者数と有所見率

表2 子宮頸がん検診（細胞診）

年齢階級	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)
34歳以下	97	6	6.2	128	5	3.9	86	5	5.8
35～39	55	4	7.3	77	4	5.2	36	2	5.6
40～44	453	20	4.4	371	20	5.4	467	34	7.3
45～49	130	3	2.3	107	4	3.7	148	8	5.4
50～54	108	4	3.7	117	7	6.0	184	11	6.0
55～59	88	7	8.0	74	1	1.4	137	—	0
60～64	93	1	1.1	92	1	1.1	243	3	1.2
65～69	69	—	0	64	1	1.6	246	5	2.0
70～74	68	—	0	49	—	0	206	2	1.0
75歳以上	22	2	9.1	20	—	0	26	—	0
計	1,183	47	4.0	1,099	43	3.9	1,779	70	3.9

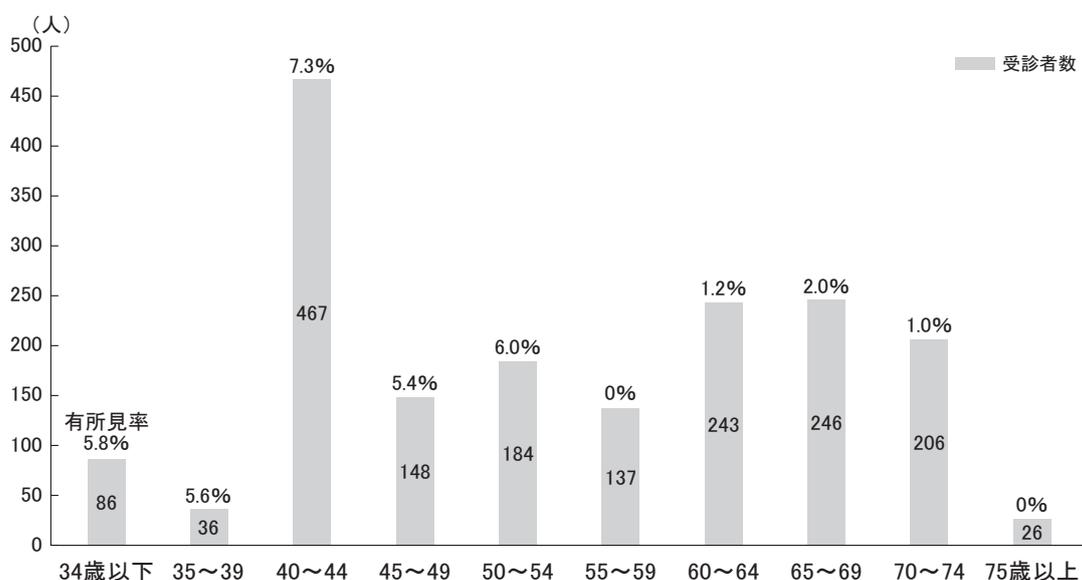


図2 子宮頸がん（細胞診）年齢階級別受診者数と有所見率

## (6) 肺がん検診（神戸市・伊丹市）

主に40歳以上の住民を対象とし、胸部X線撮影と喀痰細胞診を実施している。地域（神戸市・伊丹市）もこれ

に準じておこなっている。なお当協会は神戸市の肺がん検診の指定医療機関のひとつである。

表1 肺がん検診－胸部X線検査－（神戸市）

年齢階級		平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	女	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	—	0	0	—	0	0	—
40～44	男	18	0	0	7	0	0	14	1	7.1
	女	207	1	0.5	163	0	0	173	1	0.6
	計	225	0	0	170	0	0	187	2	1.1
45～49	男	1	0	0	3	0	0	2	1	50.0
	女	10	0	0	6	0	0	6	0	0
	計	11	0	0	9	0	0	8	1	12.5
50～54	男	6	0	0	1	0	0	3	0	0
	女	5	0	0	9	0	0	4	0	0
	計	11	0	0	10	0	0	7	0	0
55～59	男	8	0	0	1	0	0	3	0	0
	女	7	0	0	5	0	0	3	0	0
	計	15	0	0	6	0	0	6	0	0
60～64	男	9	1	11.1	2	0	0	3	0	0
	女	11	0	0	6	0	0	5	0	0
	計	20	1	5.0	8	0	0	8	0	0
65～69	男	19	1	5.3	10	1	10.0	8	1	12.5
	女	16	0	0	11	1	9.1	8	1	12.5
	計	35	0	0	21	2	9.5	16	2	12.5
70～74	男	6	0	0	5	0	0	3	0	0
	女	9	2	22.2	7	0	0	6	1	17
	計	15	2	13.3	12	0	0	9	1	11
75歳以上	男	7	0	0	4	0	0	3	0	0
	女	4	0	0	2	0	0	2	0	0
	計	11	0	0	6	0	0	5	0	0
合計	男	74	2	2.7	33	1	3.0	39	3	7.7
	女	269	3	1.1	209	1	0.5	207	3	1.4
	計	343	5	1.5	242	2	0.8	246	6	2.4

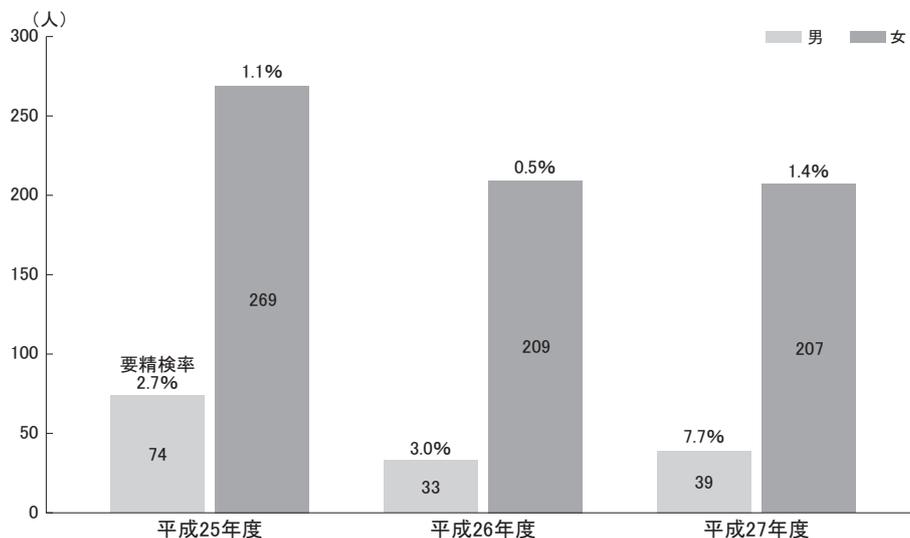


図1 肺がん検診年度別受診者数と要精検率－胸部X線－（神戸市）

表2 肺がん検診 ー喀痰細胞診ー (神戸市)

年齢階級		平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	女	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	—	0	0	—	0	0	—
40～44	男	11	0	0	5	0	0	12	0	0
	女	79	0	0	69	0	0	84	0	0
	計	90	0	0	74	0	0	96	0	0
45～49	男	1	0	0	2	0	0	2	0	0
	女	6	0	0	2	0	0	4	0	0
	計	7	0	0	4	0	0	6	0	0
50～54	男	5	0	0	1	0	0	3	0	0
	女	2	0	0	7	0	0	3	0	0
	計	7	0	0	8	0	0	6	0	0
55～59	男	4	0	0	1	0	0	0	0	—
	女	4	0	0	2	0	0	2	0	0
	計	8	0	0	3	0	0	2	0	0
60～64	男	9	0	0	2	1	50.0	2	0	0
	女	4	0	0	5	1	20.0	3	0	0
	計	13	0	0	7	2	28.6	5	0	0
65～69	男	10	0	0	5	0	0	6	0	0
	女	5	0	0	7	0	0	3	0	0
	計	15	0	0	12	0	0	9	0	0
70～74	男	4	0	0	5	0	0	1	0	0
	女	6	0	0	5	0	0	3	0	0
	計	10	0	0	10	0	0	4	0	0
75歳以上	男	7	0	0	3	0	0	2	0	0
	女	3	0	0	2	0	0	2	0	0
	計	10	0	0	5	0	0	4	0	0
合 計	男	51	0	0	24	1	4.2	28	0	0
	女	109	0	0	99	1	1.0	104	0	0
	計	160	0	0	123	2	1.6	132	0	0

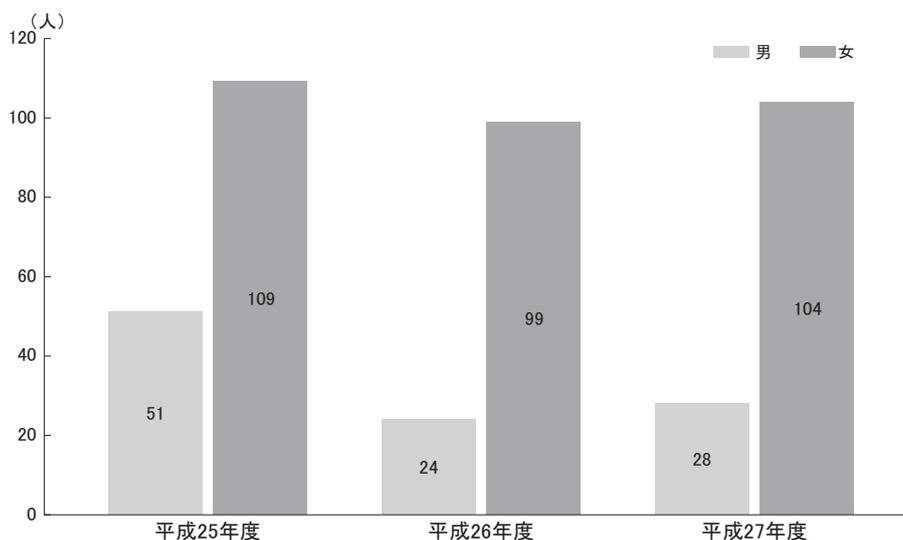


図2 肺がん検診年度別受診者数 ー喀痰細胞診ー (神戸市)

表3 肺がん検診 ー胸部X線検査ー (伊丹市)

年齢階級		平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	6	0	0	5	0	0	5	0	0
	女	15	0	0	8	0	0	12	0	0
	計	21	0	0	13	0	0	17	0	0
40～44	男	48	0	0	51	4	8.0	40	0	0
	女	93	1	1.1	104	2	1.9	89	1	1.1
	計	141	1	0.7	155	6	3.9	129	1	0.8
45～49	男	45	0	0	42	0	0	37	0	0
	女	104	0	0	94	0	0	82	2	2.4
	計	149	0	0	136	0	0	119	2	1.7
50～54	男	34	1	2.9	35	0	0	39	2	5.1
	女	80	0	0	87	2	0	75	3	4.0
	計	114	1	0.9	122	2	1.6	114	5	4.4
55～59	男	43	0	0	36	0	0	31	0	0
	女	100	2	2.0	87	1	1.2	71	1	1.4
	計	143	2	1.4	123	1	0.8	102	1	1.0
60～64	男	95	1	1.1	75	2	2.7	72	0	0
	女	194	8	4.1	178	4	2.3	123	2	1.6
	計	289	9	3.1	253	6	2.4	195	2	1.0
65～69	男	285	7	2.5	255	4	1.6	268	10	3.7
	女	292	9	3.1	333	8	2.4	328	16	4.9
	計	577	16	2.8	588	12	2.0	596	26	4.4
70～74	男	245	7	2.9	245	13	5.3	227	10	4.4
	女	233	3	1.3	247	5	2.0	248	11	4.4
	計	478	10	2.1	492	18	3.7	475	21	4.4
75歳以上	男	224	12	5.4	234	16	6.8	241	11	4.6
	女	164	10	6.1	162	6	3.7	152	5	3.3
	計	388	22	5.7	396	22	5.6	393	16	4.1
合計	男	1,025	28	2.7	978	39	4.0	960	33	3.4
	女	1,275	33	2.6	1,300	28	2.2	1,180	41	3.5
	計	2,300	61	2.7	2,278	67	2.9	2,140	74	3.5

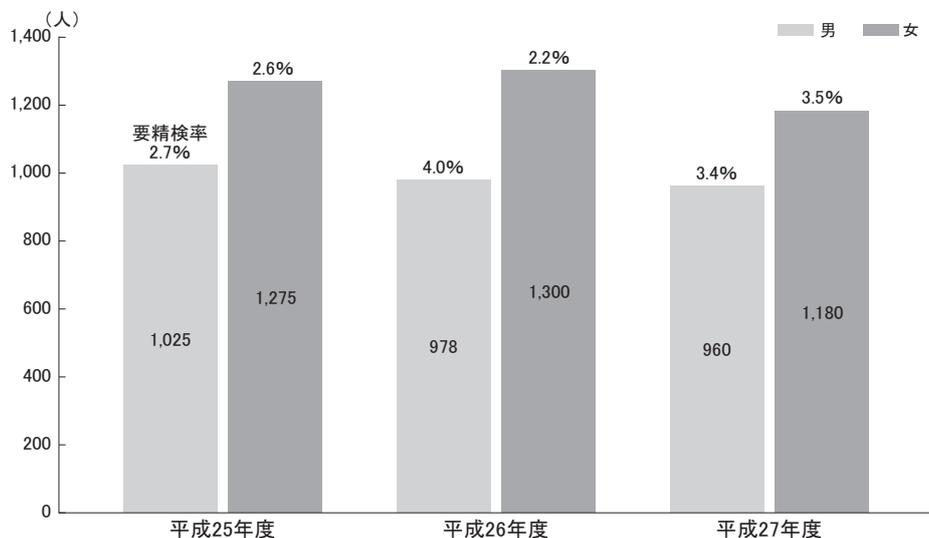


図3 肺がん検診年度別受診者数と要精検率 ー胸部X線ー (伊丹市)

表4 肺がん検診 ー喀痰細胞診ー (伊丹市)

年齢階級		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	2	0	0	3	0	0	0	0	-
	女	3	0	0	1	0	0	1	0	0
	計	5	0	0	4	0	0	1	0	0
40～44	男	14	0	0	11	0	0	9	0	0
	女	4	0	0	5	0	0	7	0	0
	計	18	0	0	16	0	0	16	0	0
45～49	男	12	0	0	6	0	0	11	0	0
	女	6	0	0	5	0	0	2	0	0
	計	18	0	0	11	0	0	13	0	0
50～54	男	7	0	0	10	0	0	10	0	0
	女	4	0	0	6	0	0	8	0	0
	計	11	0	0	16	0	0	18	0	0
55～59	男	10	0	0	15	0	0	16	0	0
	女	7	0	0	9	0	0	3	0	0
	計	17	0	0	24	0	0	19	0	0
60～64	男	36	0	0	19	0	0	23	0	0
	女	12	0	0	16	0	0	17	0	0
	計	48	0	0	35	0	0	40	0	0
65～69	男	73	0	0	73	1	1.4	90	0	0
	女	35	0	0	44	0	0	35	0	0
	計	108	0	0	117	1	0.9	125	0	0
70～74	男	79	0	0	65	0	0	56	0	0
	女	33	0	0	31	0	0	31	0	0
	計	112	0	0	96	0	0	87	0	0
75歳以上	男	58	0	0	60	0	0	70	0	0
	女	7	0	0	9	0	0	7	0	0
	計	65	0	0	69	0	0	77	0	0
合 計	男	291	0	0	262	1	0.4	285	0	0
	女	111	0	0	126	0	0	111	0	0
	計	402	0	0	388	1	0.3	396	0	0

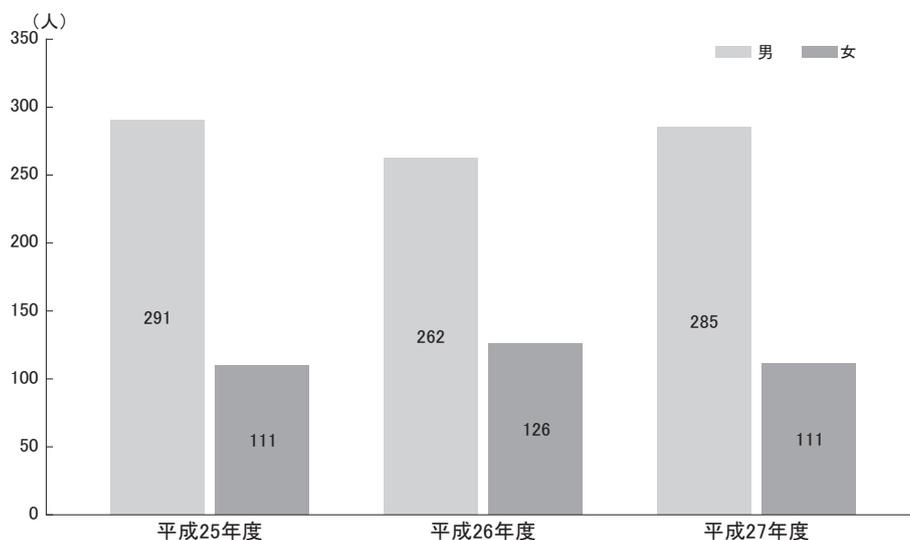


図4 肺がん検診年度別受診者数 ー喀痰細胞診ー (伊丹市)

### (7) 大腸がん検診（神戸市）

神戸市からの委託により、便潜血検査での大腸がん検診を平成3年度から実施している。神戸市在住の40歳以上の住民を対象とし、郵送法での検体受付期間は外気温が検査精度に及ぼす影響を考慮して11月～翌3月、神戸

市市民検診実施時に会場への持ち込みは通年で実施している。

要精検率は4.0～10.9%でほぼ年齢階級が上がるほど大きくなっていく傾向にある。

表1 大腸がん検診（便潜血検査）

年齢階級		平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
40～44	男	3,090	147	4.8	3,625	158	4.4	3,605	153	4.2
	女	6,278	324	5.2	6,930	382	5.5	7,296	360	4.9
	計	9,368	471	5.0	10,555	540	5.1	10,901	513	4.7
45～49	男	2,809	145	5.2	3,314	160	4.8	3,673	153	4.2
	女	5,377	246	4.6	5,995	276	4.6	6,609	278	4.2
	計	8,186	391	4.8	9,309	436	4.7	10,282	431	4.2
50～54	男	2,851	167	5.9	3,247	194	6.0	3,655	185	5.1
	女	5,489	289	5.3	6,085	268	4.4	6,945	296	4.3
	計	8,340	456	5.5	9,332	462	5.0	10,600	481	4.5
55～59	男	2,952	199	6.7	3,563	231	6.5	3,862	237	6.1
	女	5,748	287	5.0	6,602	307	4.7	7,389	298	4.0
	計	8,700	486	5.6	10,165	538	5.3	11,251	535	4.8
60～64	男	5,063	403	8.0	5,522	449	8.1	5,426	336	6.2
	女	8,570	466	5.4	9,052	468	5.2	9,662	435	4.5
	計	13,633	869	6.4	14,574	917	6.3	15,088	771	5.1
65～69	男	3,891	315	8.1	4,129	288	7.0	5,328	350	6.6
	女	5,957	295	5.0	6,485	357	5.5	8,341	416	5.0
	計	9,848	610	6.2	10,614	645	6.1	13,669	766	5.6
70～74	男	4,766	423	8.9	4,910	425	8.7	4,962	371	7.5
	女	6,228	391	6.3	6,504	366	5.6	6,576	361	5.5
	計	10,994	814	7.4	11,414	791	6.9	11,538	732	6.3
75～79	男	3,025	300	9.9	3,117	298	9.6	3,355	271	8.1
	女	3,900	311	8.0	4,098	294	7.2	4,406	284	6.4
	計	6,925	611	8.8	7,215	592	8.2	7,761	555	7.2
80歳以上	男	2,409	276	11.5	2,647	303	11.4	2,892	314	10.9
	女	2,875	262	9.1	3,287	305	9.3	3,703	332	9.0
	計	5,284	538	10.2	5,934	608	10.2	6,595	646	9.8
合計	男	30,856	2,375	7.7	34,074	2,506	7.4	36,758	2,370	6.4
	女	50,422	2,871	5.7	55,038	3,023	5.5	60,927	3,060	5.0
	計	81,278	5,246	6.5	89,112	5,529	6.2	97,685	5,430	5.6

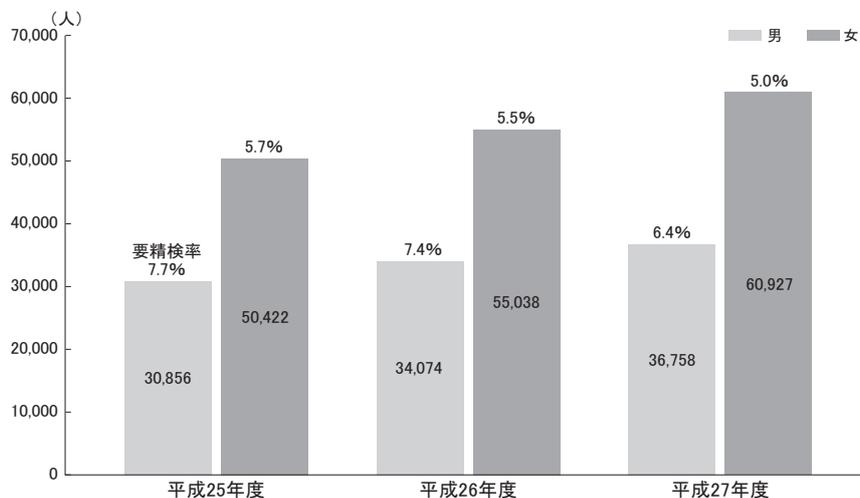


図1 大腸がん検診年度別受診者数と要精検率（便潜血）

### (8) 前立腺がん検診

前立腺がん検診は通常健康診断に追加可能なオプション検査として、または単独の前立腺がん検査としておこなわれている。血中PSA（前立腺特異抗原）を測

定する。特定健康診査受検年齢層のうち、高齢になるほど、特に60歳以降で要精検率は上昇している。

表1 前立腺がん検診（PSA）

年齢階級	平成25年度				平成26年度				平成27年度			
	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率(%)
34歳以下	2	2	0	0	3	3	0	0	8	8	0	0
35～39	116	112	4	3.4	127	124	3	2.4	176	174	2	1.1
40～44	199	194	5	2.5	196	192	4	2.0	212	209	3	1.4
45～49	215	210	5	2.3	234	230	4	1.7	212	210	2	0.9
50～54	432	420	12	2.8	470	452	18	3.8	448	440	8	1.8
55～59	547	516	31	5.7	516	487	29	5.6	522	505	17	3.3
60～64	1,298	1,186	112	8.6	1,164	1,047	117	10.1	1,033	950	83	8.0
65～69	2,851	2,575	276	9.7	3,054	2,717	337	11.0	3,109	2,860	249	8.0
70～74	3,224	2,963	261	8.1	3,324	3,026	298	9.0	3,123	2,921	202	6.5
75～79	1,013	917	96	9.5	1,189	1,078	111	9.3	1,393	1,303	90	6.5
80歳以上	211	180	31	14.7	278	244	34	12.2	362	320	42	11.6
計	10,165	9,379	786	7.7	10,555	9,600	955	9.0	10,598	9,900	698	6.6

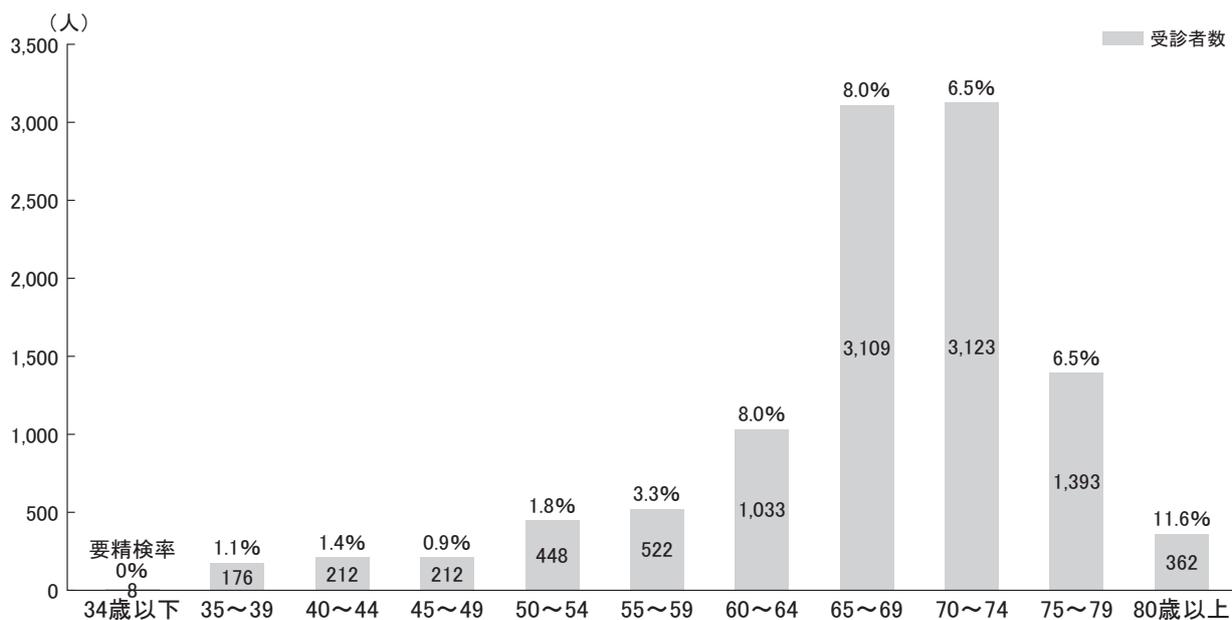


図1 前立腺がん検診年齢階級別受診者数と要精検率

## (9) 結核健診（神戸市）

神戸市より委託を受け、胸部X線撮影で各種結核健診を実施した。

市民健診同時実施分以外は、医師の指示があった場合には、喀痰検査もおこなっている。

### 市民健診同時実施分

感染症法第53条の2に基づく結核定期健診。15歳以上の市民を対象者として神戸市市民健診と同時に実施し、保健衛生、公衆衛生の確保をおこなうとともに、結核患者の早期発見およびまん延防止を図る。

### 管理健診

感染症法第53条の13に基づいて、保健所長が結核登録者に対して実施する健康診断（精密検査）。治療終了者の再発防止のための早期発見および治療放置患者あるいは病状不明の登録者に対する病状把握や悪化防止、治療

復帰への指導を目的とする。

### 接触者健診

感染症法第17条に基づき、結核患者が発見された場合にその周囲の者に対しておこなう健康診断。感染者の早期発見および患者の感染源の追求により、新たな感染防止を図る。

### ハイリスク者健診

結核を発病する率が高いとされる、社会的経済的弱者および外国人や若年のフリーター、ホームレスなど、受診機会のない人々に対しておこなう健康診断。画像診断モニター積載デジタル検診車を用い、その場で要精密者に対し適切な医療の提供、指導をおこない、結核患者の早期発見およびまん延防止を図る。

表1 神戸市結核健診

結核健診種類内訳	結核定期健診 (市民健診同時実施分)	管理健診	接触者健診	ハイリスク者健診
平成25年度受診者数	50,258	274	959	1,640
平成26年度受診者数	51,494	240	750	1,495
平成27年度受診者数	52,908	232	670	1,430

表2 神戸市結核健診（市民健診同時実施分）結果

年度	受診者数	性別	計 (F)	正常 (A)	ほぼ正常 (B)	要検査 (C)	要医療 (D)	医療中 (E)	有所見率(%) (C+D+E)/F
平成25年度	50,258	男	20,104	17,912	1,623	170	398	1	2.8
		女	30,154	28,251	1,372	189	341	1	1.8
		計	50,258	46,163	2,995	359	739	2	2.2
平成26年度	51,494	男	20,527	18,184	1,663	232	443	5	3.3
		女	30,967	28,862	1,458	206	441	0	2.1
		計	51,494	47,046	3,121	438	884	5	2.6
平成27年度	52,908	男	20,837	18,089	1,896	283	565	4	4.1
		女	32,071	29,522	1,699	275	574	1	2.7
		計	52,908	47,611	3,595	558	1,139	5	3.2

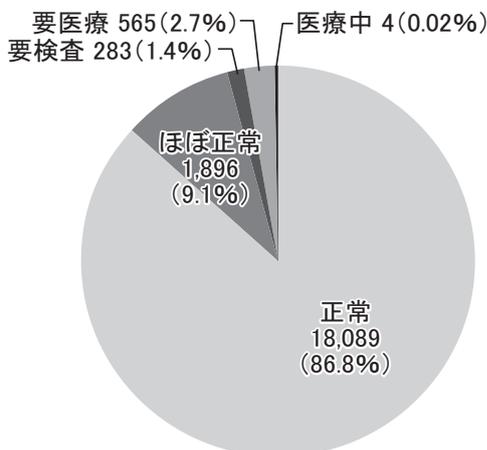


図1 結核健診受診結果（男）

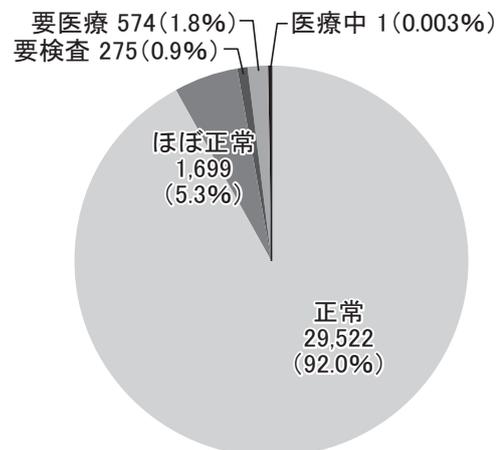


図2 結核健診受診結果（女）

## (10) 肝炎検査（神戸市・芦屋市・伊丹市）

肝炎検査は、B型肝炎ウイルス（HBV）検査と、C型肝炎ウイルス（HCV）検査を実施する。厚生労働省の定める「肝炎ウイルス検診等実施要領」に基づき行われ、B型肝炎ウイルスは、HBs抗原検査の結果により感染の有無を判定する。C型肝炎ウイルスは、上記要領が

改定された平成25年度4月以降、図1の判定過程をとっている。芦屋市は、受診者の希望によりC型肝炎ウイルス検査のみの検査依頼が発生したため、両検査の件数が一致しない年度がある。肝炎検査では、原則B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査の両方を行う。

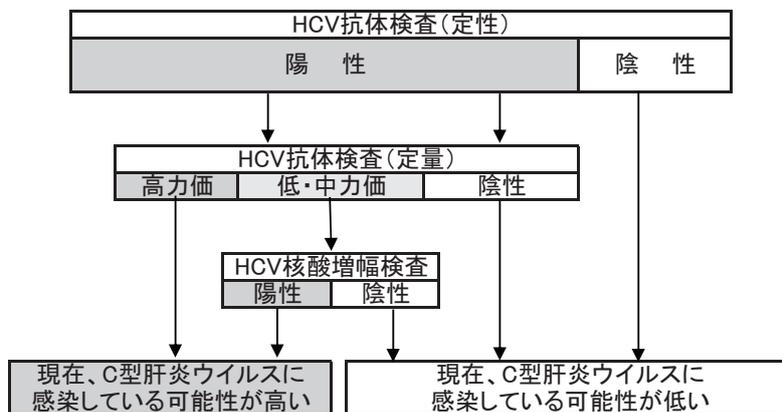


図1 C型肝炎ウイルス検査の流れ

表1 C型肝炎ウイルス検査関連項目件数（神戸市）

項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度
HCV抗体定性	検査数	8,478	9,039	8,007
	検査数 (%)	81 ( 1.0)	76 ( 0.8)	66 ( 0.8)
HCV抗体定量	陽性数 (%)	48 ( 59.3)	42 ( 55.3)	48 ( 72.7)
	検査数 (%)	28 ( 0.3)	24 ( 0.3)	22 ( 0.3)
HCV核酸増幅	陽性数 (%)	3 ( 10.7)	1 ( 4.2)	0 ( 0)

表2 肝炎検査陽性<sup>\*1</sup>率の推移（神戸市）

検診項目	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	件数	陽性数 (%)	件数	陽性数 (%)	件数	陽性数 (%)
B型肝炎ウイルス	8,478	57 (0.7)	9,039	61 (0.7)	8,007	71 (0.9)
C型肝炎ウイルス	8,478	23 (0.3)	9,039	19 (0.2)	8,007	26 (0.3)

表3 C型肝炎ウイルス検査関連項目件数（芦屋市）

項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度
HCV抗体定性	検査数	653	414	349
	検査数 (%)	9 ( 1.4)	5 ( 1.2)	3 ( 0.9)
HCV抗体定量	陽性数 (%)	5 ( 55.6)	4 ( 80.0)	2 ( 66.7)
	検査数 (%)	4 ( 0.6)	4 ( 1.0)	1 ( 0.3)
HCV核酸増幅	陽性数 (%)	0 ( 0)	1 ( 25.0)	0 ( 0)

表4 肝炎検査陽性率の推移（芦屋市）

検診項目	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	件数	陽性数 (%)	件数	陽性数 (%)	件数	陽性数 (%)
B型肝炎ウイルス	653	5 (0.8)	413	2 (0.5)	348	3 (0.9)
C型肝炎ウイルス	653	1 (0.2)	414	1 (0.2)	349	1 (0.3)

表5 C型肝炎ウイルス検査関連項目件数（伊丹市）

項 目		平成25年度	平成26年度	平成27年度
HCV抗体定性	検査数	170	198	252
HCV抗体定量	検査数 (%)	3 ( 1.8)	2 ( 1.0)	4 ( 1.6)
	陽性数 (%)	2 ( 66.7)	2 (100.0)	4 (100.0)
HCV核酸増幅	検査数 (%)	1 ( 0.6)	1 ( 0.5)	2 ( 0.8)
	陽性数 (%)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)

表6 肝炎検査陽性率の推移（伊丹市）

検診項目	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	件 数	陽性数 (%)	件 数	陽性数 (%)	件 数	陽性数 (%)
B型肝炎ウイルス	170	0 ( 0)	198	2 (1.0)	252	4 (1.6)
C型肝炎ウイルス	170	1 (0.6)	198	1 (0.5)	252	2 (0.8)

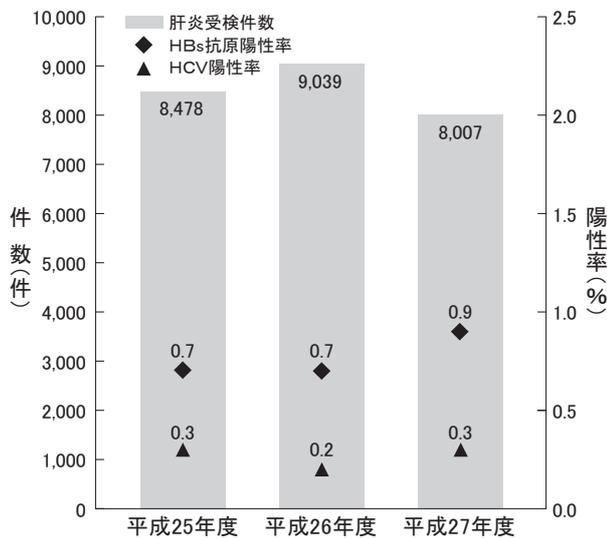


図2 年度別受検件数と陽性率（神戸市）

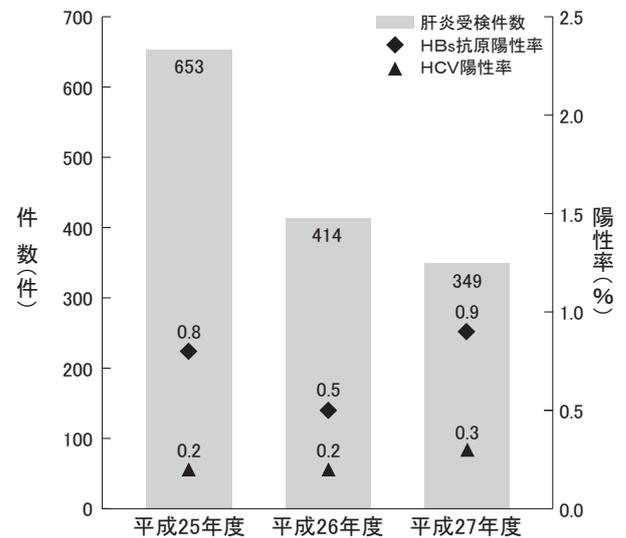


図3 年度別受検件数と陽性率（芦屋市）<sup>\*2</sup>

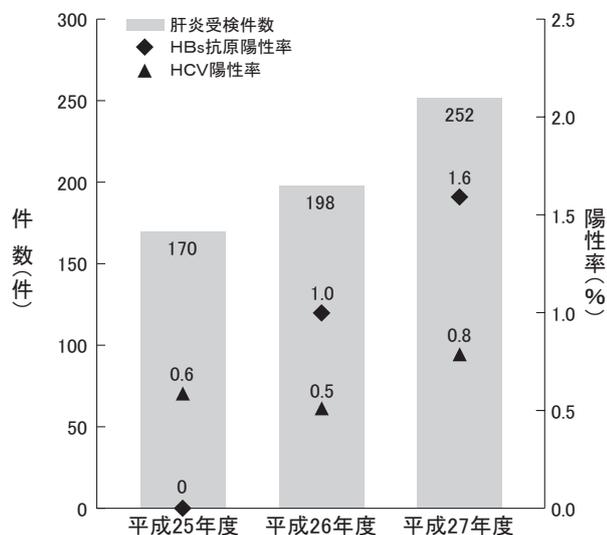


図4 年度別受検件数と陽性率（伊丹市）

※1 C型肝炎ウイルス検査は、最終判定が「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」となった検体を陽性とした。

※2 平成26年度、平成27年度において、B型肝炎ウイルスとC型肝炎ウイルスの受検件数が異なるため、C型肝炎ウイルス受検件数を肝炎受検件数とした。

## (11) HIV・性感染症検査

神戸市からの受託で、夜間検査は毎週水曜日18時から予約不要で受け付けている。検査項目は、HIV、クラミジア、梅毒である。即日検査は事前予約制で毎月1～2回土曜日13時から、HIVとB型肝炎を検査している。即

日検査、夜間検査ともに、利便性に優れた三宮センタープラザで実施し、無料、匿名で受けることができる。即日検査は、予約人数を45名に拡大した平成25年度以降、年間500件を超える件数を継続している。

表1 夜間検査件数推移（件）

検査項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
HIV	1,797	1,784	1,693
クラミジア	1,371	1,446	1,414
梅毒	1,718	1,680	1,664

表2 即日検査件数と陽性<sup>※1</sup>率の推移

検診項目	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
	受検件数	陽性数	陽性率(%)	受検件数	陽性数	陽性率(%)	受検件数	陽性数	陽性率(%)
HIV	525	2	0.38	527	1	0.19	515	1	0.19
B型肝炎（HBs抗原）	525	3	0.57	527	1	0.19	515	4	0.78

表3 HIV陽性の推移

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	陽性数	陽性率(%)	陽性数	陽性率(%)	陽性数	陽性率(%)
夜間	6	0.33	3	0.17	4	0.24
即日	2	0.38	1	0.19	1	0.19
陽性合計	8	0.34	4	0.17	5	0.23

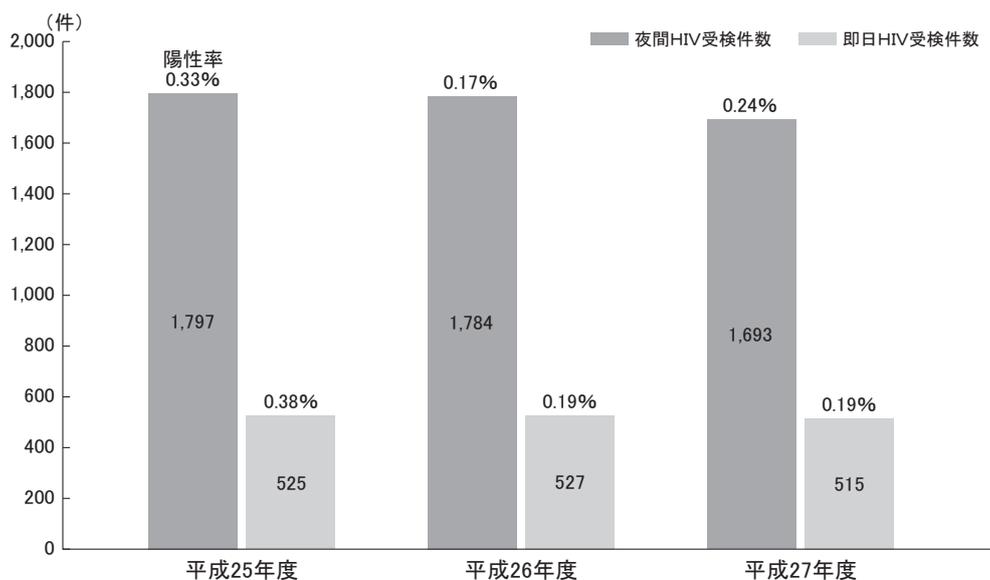


図1 年度別HIV件数と陽性率<sup>※2</sup>

※1 陽性：HIV検査は、確認試験の結果、最終的な陽性を示す

※2 陽性率：夜間、即日それぞれの受検件数に対する陽性の割合を示す

## (12) 骨粗鬆症検診（骨量検査）

骨粗鬆症の早期発見および予防を目的に骨量測定（超音波法）による集団検診を実施し、早期治療および適切な健康教育に努めた。

性別	年齢階級	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
男	39歳以下	34	5	14.7	27	4	14.8	50	3	6.0
	40～44	100	10	10.0	87	3	3.4	70	5	7.1
	45～49	59	4	6.8	56	4	7.1	47	3	6.4
	50～54	86	8	9.3	118	6	5.1	99	5	5.1
	55～59	98	2	2.0	100	6	6.0	124	7	5.6
	60～64	298	15	5.0	229	14	6.1	217	22	10.1
	65～69	664	61	9.2	663	42	6.3	693	39	5.6
	70～74	885	67	7.6	847	69	8.1	864	83	9.6
	75～79	346	26	7.5	391	37	9.5	418	49	11.7
	80歳以上	100	21	21.0	129	24	18.6	161	27	16.8
計		2,670	219	8.2	2,647	209	7.9	2,743	243	8.9

性別	年齢階級	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
女	39歳以下	611	47	7.7	614	42	6.8	611	49	8.0
	40～44	409	25	6.1	468	26	5.6	420	34	8.1
	45～49	380	19	5.0	439	18	4.1	382	20	5.2
	50～54	520	13	2.5	581	11	1.9	572	13	2.3
	55～59	853	6	0.7	846	7	0.8	844	12	1.4
	60～64	2,073	51	2.5	1,888	33	1.7	1,719	56	3.3
	65～69	2,890	118	4.1	3,200	112	3.5	3,331	134	4.0
	70～74	2,967	167	5.6	2,964	168	5.7	2,751	168	6.1
	75～79	810	74	9.1	1,003	79	7.9	1,151	92	8.0
	80歳以上	190	33	17.4	207	24	11.6	279	57	20.4
計		11,703	553	4.7	12,210	520	4.3	12,060	635	5.3

性別	年齢階級	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
計	39歳以下	645	52	8.1	641	46	7.2	661	52	7.9
	40～44	509	35	6.9	555	29	5.2	490	39	8.0
	45～49	439	23	5.2	495	22	4.4	429	23	5.4
	50～54	606	21	3.5	699	17	2.4	671	18	2.7
	55～59	951	8	0.8	946	13	1.4	968	19	2.0
	60～64	2,371	66	2.8	2,117	47	2.2	1,936	78	4.0
	65～69	3,554	179	5.0	3,863	154	4.0	4,024	173	4.3
	70～74	3,852	234	6.1	3,811	237	6.2	3,615	251	6.9
	75～79	1,156	100	8.7	1,394	116	8.3	1,569	141	9.0
	80歳以上	290	54	18.6	336	48	14.3	440	84	19.1
計		14,373	772	5.4	14,857	729	4.9	14,803	878	5.9

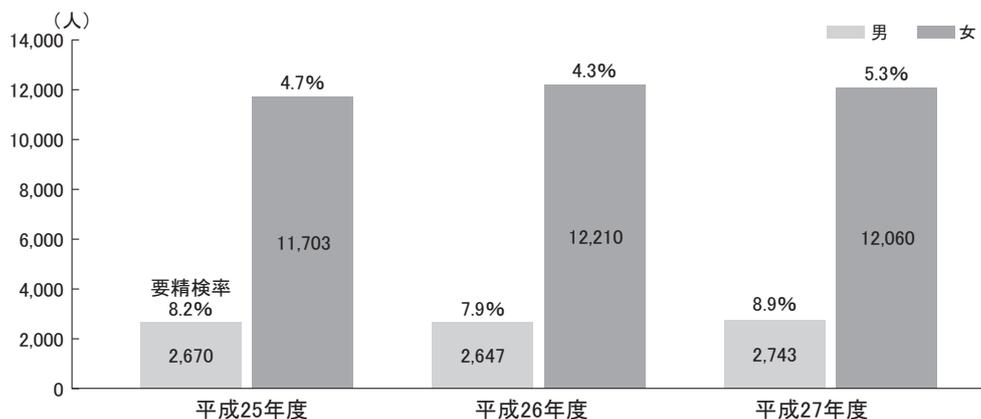


図1 骨粗鬆症検診年度別受診者数と要精検率

## 2. 学校保健

### (1) 心臓検診

昭和50年から取りくんでいる学校心臓検診は、神戸市、宝塚市、西宮市、芦屋市、伊丹市、太子町、上郡町、兵庫県北部（宍粟市、朝来市、佐用町）、洲本市、南あわじ市の兵庫県下広域にわたり、一次検診を実施している。

学校心臓検診は、地域により心臓検診システムに違いがあり、問診とともに6誘導心電図、12誘導心電図、4

誘導心電図心音図、6誘導心電図心音図などのさまざまな検査方法によりおこなっている。昨年度より、神戸市、宝塚市の中学生の誘導が4誘導心電図心音図から12誘導心電図に変更された。今年度からは西宮市で小学4年生の12誘導心電図を実施している。

表1 小学校検診結果

検診方式 ／学校名	性別	平成25年度			平成26年度			平成27年度			
		一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)	
6誘導心電図方式	南あわじ市 洲本市	男	371	7	1.9	389	8	2.1	396	10	2.5
		女	408	10	2.5	350	8	2.3	321	4	1.2
		計	779	17	2.2	739	16	2.2	717	14	2.0
	私立	男	21	0	0	37	1	2.7	27	1	3.7
		女	31	0	0	22	2	9.1	29	2	6.9
		計	52	0	0	59	3	5.1	56	3	5.4
	合計	男	392	7	1.8	426	9	2.1	423	11	2.6
		女	439	10	2.3	372	10	2.7	350	6	1.7
		計	831	17	2.0	798	19	2.4	773	17	2.2
	西宮市 (他学年)	男	-	-	-	-	-	-	2,352	61	2.6
女		-	-	-	-	-	-	2,172	32	1.5	
計		-	-	-	-	-	-	4,524	93	2.1	
伊丹市 (他学年含む)	男	35	8	22.9	45	4	8.9	22	4	18.2	
	女	33	5	15.2	40	9	22.5	15	3	20.0	
	計	68	13	19.1	85	13	15.3	37	7	18.9	
12誘導心電図方式	上郡町	男	65	2	3.1	57	1	1.8	59	2	3.4
		女	58	0	0	50	3	6.0	44	0	0
		計	123	2	1.6	107	4	3.7	103	2	1.9
	太子町	男	221	10	4.5	201	10	5.0	200	1	0.5
		女	190	5	2.6	165	6	3.6	210	6	2.9
		計	411	15	3.6	366	16	4.4	410	7	1.7
	芦屋市 (他学年含む)	男	824	21	2.5	876	23	2.6	853	42	4.9
		女	741	6	0.8	786	14	1.8	755	13	1.7
		計	1,565	27	1.7	1,662	37	2.2	1,608	55	3.4
	私立 (他学年含む)	男	140	4	2.9	128	4	3.1	151	4	2.6
女		220	3	1.4	232	7	3.0	203	3	1.5	
計		360	7	1.9	360	11	3.1	354	7	2.0	
合計	男	1,285	45	3.5	1,307	42	3.2	3,637	114	3.1	
	女	1,242	19	1.5	1,273	39	3.1	3,399	57	1.7	
	計	2,527	64	2.5	2,580	81	3.1	7,036	171	2.4	
神戸市 (他学年含む)	男	6,532	370	5.7	6,541	426	6.5	6,600	366	5.5	
	女	6,239	281	4.5	6,057	273	4.5	6,227	324	5.2	
	計	12,771	651	5.1	12,598	699	5.5	12,827	690	5.4	
兵庫県北部 (他学年含む)	男	700	24	3.4	696	29	4.2	647	38	5.9	
	女	672	22	3.3	603	17	2.8	670	15	2.2	
	計	1,372	46	3.4	1,299	46	3.5	1,317	53	4.0	
宝塚市	男	1,062	55	5.2	1,051	55	5.2	998	69	6.9	
	女	1,082	52	4.8	955	32	3.4	1,012	43	4.2	
	計	2,144	107	5.0	2,006	87	4.3	2,010	112	5.6	
西宮市 (他学年含む)	男	2,454	23	0.9	2,460	38	1.5	2,409	54	2.2	
	女	2,235	17	0.8	2,226	49	2.2	2,299	41	1.8	
	計	4,689	40	0.9	4,686	87	1.9	4,708	95	2.0	
伊丹市	男	948	45	4.7	1,023	47	4.6	987	20	2.0	
	女	916	37	4.0	947	36	3.8	916	13	1.4	
	計	1,864	82	4.4	1,970	83	4.2	1,903	33	1.7	
私立	男	14	0	0	19	0	0	30	1	3.3	
	女	9	0	0	15	3	20.0	35	2	5.7	
	計	23	0	0	34	3	8.8	65	3	4.6	
合計	男	11,710	517	4.4	11,790	595	5.0	11,671	548	4.7	
	女	11,153	409	3.7	10,803	410	3.8	11,159	438	3.9	
	計	22,863	926	4.1	22,593	1,005	4.4	22,830	986	4.3	

表2 中学校検診結果

検診方式 ／学校名	性別	平成25年度			平成26年度			平成27年度				
		一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)		
6 誘導心電図方式	南あわじ市 洲本市	男	452	0	0	405	6	1.5	423	4	0.9	
		女	405	2	0.5	435	6	1.4	376	6	1.6	
		計	857	2	0.2	840	12	1.4	799	10	1.3	
	私立 (他学年含む)	男	41	0	0	38	0	0	38	3	7.9	
		女	36	2	5.6	34	1	2.9	24	0	0	
		計	77	2	2.6	72	1	1.4	62	3	4.8	
	合 計	男	493	0	0	443	6	1.4	461	7	1.5	
		女	441	4	0.9	469	7	1.5	400	6	1.5	
		計	934	4	0.4	912	13	1.4	861	13	1.5	
	12 誘導心電図方式	神戸市 (他学年含む)	男	-	-	-	6,146	442	7.2	6,103	306	5.0
			女	-	-	-	5,662	286	5.1	5,778	233	4.0
			計	-	-	-	11,808	728	6.2	11,881	539	4.5
宝塚市		男	-	-	-	958	48	5.0	901	42	4.7	
		女	-	-	-	935	41	4.4	839	49	5.8	
		計	-	-	-	1,893	89	4.7	1,740	91	5.2	
県立 (他学年含む)		男	37	1	2.7	52	2	3.8	-	-	-	
		女	123	1	0.8	107	0	0	-	-	-	
		計	160	2	1.3	159	2	1.3	-	-	-	
伊丹市 (他学年含む)		男	935	21	2.2	913	22	2.4	921	22	2.4	
		女	899	24	2.7	880	11	1.3	869	20	2.3	
		計	1,834	45	2.5	1,793	33	1.8	1,790	42	2.3	
上郡町	男	59	1	1.7	78	1	1.3	74	1	1.4		
	女	67	1	1.5	75	1	1.3	57	0	0		
	計	126	2	1.6	153	2	1.3	131	1	0.8		
太子町	男	182	2	1.1	210	6	2.9	196	4	2.0		
	女	208	4	1.9	218	1	0.5	168	2	1.2		
	計	390	6	1.5	428	7	1.6	364	6	1.6		
芦屋市 (他学年含む)	男	272	9	3.3	276	3	1.1	291	14	4.8		
	女	274	8	2.9	251	4	1.6	249	5	2.0		
	計	546	17	3.1	527	7	1.3	540	19	3.5		
私立 (他学年含む)	男	1,453	34	2.3	1,425	33	2.3	1,457	29	2.0		
	女	1,046	26	2.5	1,033	18	1.7	1,057	20	1.9		
	計	2,499	60	2.4	2,458	51	2.1	2,514	49	1.9		
合 計	男	2,938	68	2.3	10,058	557	5.5	9,943	418	4.2		
	女	2,617	64	2.4	9,161	362	4.0	9,017	329	3.6		
	計	5,555	132	2.4	19,219	919	4.8	18,960	747	3.9		
心電・心音図方式	神戸市 (他学年含む)	男	6,109	399	6.5	-	-	-	-	-	-	
		女	5,869	294	5.0	-	-	-	-	-	-	
		計	11,978	693	5.8	-	-	-	-	-	-	
	兵庫県北部	男	442	18	4.1	452	19	4.2	378	20	5.3	
		女	434	20	4.6	381	15	3.9	386	18	4.7	
		計	876	38	4.3	833	34	4.1	764	38	5.0	
	宝塚市	男	945	40	4.2	-	-	-	-	-	-	
		女	931	49	5.3	-	-	-	-	-	-	
		計	1,876	89	4.7	-	-	-	-	-	-	
	西宮市 (他学年含む)	男	2,174	41	1.9	2,074	33	1.6	2,158	48	2.2	
		女	1,891	39	2.1	1,905	23	1.2	1,896	26	1.4	
		計	4,065	80	2.0	3,979	56	1.4	4,054	74	1.8	
私立	男	0	0	-	0	0	-	0	0	-		
	女	292	5	1.7	257	11	4.3	281	8	2.8		
	計	292	5	1.7	257	11	4.3	281	8	2.8		
合 計	男	9,670	498	5.1	2,526	52	2.1	2,158	48	2.2		
	女	9,417	407	4.3	2,543	49	1.9	2,177	34	1.6		
	計	19,087	905	4.7	5,069	101	2.0	4,335	82	1.9		

表3 高等学校検診結果

検診方式 ／学校名	性別	平成25年度			平成26年度			平成27年度			
		一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)	
6 誘導心電図方式	私立	男	38	0	0	34	0	0	27	0	0
		女	33	1	3.0	33	1	3.0	28	3	10.7
		計	71	1	1.4	67	1	1.5	55	3	5.5
	合 計	男	38	0	0	34	0	0	27	0	0
		女	33	1	3.0	33	1	3.0	28	3	10.7
		計	71	1	1.4	67	1	1.5	55	3	5.5
12 誘導心電図方式	県立 (他学年含む)	男	6,900	147	2.1	6,528	135	2.1	5,007	152	3.0
		女	7,318	107	1.5	6,699	111	1.7	5,137	111	2.2
		計	14,218	254	1.8	13,227	246	1.9	10,144	263	2.6
	伊丹市 西宮市 (他学年含む)	男	417	12	2.9	420	15	3.6	395	7	1.8
		女	423	5	1.2	458	12	2.6	482	10	2.1
		計	840	17	2.0	878	27	3.1	877	17	1.9
	神戸市 (他学年含む)	男	1,267	24	1.9	1,335	41	3.1	1,326	49	3.7
		女	1,092	17	1.6	1,074	17	1.6	1,025	18	1.8
		計	2,359	41	1.7	2,409	58	2.4	2,351	67	2.8
	私立 (他学年含む)	男	3,221	86	2.7	3,166	72	2.3	2,976	67	2.3
		女	2,892	60	2.1	3,358	83	2.5	3,227	74	2.3
		計	6,113	146	2.4	6,524	155	2.4	6,203	141	2.3
合 計	男	11,805	269	2.3	11,449	263	2.3	9,704	275	2.8	
	女	11,725	189	1.6	11,589	223	1.9	9,871	213	2.2	
	計	23,530	458	1.9	23,038	486	2.1	19,575	488	2.5	
心電・心音図方式	私立	男	0	0	-	0	0	-	-	-	-
		女	308	8	2.6	205	10	4.9	-	-	-
		計	308	8	2.6	205	10	4.9	-	-	-
	合 計	男	0	0	-	0	0	-	-	-	-
		女	308	8	2.6	205	10	4.9	-	-	-
		計	308	8	2.6	205	10	4.9	-	-	-

## (2) 脊柱変形学校検診

神戸市、阪神間諸都市を中心に兵庫県一円における小学校5、6年生と中学校1、2年生の児童生徒を対象に実施している。<sup>\*1</sup>

検診の方式は、各会場校へモアレ写真撮影、専門医による視触診、X線直接撮影を全て出張検診でおこない、側弯症と診断された児童生徒には、保護者も含めて事後指導を実施している(右図)。<sup>\*2</sup>

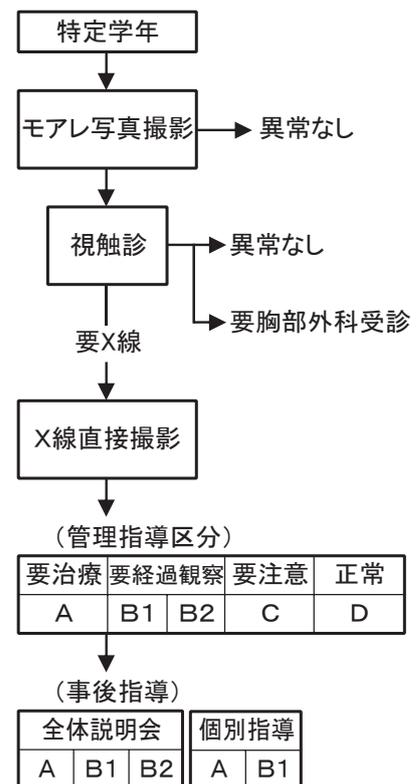
今年度のモアレ検査受診者は30,806名で有所見者は4,445名。有所見率は14.4%であった(表1、3)。

当協会実施のモアレ検査有所見者および学校医の指摘により受診した視触診者数は2,364名でX線直接撮影により側弯症と判定された者は325名で有所見率は13.7%であった(表2)。

過去3年分のモアレ検診有所見率と性差、受診者総数と側弯有所見率をそれぞれ表3、表4に示している。

<sup>\*1</sup> 対象学年は自治体により異なる。

<sup>\*2</sup> 方式は自治体により異なる。



### 脊柱側弯症判定区分

管理区分	診断	わん曲度
A 要治療	脊柱側弯症(中等度以上)	コブ角25度以上 構築性側弯
B1	脊柱側弯症(軽度)	コブ角15度~24度
B2		構築性側弯
C 要注意	脊柱側弯症の疑い	コブ角14度以下 構築性変化あり 構築性変化なし
D 正常	異常なし	

表1 脊柱検診集計表（モアレ法）

区分	学年	小学5年生			小学6年生			中学1年生			中学2年生		
	性別	受診者数	モアレ 有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	モアレ 有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	モアレ 有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	モアレ 有所見者数	有所見率 (%)
神戸市 ※	男	0	0	-	6,707	615	9.2	0	0	-	0	0	-
	女	0	0	-	6,242	854	13.7	0	0	-	0	0	-
	計	0	0	-	12,949	1,469	11.3	0	0	-	0	0	-
宝塚市	男	1,062	136	12.8	0	0	-	0	0	-	946	95	10.0
	女	1,014	208	20.5	0	0	-	0	0	-	911	211	23.2
	計	2,076	344	16.6	0	0	-	0	0	-	1,857	306	16.5
尼崎市	男	0	0	-	0	0	-	1,615	190	11.8	0	0	-
	女	0	0	-	0	0	-	1,605	373	23.2	0	0	-
	計	0	0	-	0	0	-	3,220	563	17.5	0	0	-
明石市	男	0	0	-	0	0	-	1,301	151	11.6	0	0	-
	女	0	0	-	0	0	-	1,253	237	18.9	0	0	-
	計	0	0	-	0	0	-	2,554	388	15.2	0	0	-
伊丹市	男	0	0	-	0	0	-	890	130	14.6	0	0	-
	女	0	0	-	0	0	-	840	240	28.6	0	0	-
	計	0	0	-	0	0	-	1,730	370	21.4	0	0	-
三田市 ※	男	544	88	16.2	0	0	-	478	52	10.9	0	0	-
	女	494	90	18.2	0	0	-	438	90	20.6	0	0	-
	計	1,038	178	17.2	0	0	-	916	142	15.5	0	0	-
小野市 ※	男	0	0	-	0	0	-	267	37	13.9	0	0	-
	女	0	0	-	0	0	-	224	45	20.1	0	0	-
	計	0	0	-	0	0	-	491	82	16.7	0	0	-
相生市 ※	男	107	14	13.1	0	0	-	0	0	-	106	10	9.4
	女	105	24	22.9	0	0	-	0	0	-	109	30	27.5
	計	212	38	17.9	0	0	-	0	0	-	215	40	18.6
上郡市 ※	男	74	8	10.8	0	0	-	0	0	-	77	6	7.8
	女	60	11	18.3	0	0	-	0	0	-	73	17	23.3
	計	134	19	14.2	0	0	-	0	0	-	150	23	15.3
猪名川	男	202	15	7.4	0	0	-	0	0	-	167	13	7.8
	女	165	26	15.8	0	0	-	0	0	-	176	29	16.5
	計	367	41	11.2	0	0	-	0	0	-	343	42	12.2
加東市 ※	男	0	0	-	0	0	-	165	17	10.3	0	0	-
	女	0	0	-	0	0	-	185	39	21.1	0	0	-
	計	0	0	-	0	0	-	350	56	16.0	0	0	-
芦屋市	男	413	47	11.4	0	0	-	0	0	-	288	22	7.6
	女	386	75	19.4	0	0	-	0	0	-	265	63	23.8
	計	799	122	15.3	0	0	-	0	0	-	553	85	15.4
国・私立 学校9校 ※	男	46	2	4.4	22	4	18.2	79	5	6.3	0	0	-
	女	104	4	3.9	6	1	16.7	456	92	20.2	139	29	20.9
	計	150	6	4.0	28	5	17.9	535	97	18.1	139	29	20.9
合 計	男	2,448	310	12.7	6,729	619	9.2	4,795	582	12.1	1,584	146	9.2
	女	2,328	438	18.8	6,248	855	13.7	5,001	1,116	22.3	1,673	379	22.7
	計	4,776	748	15.7	12,977	1,474	11.4	9,796	1,698	17.3	3,257	525	16.1

注 総数：30,806名、男子：15,556名、女子：15,250名、小学生：17,753名、中学生：13,053名  
 ※モアレ検査のみ施行の自治体

表2 視触診受診者数と側弯症有所見率

学年	性別	視触診			管理指導区分						有所見	
		受診者数	要X線撮影者数	%	A (要治療)		B1 (要経過)		B2 (要経過)		側弯症数	有所見率* (%)
					人数	%	人数	%	人数	%		
小学生	男	215	31	14.4	0	0	0	0	10	4.7	10	4.7
	女	316	94	29.7	3	0.9	18	5.7	25	7.9	46	14.6
	計	531	125	23.5	3	0.6	18	3.4	35	6.6	56	10.5
中学生	男	657	121	18.4	2	0.3	9	1.4	16	2.4	27	4.1
	女	1,176	427	36.3	32	2.7	118	10.0	92	7.8	242	20.6
	計	1,833	548	29.9	34	1.9	127	6.9	108	5.9	269	14.7
合計	男	872	152	17.4	2	0.2	9	1.0	26	3.0	37	4.2
	女	1,492	521	34.9	35	2.3	136	9.1	117	7.8	288	19.4
	計	2,364	673	28.5	37	1.6	145	6.1	143	6.0	325	13.7

※視触診受診者数に対する比率

表3 モアレ検査受診者数と有所見率

学年	性別	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
小学生	男	9,450	1,222	12.9	9,480	1,137	12.0	9,177	929	10.1
	女	8,761	1,442	16.5	8,984	1,458	16.2	8,576	1,293	15.1
	計	18,211	2,664	14.6	18,464	2,595	14.1	17,753	2,222	12.5
中学生	男	6,606	731	11.1	6,436	601	9.3	6,379	728	11.4
	女	6,665	1,397	21.0	6,681	1,201	18.0	6,674	1,495	22.4
	計	13,271	2,128	16.0	13,117	1,802	13.7	13,053	2,223	17.0
合計	男	16,056	1,953	12.2	15,916	1,738	10.9	15,556	1,657	10.7
	女	15,426	2,839	18.4	15,665	2,659	17.0	15,350	2,788	18.2
	計	31,482	4,792	15.2	31,581	4,397	13.9	30,906	4,445	14.4

表4 受診者総数と側弯症有所見率 (除西宮市)

学年	性別	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	B2以上数と有所見率(%)		受診者数	B2以上数と有所見率(%)		受診者数	B2以上数と有所見率(%)	
小学生	男	1,678	13	0.8	1,736	6	0.3	1,677	10	0.6
	女	1,557	43	2.8	1,599	30	1.9	1,565	46	2.9
	計	3,235	56	1.7	3,335	36	1.1	3,242	56	1.7
中学生	男	5,295	27	0.5	5,308	22	0.4	5,207	27	0.5
	女	4,981	218	4.4	5,002	199	4.0	5,050	242	4.8
	計	10,276	245	2.4	10,310	221	2.1	10,257	269	2.6
合計	男	6,973	40	0.6	7,044	28	0.4	6,884	37	0.5
	女	6,538	261	4.0	6,601	229	3.5	6,615	288	4.4
	計	13,511	301	2.2	13,645	258	1.9	13,499	325	2.4

注：西宮市においては、モアレは実施せず、学校定期健診における内科検診の結果、有所見者に対して視触診をおこなひ、さらにその中の有所見者を対象として、脊柱X線を実施する方式となっている。

### (3) 腎臓・糖尿病検診

腎臓病検診の検査項目は学校保健法施行規則では、『尿中の蛋白などについて試験紙法により検査する』こととなっており、蛋白検査は必須であるが、潜血検査は蛋白検査と併せておこなうことが望ましいに留まっている。しかし、腎炎の初期や治療期には血尿だけしか症状

がない腎臓病も多く知られており、潜血検査は重要な項目の一つである。一方、糖尿病においては、糖尿病検診として平成4年度から尿検査で尿糖の検査も併せておこなうことが義務づけられた。

#### 腎臓病検診（尿蛋白・潜血）

表1 学校区別受検者数

学校区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
保育園・幼稚園	47,012	45,551	56,307
小学校	169,279	140,092	173,535
中学校	85,923	71,525	85,602
高等学校	66,966	64,458	62,938
大学・短大	621	623	604
養護学校他	2,985	3,410	3,832
合計	372,786	325,659	382,818

表2 腎臓病検診（尿蛋白・潜血）一次検査件数と陽性率

学校区分	性別	受検者数	陽性者数	陽性率 (%)
保育園・幼稚園	男	29,064	212	0.73
	女	27,243	516	1.89
	計	56,307	728	1.29
小学校	男	89,216	577	0.65
	女	84,319	1,599	1.90
	計	173,535	2,176	1.25
中学校	男	43,810	998	2.28
	女	41,792	2,882	6.90
	計	85,602	3,880	4.53
高等学校	男	30,970	275	0.89
	女	31,968	961	3.01
	計	62,938	1,236	1.96
大学・短大	男	8	0	0
	女	596	35	5.87
	計	604	35	5.79
養護学校他	男	2,353	31	1.32
	女	1,479	55	3.72
	計	3,832	86	2.24
合計	男	195,421	2,093	1.07
	女	187,397	6,048	3.23
	計	382,818	8,141	2.13

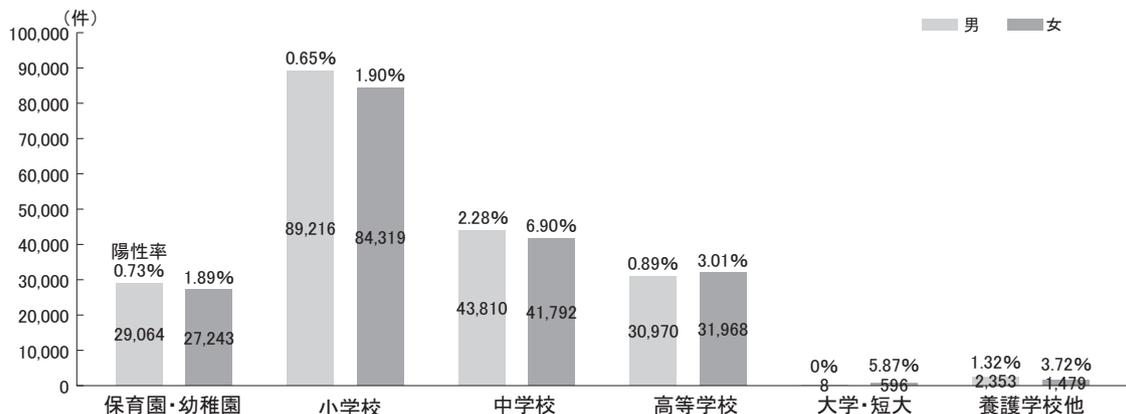


図1 腎臓病検診（尿蛋白・潜血）一次検査件数と陽性率

糖尿病検診（尿糖）

表3 学校区分別受検者数

学校区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
保育園・幼稚園	47,012	45,184	56,307
小学校	169,279	140,092	173,535
中学校	85,923	71,525	85,602
高等学校	66,966	64,458	62,938
大学・短大	621	623	604
養護学校他	2,985	3,410	3,832
合計	372,786	325,292	382,818

表4 糖尿病検診（尿糖）一次検査件数と陽性率

学校区分	性別	受検者数	陽性者数	陽性率（%）
保育園・幼稚園	男	29,064	16	0.06
	女	27,243	11	0.04
	計	56,307	27	0.05
小学校	男	89,216	71	0.08
	女	84,319	70	0.08
	計	173,535	141	0.08
中学校	男	43,810	56	0.13
	女	41,792	66	0.16
	計	85,602	122	0.14
高等学校	男	30,970	30	0.10
	女	31,968	34	0.11
	計	62,938	64	0.10
大学・短大	男	8	0	0
	女	596	1	0.17
	計	604	1	0.17
養護学校他	男	2,353	8	0.34
	女	1,479	8	0.54
	計	3,832	16	0.42
合計	男	195,421	181	0.09
	女	187,397	190	0.10
	計	382,818	371	0.10

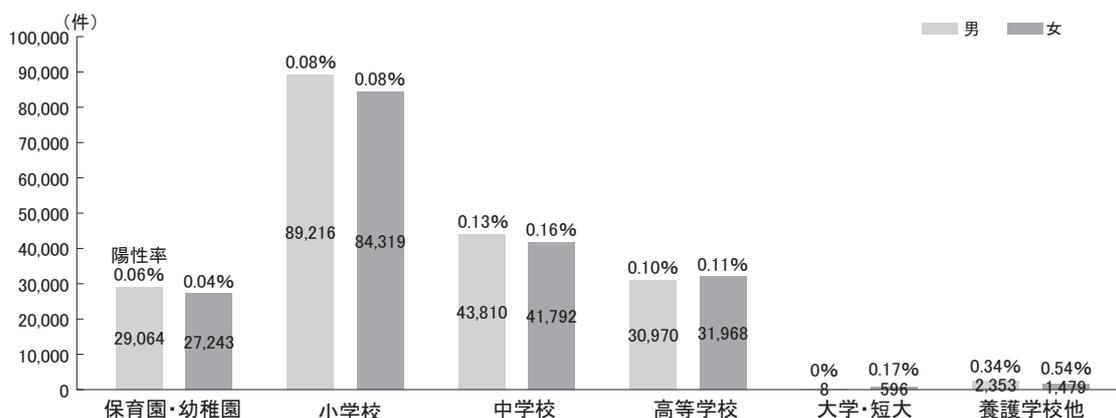


図2 糖尿病検診（尿糖）一次検査件数と陽性率

### (4) 結核検診（胸部X線）

兵庫県内の市町村教育委員会、独立行政法人、学校法人からの委託を受け、学校保健安全法に基づく結核健診

を、児童生徒、学生を対象に実施している。要精検率は0.10%前後で推移している。

表1 児童・生徒

学校区分	性別	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
小学校	男	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	女	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	計	0	0	-	0	0	-	0	0	-
中学校	男	10	0	0	13	0	0	10	0	0
	女	23	0	0	36	2	6	34	0	0
	計	33	0	0	49	2	4	44	0	0
高等学校	男	11,363	16	0.14	11,091	16	0.14	9,447	17	0.18
	女	11,834	9	0.08	11,302	14	0.12	9,455	7	0.07
	計	23,197	25	0.11	22,393	30	0.13	18,902	24	0.13
大学・専門学校	男	29,222	22	0.08	29,157	65	0.22	31,382	44	0.14
	女	32,003	26	0.08	33,217	42	0.13	35,141	40	0.11
	計	61,225	48	0.08	62,374	107	0.17	66,523	84	0.13
養護学校	男	199	0	0	138	2	1	165	1	0.61
	女	110	1	0.91	104	0	0	88	0	0
	計	309	1	0	242	2	1	253	1	0.40
計	男	40,794	38	0.09	40,399	83	0.21	41,004	62	0.15
	女	43,970	36	0.08	44,659	58	0.13	44,718	47	0.11
	計	84,764	74	0.09	85,058	141	0.17	85,722	109	0.13

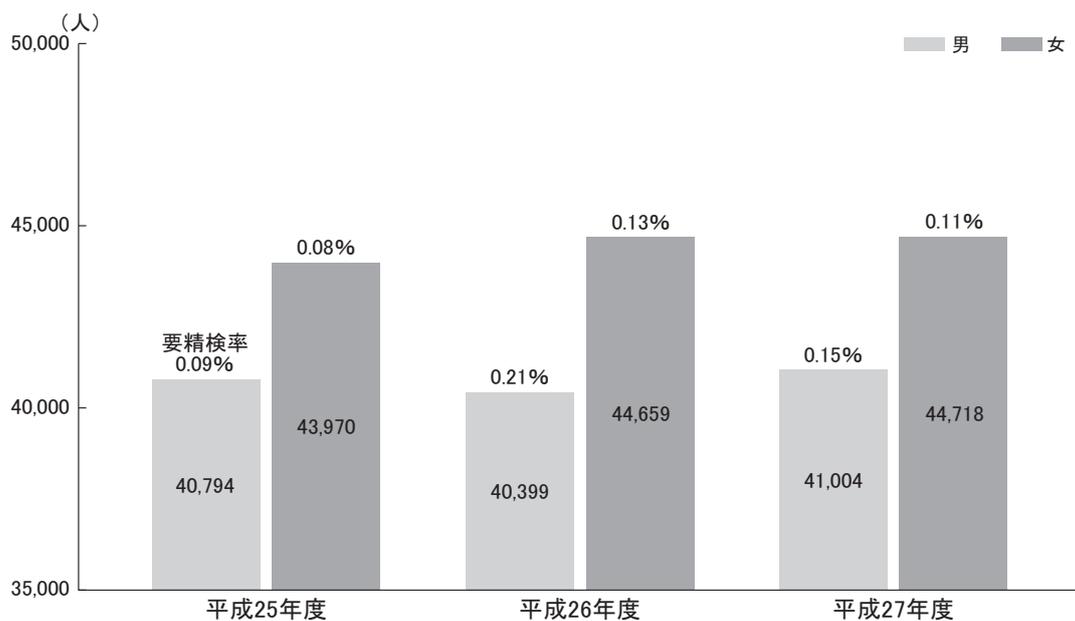


図1 結核検診年度別受診者数と要精検率

### (5) ぎょう虫卵検査

学校保健安全法に基づき、幼稚園および小学校低学年（1～3年生）に対して実施している。

昨年度は0.03%の保有率であったが、今年度は約0.05%となっている。

平成26年4月に「学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令」が公布され、児童生徒などの健康診断にお

ける検査項目の見直しの中で、半世紀にわたり継続されてきた「寄生虫卵検出検査」が、必須項目から削除されることとなった。また、この省令の施行は平成28年4月1日であることから、次年度以降のぎょう虫検査依頼は、大幅減少が予想される。

表1 年度別検査件数と陽性率

年 度	受検者数	陽性者数	陽性率 (%)
平成25年度	92,699	51	0.06
平成26年度	149,967	49	0.03
平成27年度	90,812	43	0.05

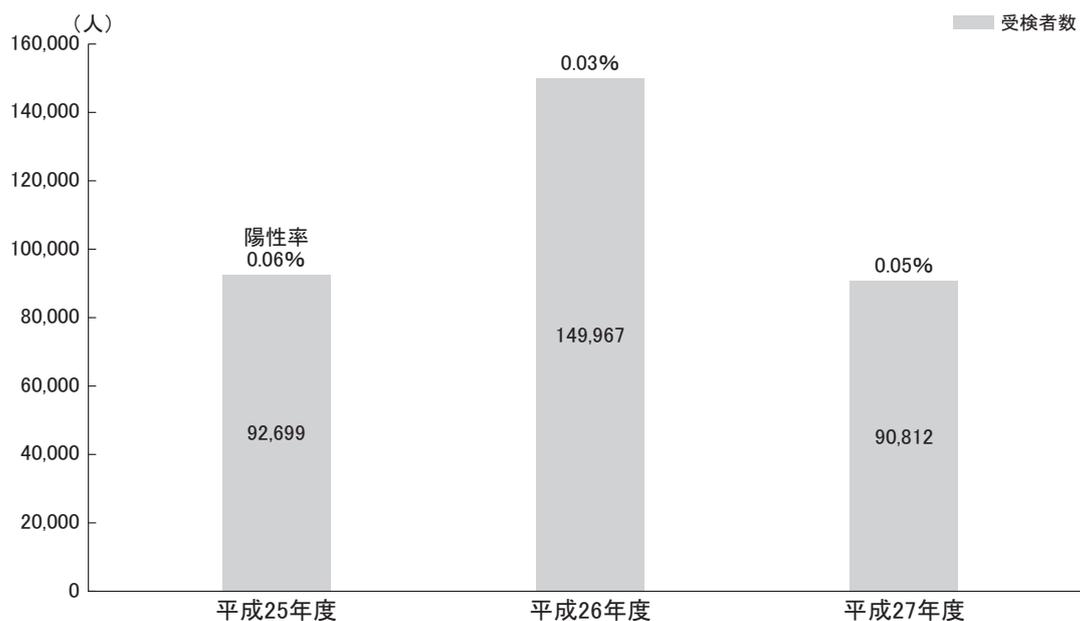


図1 ぎょう虫卵検査年度別受検者数と陽性率

### 3. 産業保健

#### (1) 労働安全衛生法・じん肺法に基づく健康診断

労働安全衛生法に基づく定期健康診断をはじめ雇入れ時健診、特定業務従事者健診など、労働安全衛生規則に掲げる業務従事者への健診、また有害業務従事者健診、さらには通達によって示された行政指導による健診、そしてじん肺法によるじん肺健診も実施している。

有所見率を全国で見ると平成20年に50%を超え、その後も徐々に増えつつあることを踏まえ、平成22年には厚

生労働省から「定期健康診断有所見率の改善のための取組」（基発0325第3号）が出された。兵庫県の有所見率は全国よりも0.5%前後低いところで推移しているが、右肩上がりの傾向は全国と同じである。当協会で開催した健診の有所見率は、全国および兵庫県と比べて、6～9ポイント低い値となっている。

表1 定期健康診断等受診結果

年齢階級	性別	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
24歳以下	男	4,330	612	14.1	4,077	582	14.3	4,211	562	13.3
	女	4,999	927	18.5	4,608	865	18.8	4,580	843	18.4
	計	9,329	1,539	16.5	8,685	1,447	16.7	8,791	1,405	16.0
25～29	男	7,356	1,383	18.8	7,517	1,264	16.8	7,438	1,337	18.0
	女	7,636	1,543	20.2	7,582	1,543	20.4	7,578	1,557	20.5
	計	14,992	2,926	19.5	15,099	2,807	18.6	15,016	2,894	19.3
30～34	男	7,747	1,932	24.9	8,127	1,818	22.4	7,893	1,736	22.0
	女	6,117	1,573	25.7	5,897	1,349	22.9	5,779	1,343	23.2
	計	13,864	3,505	25.3	14,024	3,167	22.6	13,672	3,079	22.5
35～39	男	8,294	3,231	39.0	8,193	2,875	35.1	8,000	2,703	33.8
	女	5,682	1,901	33.5	5,745	1,778	30.9	5,595	1,693	30.3
	計	13,976	5,132	36.7	13,938	4,653	33.4	13,595	4,396	32.3
40～44	男	9,120	4,443	48.7	9,839	4,164	42.3	9,430	3,964	42.0
	女	6,381	2,588	40.6	7,418	2,628	35.4	7,286	2,540	34.9
	計	15,501	7,031	45.4	17,257	6,792	39.4	16,716	6,504	38.9
45～49	男	8,303	4,653	56.0	9,146	4,426	48.4	9,461	4,540	48.0
	女	6,299	2,874	45.6	7,871	3,159	40.1	8,032	3,199	39.8
	計	14,602	7,527	51.5	17,017	7,585	44.6	17,493	7,739	44.2
50～54	男	7,588	4,690	61.8	8,571	4,526	52.8	8,735	4,705	53.9
	女	5,814	2,935	50.5	7,454	3,189	42.8	7,527	3,184	42.3
	計	13,402	7,625	56.9	16,025	7,715	48.1	16,262	7,889	48.5
55～59	男	6,706	4,468	66.6	7,229	4,236	58.6	7,491	4,354	58.1
	女	5,172	2,935	56.7	6,812	3,271	48.0	6,917	3,213	46.5
	計	11,878	7,403	62.3	14,041	7,507	53.5	14,408	7,567	52.5
60～64	男	7,092	4,901	69.1	7,200	4,703	65.3	7,259	4,704	64.8
	女	3,679	2,140	58.2	4,663	2,473	53.0	4,702	2,434	51.8
	計	10,771	7,041	65.4	11,863	7,176	60.5	11,961	7,138	59.7
65歳以上	男	5,120	3,749	73.2	5,520	4,041	73.2	5,925	4,343	73.3
	女	2,466	1,740	70.6	2,784	1,932	69.4	3,078	2,062	67.0
	計	7,586	5,489	72.4	8,304	5,973	71.9	9,003	6,405	71.1
合計	男	71,656	34,062	47.5	75,419	32,635	43.3	75,843	32,948	43.4
	女	54,245	21,156	39.0	60,834	22,187	36.5	61,074	22,068	36.1
	計	125,901	55,218	43.9	136,253	54,822	40.2	136,917	55,016	40.2

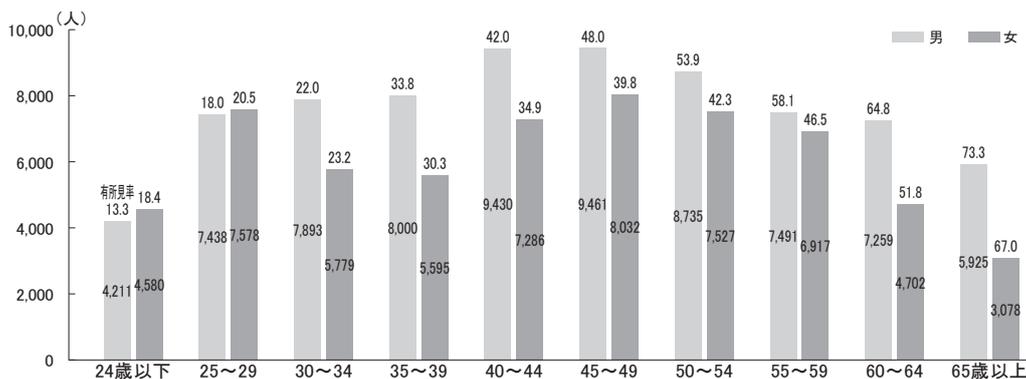


図1 年齢階級別受診者数と有所見率

## (2) 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診（協会けんぽ健診）

全国健康保険協会管掌健康保険の被保険者のうち、35 歳以上の方を対象とした健康診断。 兵庫県下全体では毎年20万人以上の方が受診している。

表1 協会けんぽ健診受診結果

年齢階級	性別	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
35～39	男	2,386	1,113	46.6	2,285	1,025	44.9	2,212	977	44.2
	女	1,102	439	39.8	1,098	508	46.3	1,150	461	40.1
	計	3,488	1,552	44.5	3,383	1,533	45.3	3,362	1,438	42.8
40～44	男	2,740	1,440	52.6	2,957	1,547	52.3	2,978	1,541	51.7
	女	1,384	651	47.0	1,454	714	49.1	1,492	720	48.3
	計	4,124	2,091	50.7	4,411	2,261	51.3	4,470	2,261	50.6
45～49	男	2,153	1,213	56.3	2,293	1,326	57.8	2,429	1,397	57.5
	女	1,290	672	52.1	1,404	730	52.0	1,514	775	51.2
	計	3,443	1,885	54.7	3,697	2,056	55.6	3,943	2,172	55.1
50～54	男	1,868	1,189	63.7	1,868	1,302	69.7	2,122	1,380	65.0
	女	1,292	711	55.0	1,292	776	60.1	1,474	776	52.6
	計	3,160	1,900	60.1	3,160	2,078	65.8	3,596	2,156	60.0
55～59	男	1,677	1,169	69.7	1,995	1,143	57.3	1,770	1,198	67.7
	女	1,132	680	60.1	1,426	727	51.0	1,207	726	60.1
	計	2,809	1,849	65.8	3,421	1,870	54.7	2,977	1,924	64.6
60～64	男	1,827	1,353	74.1	1,671	1,314	78.6	1,829	1,340	73.3
	女	833	526	63.1	1,213	544	44.8	817	528	64.6
	計	2,660	1,879	70.6	2,884	1,858	64.4	2,646	1,868	70.6
65～69	男	997	756	75.8	1,125	849	75.5	1,316	1,008	76.6
	女	258	168	65.1	319	208	65.2	387	255	65.9
	計	1,255	924	73.6	1,444	1,057	73.2	1,703	1,263	74.2
70歳以上	男	277	223	80.5	286	225	78.7	318	259	81.4
	女	54	39	72.2	76	55	72.4	86	64	74.4
	計	331	262	79.2	362	280	77.3	404	323	80.0
合計	男	13,925	8,456	60.7	14,480	8,731	60.3	14,974	9,100	60.8
	女	7,345	3,886	52.9	8,282	4,262	51.5	8,127	4,305	53.0
	計	21,270	12,342	58.0	22,762	12,993	57.1	23,101	13,405	58.0

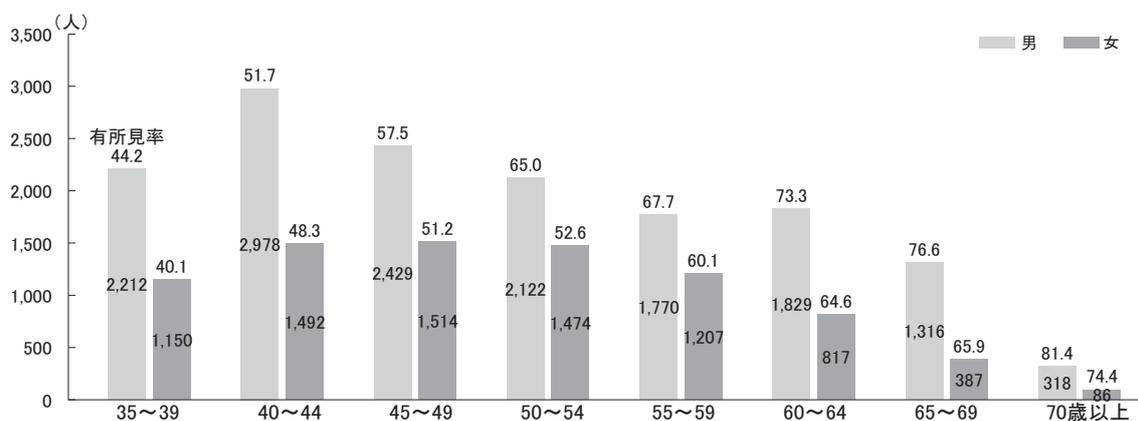


図1 年齢階級別受診者数と有所見率

### (3) 労災保険二次健康診断（労災二次健診）

本健診は、労働安全衛生法に基づいて行われる定期健康診断の直近のもの（以下、一次健診とする）において、脳・心臓の動脈硬化性疾患に関連する一定の項目に異常が認められた場合に、二次健康診断給付として行われるものである。

対象となる条件は、一次健診結果で、①血圧・②血中脂質・③血糖・④BMI（Body mass index）または腹囲の、すべてに異常がある場合である。また、以上の項目すべてに異常が認められなくても、産業医が必要と認めた場合も対象となる（ただし脳心臓疾患を有する場合は対象外）。

二次健診の内容は、脳・心臓の動脈硬化性疾患のリスク評価と予防に結びつけるための、血液検査（空腹時血糖、HbA1c、空腹時血中脂質）・頸動脈エコー図検査・心エコー図検査・一次健診で尿タンパク陽性例では尿中微量アルブミン定量等の検査と、保健指導である。

今年度は、本健診の対象となる事業所での定期健診受診者は90,126人で、定期健診の結果が受診対象条件に

適合する受診者数は1,335人、そのうち当協会での二次健診受診者数は150人であった。二次健診結果を、表1、2に示す。頸動脈エコー図検査では、受診者の半数以上に頸動脈内中膜厚（intima-media thickness；IMT）増大が、約3割にplaqueが認められた。心エコー図では、左室肥大、大動脈弁硬化、大動脈弁逆流等の所見が、6割以上に認められた。1例につき、頸動脈エコー所見より内頸動脈狭窄が疑われ専門医を紹介受診となり、内頸動脈狭窄と診断され、そのまま専門医受診継続となった。受診者の半数以上は、高血圧・糖尿病・脂質異常症などで受診中であった。主治医を有する受診者に対しては、主治医に結果を報告するため、必要に応じて頸動脈エコー図・心エコー図結果報告書を受診者に送付した。現在受診中ではない70例中61例において、生活習慣病で医療機関受診を必要とし、受診勧奨を行った。すべての受診者について、生活習慣の改善に関する保健指導を行った。

表1 受診者の臨床背景・血液生化学所見（n=150）

年齢（歳）	55 ± 10
性別 男／女	136／14
現在喫煙中	51（34%）
現在受診中	80（53%）
高血圧	60（40%）
糖尿病	35（23%）
脂質異常症	25（17%）
その他	22（15%）
BMI（kg/m <sup>2</sup> ）	28.0 ± 3.9
腹囲（cm）	96.4 ± 8.8
収縮期血圧（mmHg）	144 ± 16
拡張期血圧（mmHg）	95 ± 10
HDLコレステロール（mg/dl）	48 ± 10
LDLコレステロール（mg/dl）	132 ± 32
中性脂肪（mg/dl）	178 ± 115
空腹時血糖（mg/dl）	140 ± 42
HbA1c（%）	6.9 ± 1.6

表2 受診者の頸動脈エコー図・心エコー図検査所見

頸動脈エコー図検査	n=150
プラーク	43（29%）
内中膜厚（IMT*）増大	98（65%）
異常所見なし	46（31%）
最大IMT（mm）	1.62 ± 0.74
総頸動脈の平均IMT（mm）	1.08 ± 0.62
心エコー図検査	n=150
左室肥大	40（27%）
大動脈弁硬化	33（22%）
大動脈弁逆流（全例軽度以下）	38（25%）
異常所見なし	54（36%）

\*IMT：intima-media thickness

## 4. がん検診（産業保健巡回健診、施設健診）

### （1）胃がん検診

事業所単位の胃がん検診希望者に対し、胃部X線検査を  
検診車による出張検診（産業保健巡回健診）あるいは

当協会での施設健診としておこなった。胃部X線検査は、  
胃がんの死亡率減少効果がありとして推奨されている。

表1 胃部X線検査（産業保健巡回健診）

年齢階級	平成25年度			平成26年度			平成27年度			
	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	
39歳以下	男	2,044	19	0.9	1,896	48	2.5	2,074	55	2.7
	女	630	9	1.4	604	19	3.1	647	15	2.3
	計	2,674	28	1.0	2,500	67	2.7	2,721	70	2.6
40～44	男	2,168	50	2.3	1,966	72	3.7	2,257	68	3.0
	女	780	17	2.2	722	20	2.8	843	22	2.6
	計	2,948	67	2.3	2,688	92	3.4	3,100	90	2.9
45～49	男	1,956	49	2.5	1,788	61	3.4	2,099	71	3.4
	女	722	10	1.4	696	25	3.6	827	19	2.3
	計	2,678	59	2.2	2,484	86	3.5	2,926	90	3.1
50～54	男	1,941	71	3.7	1,801	90	5.0	2,061	105	5.1
	女	680	15	2.2	641	26	4.1	648	19	2.9
	計	2,621	86	3.3	2,442	116	4.8	2,709	124	4.6
55～59	男	1,749	78	4.5	1,613	106	6.6	1,717	95	5.5
	女	576	14	2.4	557	25	4.5	549	15	2.7
	計	2,325	92	4.0	2,170	131	6.0	2,266	110	4.9
60～64	男	1,445	85	5.9	1,406	137	9.7	1,503	97	6.5
	女	289	9	3.1	290	22	7.6	299	18	6.0
	計	1,734	94	5.4	1,696	159	9.4	1,802	115	6.4
65～69	男	449	27	6.0	479	56	11.7	576	40	6.9
	女	71	2	2.8	73	6	8.2	82	3	3.7
	計	520	29	5.6	552	62	11.2	658	43	6.5
70～74	男	132	8	6.0	136	13	9.6	132	15	11.4
	女	11	0	0	12	1	8.3	11	0	0
	計	143	8	5.6	148	14	9.5	143	15	10.5
75歳以上	男	4	1	25.0	12	2	16.7	17	2	11.8
	女	7	1	14.3	6	0	0	9	0	0
	計	11	2	18.2	18	2	11.1	26	2	7.7
合計	男	11,888	388	3.3	11,097	585	5.3	12,436	548	4.4
	女	3,766	77	2.0	3,601	144	4.0	3,915	111	2.8
	計	15,654	465	3.0	14,698	729	5.0	16,351	659	4.0

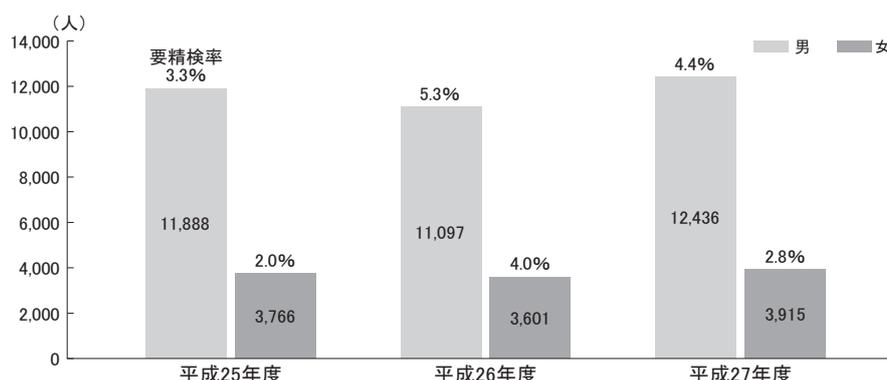


図1 胃がん検診年度別受診者数と要精検率（産業保健巡回健診）

表2 胃部X線検査（施設健診）

年齢階級		平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	1,706	40	2.3	1,792	59	3.3	1,678	42	2.5
	女	998	25	2.5	991	27	2.7	903	19	2.1
	計	2,704	65	2.4	2,783	86	3.1	2,581	61	2.4
40～44	男	1,603	51	3.2	1,903	62	3.3	1,874	58	3.1
	女	985	29	2.9	1,128	42	3.7	1,084	35	3.2
	計	2,588	80	3.1	3,031	104	3.4	2,958	93	3.1
45～49	男	1,337	50	3.7	1,653	78	4.7	1,668	83	5.0
	女	890	28	3.1	1,086	37	3.4	1,060	25	2.4
	計	2,227	78	3.5	2,739	115	4.2	2,728	108	4.0
50～54	男	1,077	60	5.6	1,402	77	5.5	1,463	65	4.4
	女	719	35	4.9	904	39	4.3	914	35	3.8
	計	1,796	95	5.3	2,306	116	5.0	2,377	100	4.2
55～59	男	878	64	7.3	1,162	101	8.7	1,109	59	5.3
	女	536	31	5.8	686	46	6.7	626	30	4.8
	計	1,414	95	6.7	1,848	147	8.0	1,735	89	5.1
60～64	男	797	75	9.4	941	76	8.1	900	63	7.0
	女	377	29	7.7	420	26	6.2	384	13	3.4
	計	1,174	104	8.9	1,361	102	7.5	1,284	76	5.9
65～69	男	393	47	12.0	516	44	8.5	520	37	7.1
	女	129	9	7.0	191	15	7.9	211	9	4.3
	計	522	56	10.7	707	59	8.3	731	46	6.3
70～74	男	141	14	9.9	204	17	8.3	197	14	7.1
	女	45	1	2.2	63	9	14.3	60	1	1.7
	計	186	15	8.1	267	26	9.7	257	15	5.8
75歳以上	男	12	1	8.3	24	4	16.7	23	0	0
	女	3	1	33.3	8	1	12.5	11	1	9.1
	計	15	2	13.3	32	5	15.6	34	1	2.9
合計	男	7,944	402	5.1	9,597	518	5.4	9,432	421	4.5
	女	4,682	188	4.0	5,477	242	4.4	5,253	168	3.2
	計	12,626	590	4.7	15,074	760	5.0	14,685	589	4.0

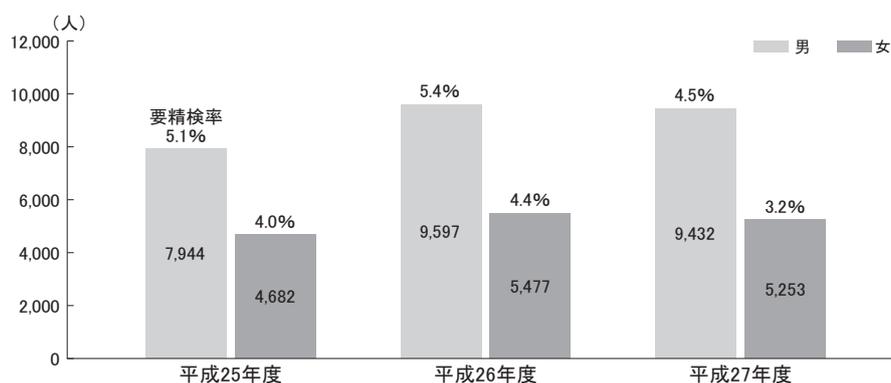


図2 胃がん検診年度別受診者数と要精検率（施設健診）

## (2) 肺がん検診

肺がんはがん対策上、重要ながんの一つとなっている。肺がん検診は、胸部X線撮影と喀痰細胞診によっておこなわれている。喀痰細胞診はX線では発見しにくい肺門部肺がんの早期発見のため、喫煙指数（1日の本数×喫

煙年数）600以上、又は過去6カ月以内に血痰のあった受診者におこなうことが勧められている。当協会の職域検診もこれに準じておこなわれている。

表1 肺がん検診 —胸部X線—

年齢階級		平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	226	1	0.4	229	0	0	197	0	0
	女	168	0	0	143	0	0	131	1	0.8
	計	394	1	0.3	372	0	0	328	1	0
40～44	男	342	0	0	313	2	0.6	285	0	0
	女	348	0	0	324	1	0.3	286	3	1.0
	計	690	0	0	637	3	0.5	571	3	0.5
45～49	男	447	3	0.7	447	4	0.9	419	1	0.2
	女	426	2	0.5	438	2	0.5	410	2	0.5
	計	873	5	0.6	885	6	0.7	829	3	0.4
50～54	男	403	4	1.0	391	3	0.8	390	6	1.5
	女	396	4	1.0	404	6	1.5	379	9	2.4
	計	799	8	1.0	795	9	1.1	769	15	2.0
55～59	男	372	9	2.4	362	5	1.4	312	3	1.0
	女	399	6	1.5	388	5	1.3	389	6	1.5
	計	771	15	1.9	750	10	1.3	701	9	1.3
60～64	男	279	4	1.4	256	0	0	259	3	1.2
	女	37	0	0	25	0	0	40	0	0
	計	316	4	1.3	281	0	0	299	3	1.0
65～69	男	19	1	5.3	17	0	0	16	1	6.3
	女	4	0	0	0	0	0	0	0	—
	計	23	1	4.3	17	0	0	16	1	6.3
70～74	男	0	0	—	1	0	0	1	0	0
	女	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	—	1	0	0	1	0	0
75歳以上	男	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	女	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	—	0	0	—	0	0	—
合計	男	2,088	22	1.1	2,016	14	0.7	1,879	14	0.7
	女	1,778	12	0.7	1,722	14	0.8	1,635	21	1.3
	計	3,866	34	0.9	3,738	28	0.7	3,514	35	1.0

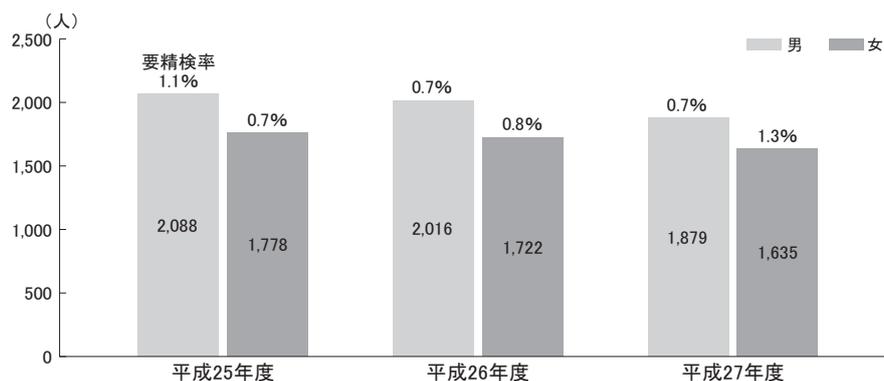


図1 肺がん検診年度別受診者数と要精検率 —胸部X線—

表2 肺がん検診 ー喀痰検査ー

年齢階級		平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	32	0	0	19	0	0	20	0	0
	女	7	0	0	6	0	0	4	0	0
	計	39	0	0	25	0	0	24	0	0
40～44	男	74	0	0	51	0	0	46	0	0
	女	25	1	4.0	16	0	0	10	0	0
	計	99	1	1.0	67	0	0	56	0	0
45～49	男	85	0	0	69	0	0	49	0	0
	女	20	0	0	16	0	0	15	0	0
	計	105	0	0	85	0	0	64	0	0
50～54	男	146	0	0	115	0	0	110	0	0
	女	36	0	0	23	0	0	18	0	0
	計	182	0	0	138	0	0	128	0	0
55～59	男	142	2	1.4	109	0	0	98	0	0
	女	16	0	0	13	0	0	22	0	0
	計	158	2	1.3	122	0	0	120	0	0
60～64	男	135	0	0	79	0	0	78	0	0
	女	11	0	0	7	0	0	6	0	0
	計	146	0	0	86	0	0	84	0	0
65～69	男	69	1	1.4	29	0	0	37	0	0
	女	4	0	0	5	0	0	4	0	0
	計	73	1	1.4	34	0	0	41	0	0
70～74	男	27	0	0	18	1	5.6	9	0	0
	女	2	0	0	4	0	0	7	0	0
	計	29	0	0	22	1	4.5	16	0	0
75歳以上	男	30	1	3.3	29	0	0	18	0	0
	女	6	0	0	3	0	0	2	0	0
	計	36	1	2.8	32	0	0	20	0	0
合 計	男	740	4	0.5	518	1	0.2	465	0	0
	女	127	1	0.8	93	0	0	88	0	0
	計	867	5	0.6	611	1	0.2	553	0	0

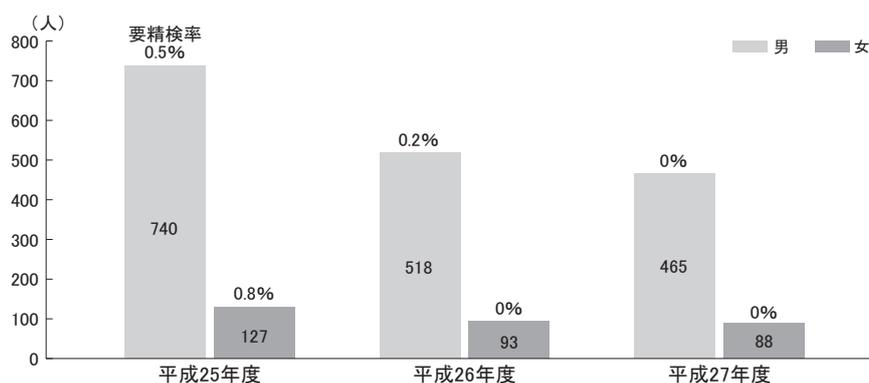


図2 肺がん検診年度別受診者数と要精検率 ー喀痰検査ー

### (3) 大腸がん検診

施設健診および事業所の健診に付随して便潜血検査をおこなった。

近年、食生活の欧米化に伴い大腸がんは急増しているものの、早期がんの段階で発見、治療すれば予後は良好

で、5年生存率は90%以上と言われており、労働安全衛生法による定期健康診断と同時に実施するなど、受診率を高める必要がある。

表1 大腸がん検診（便潜血検査）〈施設〉

年齢階級		平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	942	30	3.2	1,022	30	2.9	974	37	3.8
	女	460	19	4.1	534	17	3.2	540	28	5.2
	計	1,402	49	3.5	1,556	47	3.0	1,514	65	4.3
40～44	男	1,056	53	5.0	1,100	48	4.4	1,186	54	4.6
	女	556	19	3.4	552	33	6.0	627	20	3.2
	計	1,612	72	4.5	1,652	81	4.9	1,813	74	4.1
45～49	男	906	32	3.5	928	33	3.6	1,020	32	3.1
	女	478	19	4.0	502	27	5.4	610	24	3.9
	計	1,384	51	3.7	1,430	60	4.2	1,630	56	3.4
50～54	男	781	36	4.6	824	40	4.9	897	46	5.1
	女	431	19	4.4	457	24	5.3	548	15	2.7
	計	1,212	55	4.5	1,281	64	5.0	1,445	61	4.2
55～59	男	673	54	8.0	692	42	6.1	694	42	6.1
	女	360	14	3.9	399	15	3.8	406	13	3.2
	計	1,033	68	6.6	1,091	57	5.2	1,100	55	5.0
60～64	男	535	46	8.6	489	33	6.7	535	32	6.0
	女	273	20	7.3	252	10	4.0	261	16	6.1
	計	808	66	8.2	741	43	5.8	796	48	6.0
65～69	男	311	28	9.0	283	27	9.5	324	33	10.2
	女	126	3	2.4	129	4	3.1	138	4	2.9
	計	437	31	7.1	412	31	7.5	462	37	8.0
70～74	男	149	4	2.7	135	13	9.6	142	11	7.7
	女	58	5	8.6	45	1	2.2	53	4	7.5
	計	207	9	4.3	180	14	7.8	195	15	7.7
75～79	男	26	1	3.8	28	3	10.7	23	0	0
	女	6	1	16.7	0	0	0	10	2	20.0
	計	32	2	6.3	28	3	10.7	33	2	6.1
80歳以上	男	6	1	16.7	0	0	-	8	1	12.5
	女	8	0	0	0	0	-	3	0	0
	計	14	1	7.1	0	0	-	11	1	9.1
合計	男	5,385	285	5.3	5,498	269	4.9	5,803	288	5.0
	女	2,756	119	4.3	2,882	131	4.5	3,196	126	3.9
	計	8,141	404	5.0	8,380	400	4.8	8,999	414	4.6

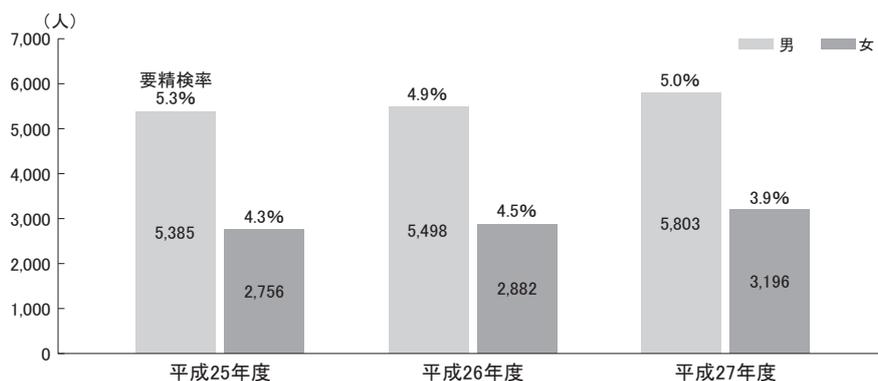


図1 大腸がん検診（便潜血検査）年度別受診者数と要精検率〈施設〉

表2 大腸がん検診（便潜血検査）〈職域〉

年齢階級		平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	4,401	150	3.4	4,726	148	3.1	4,817	154	3.2
	女	2,579	132	5.1	3,015	167	5.5	3,192	177	5.5
	計	6,980	282	4.0	7,741	315	4.1	8,009	331	4.1
40～44	男	4,539	179	3.9	4,247	163	3.8	4,461	178	4.0
	女	3,332	154	4.6	2,655	122	4.6	2,860	144	5.0
	計	7,871	333	4.2	6,902	285	4.1	7,321	322	4.4
45～49	男	3,818	186	4.9	3,675	164	4.5	4,080	159	3.9
	女	3,195	134	4.2	2,619	123	4.7	2,867	125	4.4
	計	7,013	320	4.6	6,294	287	4.6	6,947	284	4.1
50～54	男	3,581	186	5.2	3,472	171	4.9	3,939	218	5.5
	女	3,050	122	4.0	2,632	110	4.2	2,786	124	4.5
	計	6,631	308	4.6	6,104	281	4.6	6,725	342	5.1
55～59	男	3,495	228	6.5	3,239	214	6.6	3,552	223	6.3
	女	2,888	130	4.5	2,498	102	4.1	2,598	94	3.6
	計	6,383	358	5.6	5,737	316	5.5	6,150	317	5.2
60～64	男	3,505	238	6.8	3,051	218	7.1	3,185	228	7.2
	女	1,989	71	3.6	1,693	84	5.0	1,861	71	3.8
	計	5,494	309	5.6	4,744	302	6.4	5,046	299	5.9
65～69	男	1,794	144	8.0	1,513	136	9.0	1,807	172	9.5
	女	764	39	5.1	854	49	5.7	1,130	56	5.0
	計	2,558	183	7.2	2,367	185	7.8	2,937	228	7.8
70～74	男	653	59	9.0	481	49	10.2	517	39	7.5
	女	283	20	7.1	365	32	8.8	505	39	7.7
	計	936	79	8.4	846	81	9.6	1,022	78	7.6
75～79	男	106	6	5.7	75	11	14.7	84	13	15.5
	女	73	3	4.1	275	21	7.6	354	26	7.3
	計	179	9	5.0	350	32	9.1	438	39	8.9
80歳以上	男	57	7	12.3	67	17	25.4	101	13	12.9
	女	79	5	6.3	235	31	13.2	352	42	11.9
	計	136	12	8.8	302	48	15.9	453	55	12.1
合計	男	25,949	1,383	5.3	24,546	1,291	5.3	26,543	1,397	5.3
	女	18,232	810	4.4	16,841	841	5.0	18,505	898	4.9
	計	44,181	2,193	5.0	41,387	2,132	5.2	45,048	2,295	5.1

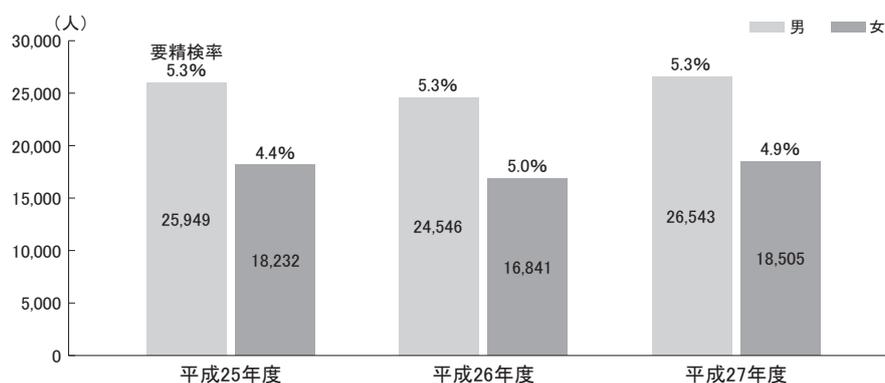


図2 大腸がん検診（便潜血検査）年度別受診者数と要精検率〈職域〉

## 5. 人間ドック

当協会開設以来の事業である「人間ドック」は、精度管理を徹底し「優良総合健診施設」の認定を受け実施している。

今年度の受診者数は、昨年度より約300人増加した。

これは、協会けんぽ生活習慣病予防健診を利用した人間ドックコースの企業への積極的な受診勧奨とリピーターへの丁寧な案内などによるものと思われる。

有所見率については、受診者層の高齢化もあいまって男女ともに上昇し特に男性では7割を超える結果となった。

インターネットなどのメディアを通じ膨大な健康情報を得ることが可能となった現在、受診者の「健康」への関心は増々高くなり「健康寿命の延伸」を目的とした人間ドックにも精度だけでなくあらゆるサービスを含めたコスト・パフォーマンスの高さを求めていると考えられる。

このような状況を踏まえ当協会は、高い精度と様々なニーズに応える豊富なオプション検査や充実した事後指導、心温まる接遇で受診者から選ばれる施設となるよう努力しなければならない。

表1 半日ドック等

年齢階級		平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
34歳以下	男	70	30	42.9	63	31	49.2	89	44	49.4
	女	67	30	44.8	78	46	59.0	98	47	48.0
	計	137	60	43.8	141	77	54.6	187	91	48.7
35～39	男	435	243	55.9	376	218	58.0	321	172	53.6
	女	317	163	51.4	279	167	59.9	263	139	52.9
	計	752	406	54.0	655	385	58.8	584	311	53.3
40～44	男	734	464	63.2	680	421	61.9	688	455	66.1
	女	585	315	53.8	548	304	55.5	583	345	59.2
	計	1,319	779	59.1	1,228	725	59.0	1,271	800	62.9
45～49	男	853	553	64.8	792	547	69.1	814	576	70.8
	女	576	360	62.5	537	343	63.9	617	399	64.7
	計	1,429	913	63.9	1,329	890	67.0	1,431	975	68.1
50～54	男	856	573	66.9	815	584	71.7	869	640	73.6
	女	624	361	57.9	597	404	67.7	705	480	68.1
	計	1,480	934	63.1	1,412	988	70.0	1,574	1,120	71.2
55～59	男	765	522	68.2	737	517	70.1	708	517	73.0
	女	596	362	60.7	567	380	67.0	561	400	71.3
	計	1,361	884	65.0	1,304	897	68.8	1,269	917	72.3
60～64	男	550	398	72.4	513	393	76.6	497	395	79.5
	女	341	212	62.2	305	215	70.5	330	236	71.5
	計	891	610	68.5	818	608	74.3	827	631	76.3
65～69	男	284	210	73.9	277	201	72.6	306	250	81.7
	女	163	105	64.4	167	125	74.9	187	139	74.3
	計	447	315	70.5	444	326	73.4	493	389	78.9
70～74	男	164	124	75.6	150	120	80.0	145	121	83.4
	女	79	56	70.9	81	56	69.1	76	57	75.0
	計	243	180	74.1	231	176	76.2	221	178	80.5
75歳以上	男	59	47	79.7	53	45	84.9	69	56	81.2
	女	36	28	77.8	36	29	80.6	37	34	91.9
	計	95	75	78.9	89	74	83.1	106	90	84.9
合計	男	4,770	3,164	66.3	4,456	3,077	69.1	4,506	3,226	71.6
	女	3,384	1,992	58.9	3,195	2,069	64.8	3,457	2,276	65.8
	計	8,154	5,156	63.2	7,651	5,146	67.3	7,963	5,502	69.1

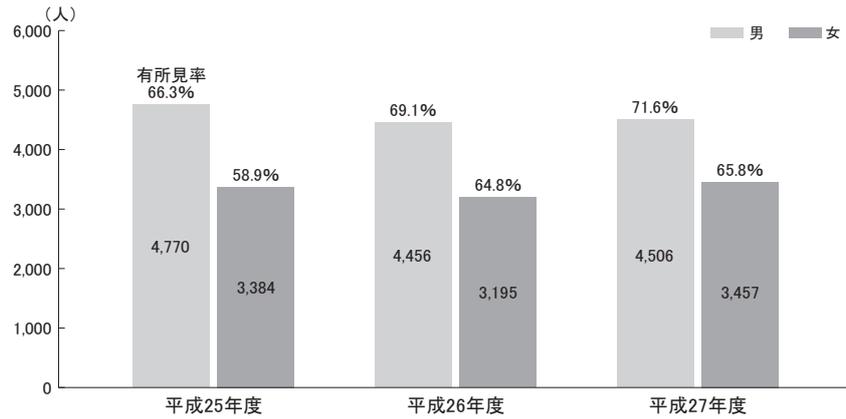


図1 半日ドック等年度別受診者数と有所見率

肺ドックは、CT撮影や喀痰細胞診、肺機能検査を セットし、肺がんや慢性閉塞性肺疾患（COPD）などの 疾患を重点的に調べるドックである。

表2 肺ドック

年齢階級		平成26年度			平成27年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
39歳以下	男	0	0	—	1	0	0
	女	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	—	1	0	0
40～44	男	0	0	—	2	0	0
	女	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	—	2	0	0
45～49	男	0	0	—	3	1	33.3
	女	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	—	3	1	33.3
50～54	男	0	0	—	2	0	0
	女	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	—	2	0	0
55～59	男	3	2	66.7	6	3	50.0
	女	1	0	0	1	1	100.0
	計	4	2	50.0	7	4	57.1
60～64	男	2	2	100.0	6	2	33.3
	女	0	0	—	0	0	—
	計	2	2	100.0	6	2	33.3
65～69	男	2	2	100.0	6	2	33.3
	女	0	0	—	2	1	50.0
	計	2	2	100.0	8	3	37.5
70～74	男	2	0	0	1	0	0
	女	2	0	0	2	1	50.0
	計	4	0	0	3	1	33.3
75歳以上	男	18	12	66.7	12	9	75.0
	女	2	2	100.0	2	2	100.0
	計	20	14	70.0	14	11	78.6
合計	男	27	18	66.7	39	17	43.6
	女	5	2	40.0	7	5	71.4
	計	32	20	62.5	46	22	47.8

脳ドックは、頭部断層撮影（MRI）や頭部・頸部血管撮影（MRA）をおこない、脳腫瘍、無症候性脳梗塞、脳動脈瘤などの早期発見を目的としたドックである。平成26年3月にMR装置の更新を行い、1.0Tから1.5T

（シーメンス社 MAGNETOM ESSENZA）へと磁場強度を上げた。画質の改善、時間の短縮、撮影内容の見直しなどにより精度が向上している。

表3 脳ドック

		平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		受診者数	有所見者*数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
34歳以下	男	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	女	0	0	-	0	0	-	1	0	0
	計	0	0	-	0	0	-	1	0	0
35～39	男	0	0	-	3	1	33.3	2	1	50.0
	女	3	0	0	1	1	100.0	0	0	-
	計	3	0	0	4	2	50.0	2	1	50.0
40～44	男	3	1	33.3	4	2	50.0	5	2	40.0
	女	4	2	50.0	2	0	0	6	2	33.3
	計	7	3	42.9	6	2	33.3	11	4	36.4
45～49	男	7	1	14.3	9	1	11.1	13	6	46.2
	女	8	2	25.0	4	1	25.0	3	1	33.3
	計	15	3	20.0	13	2	15.4	16	7	43.8
50～54	男	43	10	23.3	20	7	35.0	29	12	41.4
	女	40	14	35.0	14	4	28.6	42	8	19.0
	計	83	24	28.9	34	11	32.4	71	20	28.2
55～59	男	41	18	43.9	32	12	37.5	44	15	34.1
	女	46	13	28.3	28	7	25.0	37	12	32.4
	計	87	31	35.6	60	19	31.7	81	27	33.3
60～64	男	17	6	35.3	11	3	27.3	15	4	26.7
	女	16	4	25.0	12	6	50.0	10	2	20.0
	計	33	10	30.3	23	9	39.1	25	6	24.0
65～69	男	5	1	20.0	1	0	0	3	1	33.3
	女	1	1	100.0	3	3	100.0	3	1	33.3
	計	6	2	33.3	4	3	75.0	6	2	33.3
70～74	男	2	2	100.0	3	2	66.7	2	0	0
	女	0	0	-	0	0	-	2	0	0
	計	2	2	100.0	3	2	66.7	4	0	0
75歳以上	男	3	3	100.0	0	0	-	3	1	33.3
	女	2	0	0	2	2	100.0	3	0	0
	計	5	3	60.0	2	2	100.0	6	1	16.7
合計	男	121	42	34.7	83	28	33.7	116	42	36.2
	女	120	36	30.0	66	24	36.4	107	26	24.3
	計	241	78	32.4	149	52	34.9	223	68	30.5

※有所見者：頭部MRI・MRA、頸部MRA判定のC1（1年後要再検査）以上の者  
50歳女性 1名 MR検査なし

表4 脳ドック判定別有所見数

年齢階級	受診者数	有所見者数	有所見数(※1)	頭部MRI							頭部MRA					頸部MRA			
				無症候性脳梗塞	脳梗塞	腫瘍(※2)	のう胞	硬膜下血腫	耳鼻咽喉(※2)	脳萎縮	動脈狭窄	動脈瘤	(動静脈シャント)	静脈洞描出	後大脳動脈が静脈洞へ直結	血管異常	(脳動脈瘤コイル影響)	信号消失	動脈狭窄
合計	男	116	42	58	10	0	8	1	0	16	1	2	12	1	1	1	0	5	0
	女	107	26	31	3	1	3	1	0	5	0	3	11	0	0	0	1	2	1
	計	223	68	89	13	1	11	2	0	21	1	5	23	1	1	1	1	7	1

※1 有所見者数から各判定ごとの有所見数(複数所見あり)

※2 腫瘍は皮膚所見等も含む/耳鼻咽喉所見の腫瘍は耳鼻咽喉に含む

いきいきライフドックは要介護予防を目的にしたドックである。認知機能や運動機能(ロコモティブシンドローム)の低下、栄養状態の悪化、動脈硬化のリスクを検査している。その結果により、当日の医師の結果説明と保健指導、さらに6カ月間の継続支援とその後のフォロー検査など、受診者個人の状態に合わせて生活指導をおこなっていく。

6カ月間の継続支援では受診者の状態に合わせて、もの忘れ・身体バランス・栄養バランス・動脈硬化の4つの支援コースを設けている。

6カ月後のフォロー検査では生活改善の効果を確認し、その結果から今後の取り組み内容を再度、医師・保健師などと相談する機会を設けている。

表5 いきいきライフドック受診者数およびリスク判定結果

	受診者数	リスク判定結果					
		リスクなし	もの忘れ	ロコモ	栄養低下	動脈硬化	
合計	男	2	0	0	1	0	1
	女	6	0	0	1	0	5
	計	8	0	0	2	0	6

## 6. その他の二次検診等

### (1) 循環器二次検診

循環器二次検診の対象は、定期健診、人間ドック、住民健診などの一次健康診断で異常を指摘された人、他の医療機関から主治医より検査目的のため紹介された人、その後主治医からの指示による経過観察のための検査目的の人、などである。

検診内容は、循環器内科医による診察の後、必要に応じて安静時心電図、胸部X線撮影、心エコー図検査、頸

動脈エコー図検査、ホルター心電図検査、トレッドミル運動負荷心電図検査などの検査をおこなう。この結果、病院などの医療機関への受診が必要な場合は、受診勧奨とともに診療情報提供書を作成し、紹介している。

今年度の受診者数は、13例で、詳細は下記に示す通りである。

年齢（歳）	58±21（23-93）	備考
性別 男／女	8／5	
受診理由		
一次健康診断で異常を指摘	8	異常指摘項目：心電図6、胸部X線1、聴診1
他医療機関から紹介	2	
主治医指示で経過観察	3	
結果		
専門医紹介	1	肥大型心筋症にて専門医紹介
主治医にて経過観察	5	
異常なし	7	

## (2) 胸部二次検査

当協会では企業、学校検診、ドック、神戸市肺がん検診などで行う胸部検診で要精検の判定を受けた受診者に

対しCT検査や必要に応じ喀痰細胞診を併用し二次検査を実施している。

表1 胸部二次検査実施数及び判定結果

年齢階級	平成27年度				
	受診者数	判定3 健康	判定2 要観察・再検査	判定1 要医療	
39歳以下	男	5	3	1	1
	女	4	3	0	1
	計	9	6	1	2
40～44	男	4	2	1	1
	女	3	3	0	0
	計	7	5	1	1
45～49	男	1	1	0	0
	女	3	3	0	0
	計	4	4	0	0
50～54	男	3	2	0	1
	女	3	0	2	1
	計	6	2	2	1
55～59	男	8	2	6	0
	女	4	0	4	0
	計	12	2	10	0
60～64	男	15	2	13	0
	女	5	4	1	0
	計	20	6	14	0
65～69	男	31	2	28	1
	女	7	3	4	0
	計	38	5	32	1
70歳以上	男	78	5	73	0
	女	15	6	6	3
	計	93	11	79	3
合 計	男	145	19	122	4
	女	44	20	18	6
	計	188	39	140	10

### (3) 骨粗鬆症検査 (DXA法)

骨粗鬆症検査 (DXA法) は、二次検診と人間ドックなどのオプション検査の受診者が含まれる。二次検診は、

医療機関からの依頼患者と超音波法などで骨量減少が疑われる方を対象としている。

表1 骨粗鬆症検査実施数及び判定結果

年齢階級	平成27年度			
	受診者数	骨粗鬆症疑 (6カ月後再検査)	骨量減少 (1年後再検査)	正常範囲
39歳以下	男	0	0	0
	女	7	0	3
	計	7	0	3
40～44	男	0	0	0
	女	25	0	2
	計	25	0	2
45～49	男	3	0	1
	女	36	5	3
	計	39	5	4
50～54	男	3	0	2
	女	74	12	18
	計	77	12	20
55～59	男	6	0	0
	女	57	19	18
	計	63	19	18
60～64	男	3	0	0
	女	81	35	27
	計	84	35	27
65～69	男	8	2	4
	女	74	36	20
	計	82	38	24
70～74	男	14	3	7
	女	52	28	18
	計	66	31	25
75歳以上	男	12	8	2
	女	61	36	20
	計	73	44	22
合 計	男	49	13	16
	女	467	171	129
	計	516	184	145

### (4) 上部消化管内視鏡検査

近年、胃がん検診を、バリウム透視検査から、上部消化管内視鏡検査に変えようという動きが強まってきており、厚生労働省もその方針を推奨しだしている。ただ、現実には、消化器内視鏡専門医の絶対数の不足や、出張検診では不可能などの制約があり、いまだ全国的には広がっていない。当協会も従来から、協力医とスタッフの協力体制のもと、病院併設健診センターではないという、

施行上の制約があるにも関わらず、ここ3年間のデータに見るように、受診者数もその有所見率も増加してきている。その疾患名も、がん（早期および進行）だけでなく、最近注目され4年前にその治療が保険適応となった「ヘリコバクターピロリ菌感染胃炎（萎縮性胃炎や腸上皮化生）」や現代病である「逆流性食道炎」を診断し、診療所での治療に結びつけている。

表1 上部消化管内視鏡検査

年齢階級	平成25年度			平成26年度			平成27年度			
	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	
34歳以下	男	35	1	2.9	39	1	2.6	60	2	3.3
	女	16	0	0	26	0	0	27	0	0
	計	51	1	2.0	65	1	1.5	87	2	2.3
35～39	男	277	15	5.4	279	16	5.7	294	21	7.1
	女	141	0	0	165	7	4.2	191	10	5.2
	計	418	15	3.6	444	23	5.2	485	31	6.4
40～44	男	420	33	7.9	480	33	6.9	563	54	9.6
	女	291	10	3.4	345	12	3.5	366	16	4.4
	計	711	43	6.0	825	45	5.5	929	70	7.5
45～49	男	440	31	7.0	506	34	6.7	576	60	10.4
	女	296	11	3.7	339	17	5.0	398	17	4.3
	計	736	42	5.7	845	51	6.0	974	77	7.9
50～54	男	481	48	10.0	520	46	8.8	599	63	10.5
	女	360	17	4.7	415	27	6.5	440	26	5.9
	計	841	65	7.7	935	73	7.8	1,039	89	8.6
55～59	男	411	42	10.2	493	50	10.1	510	67	13.1
	女	349	21	6.0	386	31	8.0	393	39	9.9
	計	760	63	8.3	879	81	9.2	903	106	11.7
60～64	男	404	54	13.4	427	52	12.2	453	63	13.9
	女	244	22	9.0	256	17	6.6	282	25	8.9
	計	648	76	11.7	683	69	10.1	735	88	12.0
65～69	男	240	37	15.4	300	38	12.7	358	51	14.2
	女	111	15	13.5	134	15	11.2	166	22	13.3
	計	351	52	14.8	434	53	12.2	524	73	13.9
70～74	男	115	15	13.0	122	22	18.0	147	28	19.0
	女	46	3	6.5	51	7	13.7	46	4	8.7
	計	161	18	11.2	173	29	16.8	193	32	16.6
75歳以上	男	31	2	6.5	33	4	12.1	48	7	14.6
	女	17	5	29.4	15	8	53.3	18	4	22.2
	計	48	7	14.6	48	12	25.0	66	11	16.7
合計	男	2,854	278	9.7	3,199	296	9.3	3,608	416	11.5
	女	1,871	104	5.6	2,132	141	6.6	2,327	163	7.0
	計	4,725	382	8.1	5,331	437	8.2	5,935	579	9.8

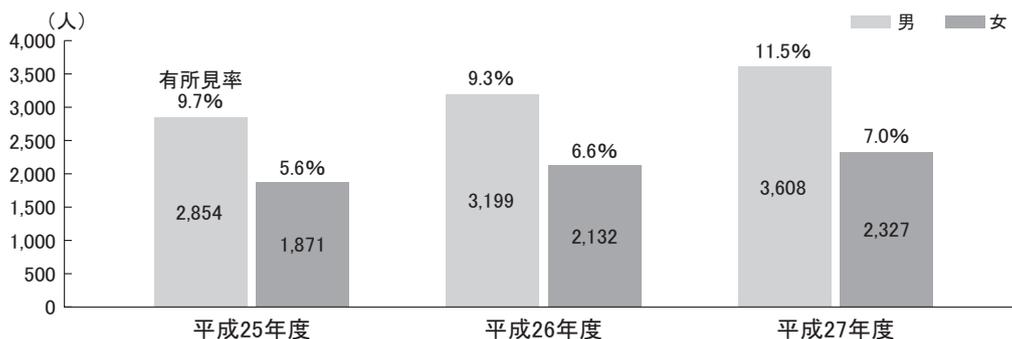


図1 上部消化管内視鏡検査年度別受診者数と有所見率

## 7. 禁煙外来

喫煙はさまざまな病気を引き起こす。2012年に発表された研究<sup>1)</sup>によると、日本の非感染性疾患および外因（外傷など）による死亡のなかでは、喫煙が最大の原因であった。当協会においては健診時にも簡易的な禁煙指導を行っているが、ニコチン依存症となっている場合、自力のみでの禁煙は難しいことが多い。従来、禁煙希望者は自費にて薬局でニコチンパッチやニコチンガムを購入していたが、平成18年からニコチン依存症の管理料が算定できることとなり、ニコチンパッチが保険適用となった。さらに、平成20年からは内服薬であるバレニクリン（商品名チャンピックス）も保険適用となり、禁煙外来へのニーズは高まっている。このような情勢を鑑み、予防医学を推進する当協会でも12月より禁煙外来を開設することとなった。

禁煙外来では、初回診療、再診1（2週間後）、再診2（4週間後）、再診3（8週間後）、再診4（12週間後）の計5回診療を行う（図1）。各診療において、診察、呼気一酸化炭素濃度の測定、禁煙継続のためのアド

バイス、禁煙補助薬の選定と処方を行う。また、喫煙は動脈硬化を引き起こすことから、当協会では追加費用なしで初回診察時と12週間後の最終診察時に簡易頸動脈エコー検査を行い、動脈硬化の程度を判断している。

なお、保険適用となるためには、以下の条件をすべて満たす必要がある。条件を満たさない場合は自費診療となるが、当協会では自費診療での禁煙外来は行っていない。

- 「タバコ依存スクリーニングテスト」（表1）で「はい」が5つ以上あること
- 喫煙指数（一日の喫煙本数×喫煙年数）が200以上であること（ただし、35歳未満の者については2016年4月にこの要件は廃止された）
- 今すぐ禁煙を希望している
- 過去に禁煙外来を受診されたことがある場合は前回の禁煙外来の初診日から1年が経過していること

今年度（平成27年12月～平成28年3月）は2名の利用があった。今後広報活動を活発に行い、受診者数の拡大に努めたい。

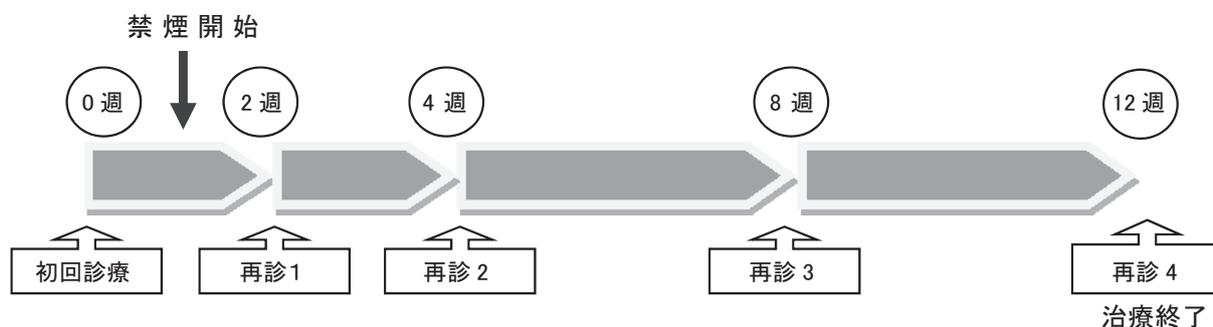


図1 禁煙外来のスケジュール

表1 タバコ依存スクリーニングテスト

下記の質問を読んで、あてはまるものに○をつけましょう。

問1	自分が吸うつもりよりも、ずっと多くタバコを吸ってしまうことがある。	はい	いいえ
問2	禁煙や本数を減らそうと試みてもできなかったことがある。	はい	いいえ
問3	禁煙したり本数を減らそうとしたときに、タバコがほしくてたまらなくなることがある。	はい	いいえ
問4	禁煙したり本数を減らしたときに、イライラ、神経質、落ちつかない、集中しにくい、ゆううつ、頭痛、眠気、胃のむかつき、脈が遅い、手のふるえ、食欲または体重増加が出た。	はい	いいえ
問5	問4の症状を消すために、またタバコを吸い始めることがあった。	はい	いいえ
問6	重い病気にかかったときに、タバコはよくないとわかっているのに吸ってしまった。	はい	いいえ
問7	タバコのために自分に健康問題が起きているとわかっているのに、吸ってしまった。	はい	いいえ
問8	タバコのために自分に精神的な問題が起きているとわかっているのに、吸ってしまった。	はい	いいえ
問9	自分はタバコに依存していると感じることがある。	はい	いいえ
問10	タバコが吸えないような仕事や、つきあいを避けることが何度かあった。	はい	いいえ

1) Ikeda N, et al : PLoS Med, 2012 ; 9(1) : e1001160

## 8. 保健指導

### (1) 特定保健指導事業

特定保健指導とは、生活習慣病の予防を目的とした事業で、特定健診受診者をレベルに応じて階層化し、動機付け支援レベルおよび積極的支援レベルに該当した対象者に指導を行う。積極的支援の対象者は40歳以上65歳未

満である。勧奨後終了者数と最終評価実施者数を合わせたものを終了者数とした。

今年度の特定保健指導は実施中のため、昨年度に実施した特定保健指導の状況について示す。

#### ① 地域保健

神戸市国民健康保険から委託された特定健診受診者を階層化し、対象者を選定した。対象者には案内を送付し、希望者に特定保健指導を実施した。また申し込みのな

かった対象者には電話で参加勧奨を行った。

平成25年度から集団健診の受診者だけでなく、個別健診の受診者についても医療機関より希望があれば、特定保健指導を実施している。

表1 特定保健指導実施状況（動機付け支援）

年齢階級	性別	対象者数	初回実施者数	終了者数	最終評価実施者数
40～44	男	104	6	6	4
	女	42	1	1	1
	計	146	7	7	5
45～49	男	94	5	5	3
	女	38	7	7	5
	計	132	12	12	8
50～54	男	84	3	3	3
	女	50	3	3	2
	計	134	6	6	5
55～59	男	70	3	2	2
	女	64	8	8	8
	計	134	11	10	10
60～64	男	146	18	18	17
	女	183	17	17	14
	計	329	35	35	31
65～69	男	927	63	61	52
	女	485	47	44	39
	計	1,412	110	105	91
70～74	男	845	77	69	63
	女	362	45	41	35
	計	1,207	122	110	98
合計	男	2,270	175	164	144
	女	1,224	128	121	104
	計	3,494	303	285	248

表2 特定保健指導実施状況（積極的支援）

年齢階級	性別	対象者数	初回実施者数	最終評価実施者数
40～44	男	168	3	2
	女	19	2	2
	計	187	5	4
45～49	男	152	3	2
	女	23	0	0
	計	175	3	2
50～54	男	179	8	7
	女	17	0	0
	計	196	8	7
55～59	男	151	6	5
	女	38	4	4
	計	189	10	9
60～64	男	277	13	7
	女	83	8	6
	計	360	21	13
合計	男	927	33	23
	女	180	14	12
	計	1,107	47	35

② 産業保健

出張実施として6つの医療保険者から、施設実施として集合契約を結んだ医療保険者などから委託を受け、特定保健指導を実施した。

表1 特定保健指導実施状況（動機付け支援）

年齢階級	性別	初回実施者数	終了者数	最終評価実施者数
～39	男	4	0	0
	女	0	0	0
	計	4	0	0
40～44	男	19	12	12
	女	3	0	0
	計	22	12	12
45～49	男	18	12	12
	女	3	3	3
	計	21	15	15
50～54	男	12	10	8
	女	5	1	4
	計	17	11	12
55～59	男	8	6	6
	女	1	1	1
	計	9	7	7
60～64	男	7	5	5
	女	5	5	5
	計	12	10	10
65～69	男	18	17	15
	女	1	1	1
	計	19	18	16
70～74	男	12	9	9
	女	0	0	0
	計	12	9	9
合計	男	98	71	67
	女	18	11	14
	計	116	82	81

※初回実施者数には、初回支援のみ契約で実施した人数も含む

表2 特定保健指導実施状況（積極的支援）

年齢階級	性別	初回実施者数	最終評価実施者数
～39	男	4	0
	女	0	0
	計	4	0
40～44	男	25	12
	女	3	2
	計	28	14
45～49	男	25	15
	女	1	1
	計	26	16
50～54	男	31	22
	女	2	2
	計	33	24
55～59	男	18	15
	女	2	1
	計	20	16
60～64	男	17	15
	女	0	0
	計	17	15
65～69	男	0	0
	女	0	0
	計	0	0
70～74	男	1	1
	女	0	0
	計	1	1
合計	男	121	80
	女	8	6
	計	129	86

※初回実施者数には、初回支援のみ契約で実施した人数も含む

(2) 健康相談事業

生活習慣病対策は、健康寿命の延伸、医療費を抑制するため極めて重要である。今年度から重症化予防対策の一環として、市民健診会場で前回の健診結果で要医療

になっているが受診をしていない方（未受診者）に対し受診勧奨をおこなっている。

① 地域保健

a. 神戸市市民健康診査未受診者勧奨事業

健診会場に保健師または看護師が出務し、血圧、HbA1c、LDLコレステロール、尿蛋白の項目に関し、

勧奨基準値（表1）に該当し医師の指示があった者に対しておこなっている（表2）。

表1 未受診者勧奨事業（勧奨基準値）

種別	基準値
血圧	160mmHg以上／100mmHg以上
HbA1c（NGSP）	6.5%以上
LDLコレステロール	180mg/dl以上（男性のみ）
尿蛋白	2+以上

※いずれも前回値で未受診の対象者のみ

表2 未受診者勧奨事業（実施状況）

種別	実施人数
血圧	402
HbA1c	238
LDLコレステロール	252
尿蛋白	46
その他	456
延べ合計	1,394
実数合計	1,294

b. 相談業務

健診結果・諸検査・項目の意味・所見・日常生活の改善点に関する質問や疑問については電話と面接で対応している（表3、4）。

表3 電話・面接健康相談

相談方法	実施人数
電話	1,178
面接	0
計	1,178

表4 健康相談内容

相談内容	相談件数
身体（BMI・腹囲）	11
血圧	54
脂質（中性脂肪・HDL・LDL）	148
肝機能（AST・ALT・ $\gamma$ GTP）	49
糖代謝（血糖・HbA1c・尿糖）	111
腎機能（尿蛋白・尿潜血・Cre・eGFR）	66
貧血（RBC・血色素量・Ht値）	26
尿酸	23
肝炎（B型・C型）	17
胸部X線	52
心電図	52
眼底	82
骨粗鬆症	16
睡眠時無呼吸症候群	6
胃がん検診	171
大腸がん検診	27
子宮がん検診	9
乳がん検診	37
前立腺がん検診	16
肺がん検診	10
その他のがん検診	10
その他	185
計	1,178

② 産業保健

a. 施設内健康相談

施設内健康相談には、半日ドック、一泊ドックの結果説明時に実施する健康相談や労災二次健診における健康

相談などがある。二次検査および受診の勧奨や運動・栄養などの生活習慣改善の相談を実施している（表5、6）。

表5 結果説明および健康相談

事業名	実施人数
半日ドック	372
一泊ドック	175
労災二次	150
計	697

表6 半日ドック健康相談内容

相談項目	相談件数
ダイエット	125
脂質異常	8
高血圧	18
糖尿病	44
不眠	18
肝障害	40
腰痛	14
アルコール	6
高尿酸血症	2
慢性疲労	2
禁煙	0
更年期	12
眼精疲労	18
貧血	1
関節疾患	3
アレルギー	12
乳房	11
子宮	1
メンタル（全般）	12
特になし	4
その他	198
計	549

b. 出張健康相談

依頼のあった事業所1カ所に対して、健康診断の結果に基づき抽出した受診者や希望者に実施している。

③ その他

地域保健や産業保健以外で、骨粗しょう症検診やドックの受診者に対して、医師による結果説明の後に運動・栄養などの生活習慣改善相談を実施している。（表7）

表7 その他の結果説明および健康相談

事業名	実施人数
骨粗しょう症検診	33
半日ドック	236
一泊ドック	12
計	281

## 9. 細胞診

神戸市の委託を受け、「神戸市子宮頸がん検診」および「神戸市肺がん検診」における“細胞診部門”を実施している。

また、神戸市内医療機関が一般診療として実施する「子宮がん細胞診（一般診療）」を受託している。

### （1）子宮がん細胞診

#### ① 神戸市子宮頸がん検診

昭和47年、神戸市の委託を受けて、「神戸市子宮がん細胞診センター」が当協会に設置され、細胞診は子宮頸がん検診における主軸をなしてきた。検診体制は、昭和58年度の老人保健法施行、平成11年度一般財源化、平成17年度の検診対象条件改正（年齢が30歳以上から20歳以上、受診間隔が通年から隔年）を経てきた。さらに平成21年度から5年間、20、25、30、35、40歳を対象に「女性特有のがん検診」が実施された。今年度は、このうち平成22および25年度の未受診者と20歳を対象に、無料クーポン券による検診が実施された。

#### 【神戸市子宮頸がん検診システム】

日本産婦人科医会の方式に基づき、神戸市指定医療機関（約95施設）で採取された検体は、神戸市医師会医療センターが収集し、当協会へ搬入される。検査成績は、このルートにより、当該医療機関へ報告する。

細胞診成績の報告様式は、平成22年より、従来のクラス分類にベセスダシステムによる分類（表3）を併記していたが、厚生労働省の通達を受け、今年度よりベセスダシステムに統一された。判定結果が要精検の場合、医

療機関宛に追跡調査を実施し、統計表を月次集計表と同様に、神戸市へ報告する。また、各医療機関へ神戸市および医療機関毎の集計表を報告するなど、連携して検診事業の精度向上に努めている。

今年度の「神戸市子宮頸がん検診細胞診成績」を表1と図1に示した。44歳以下の若年層において検査数が多いのは、「無料クーポン検診」によるものであり、40～44歳で特に多いのは、神戸市が独自に実施している「40歳総合健診」（無料）によるものである。また、この年齢層には、妊娠を契機としたものが含まれる。要精検者数は、44歳以下が全体の76.4%を占め、その成績は“ASC-US”が39.0%を占めており、HPV検査への対応が必要と思われる。

過去3年間の「細胞診実施状況推移」を表2に示した。検査数は、昨年度は「無料クーポン検診」対象者数が多かったものの、要精検率は概ね一定の値で推移している。不適正検体率は年々改善されており、今年度は検体採取時のブラシ使用率が90%以上になったこともあり、年度当初目標に近い5.5%であった。

表1 神戸市子宮頸がん検診 細胞診成績（ベセスダシステム）

年齢階級	検査数	不適正検体率 (%)	NILM	扁平上皮系					腺系			その他	要精検者数	要精検率 (%)
				ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Ad.ca			
20～24	2,169	4.9	1,986	40	5	25	6	1	0	0	0	0	77	3.6
25～29	2,271	7.1	2,047	30	2	14	13	2	1	0	0	0	62	2.7
30～34	4,202	6.9	3,794	37	10	22	40	5	3	1	0	0	118	2.8
35～39	3,902	6.0	3,579	29	9	11	29	3	5	0	1	0	87	2.2
40～44	7,180	5.2	6,631	67	26	24	43	9	7	1	0	0	177	2.5
45～49	2,407	4.9	2,243	20	5	4	11	1	3	0	2	0	46	1.9
50～54	2,696	4.9	2,518	24	4	6	7	4	0	0	0	0	45	1.7
55～59	1,526	4.7	1,438	7	2	3	1	2	0	0	1	0	16	1.1
60～64	2,099	5.1	1,972	5	6	2	5	0	1	0	0	0	19	0.9
65～69	1,724	4.5	1,631	2	5	1	2	4	0	1	0	0	15	0.9
70～74	1,485	4.0	1,416	6	1	0	0	3	0	0	0	0	10	0.7
75～79	437	6.2	406	1	0	0	2	0	0	0	1	0	4	0.9
80歳以上	327	6.4	300	2	0	1	1	1	1	0	0	0	6	1.8
計	32,425	5.5	29,961	270	75	113	160	35	21	3	5	0	682	2.1

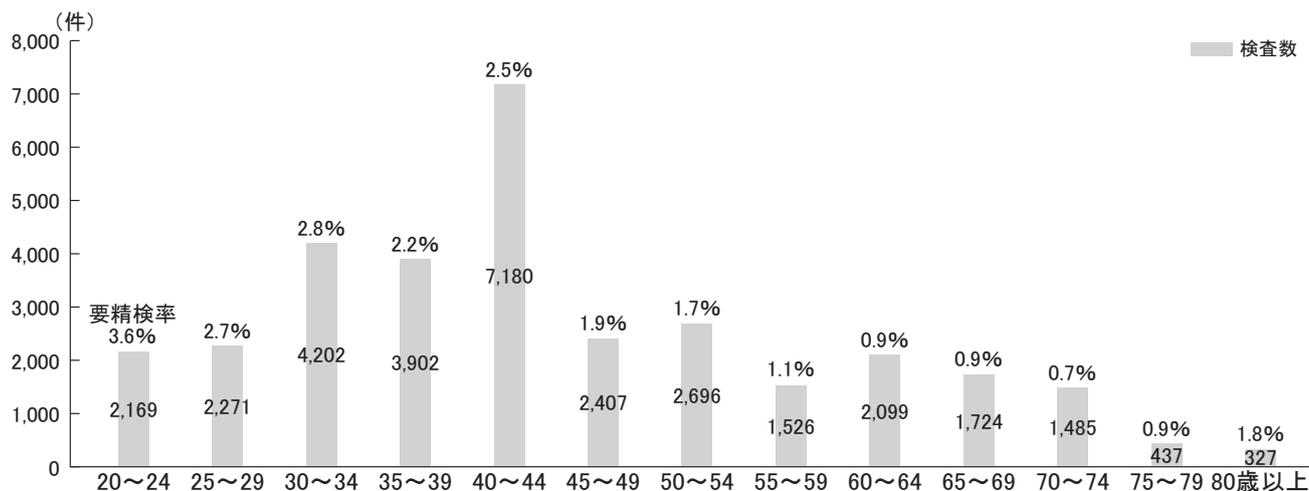


図1 神戸市子宮頸がん検診検査数および要精検率（細胞診成績）

表2 神戸市子宮頸がん検診  
細胞診実施状況推移

	検査数	不適正 検体率 (%)	要精検率 (%)
平成25年度	31,773	9.9	2.2
平成26年度	37,645	8.9	2.2
平成27年度	32,425	5.5	2.1

表3 ベセスダシステム分類

分類名	意味
NILM	正常な細胞のみ
ASC-US	軽度扁平上皮内病変疑い
ASC-H	高度扁平上皮内病変疑い
LSIL	軽度扁平上皮内病変
HSIL	高度扁平上皮内病変
SCC	扁平上皮がんと考えられる細胞を認める
AGC	腺細胞系に悪性を疑う細胞を認める
AIS	腺細胞系に悪性の可能性が高い細胞を認める
A denocarcinoma	腺細胞系に悪性と考えられる細胞を認める
Other malig.	悪性と考えられる細胞を認める

② 子宮がん細胞診（一般診療）

医療機関において一般診療として実施される子宮がん細胞診を受託し、神戸市子宮頸がん検診システムに準じて運用している。標本作製方法は従来法（直接塗抹法）に加え、平成23年度より要望に応じて液状検体処理法（LBC）を採用している。検体採取部位は、従来法では子宮頸部と体部、LBCでは頸部のみである。

表4に今年度の「子宮がん細胞診成績・一般診療」を示した。

子宮頸部では、不適正検体率は、従来法で8.8%、LBCで0.8%、要精検率は、従来法で2.9%、LBCで6.0%であった。LBCによる検診の精度の高さを明確に示したと思われる。子宮体部を見ると45～54歳と65～69歳に要精検例が集中している。

表4 子宮がん細胞診成績・一般診療

標本作製法 採取部位	液状検体法（LBC）			従来法（直接塗抹法）					
	子宮頸部			子宮頸部			子宮体部		
年齢階級	検査数	不適正 検体率 (%)	要精 検率 (%)	検査数	不適正 検体率 (%)	要精 検率 (%)	検査数	不適正 検体率 (%)	要精 検率 (%)
19歳以下	17	0	0	1	100.0	0	0	0	0
20～24	124	0	16.1	22	0	4.6	1	0	0
25～29	216	0.5	6.9	53	15.1	5.7	4	0.3	0
30～34	241	0.4	4.2	65	7.7	3.1	5	0	0
35～39	194	0	8.3	79	6.3	2.5	15	0	0
40～44	149	0	5.4	123	4.9	4.1	56	0	0
45～49	162	2.5	4.9	90	6.7	3.3	60	0.1	1.7
50～54	123	0.8	2.4	139	5.8	2.2	106	0	2.8
55～59	102	0	2.9	100	6.0	1.0	59	0.1	0
60～64	65	1.5	6.2	52	7.7	3.9	20	0.1	0
65～69	100	1.0	2.0	41	9.8	0	8	0.1	12.5
70～74	48	2.1	2.1	41	14.6	2.4	14	0.1	0
75～79	35	0	0	28	25.0	3.6	7	0.4	0
80歳以上	27	11.1	22.2	38	28.9	2.6	1	0	0
計	1,603	0.8	6.0	872	8.8	2.9	356	0.1	1.4

(2) 喀痰細胞診

神戸市肺がん検診 喀痰細胞診

昭和62年、老人保健法に基づく肺がん検診が導入され、神戸市より委託を受けて、当協会が「喀痰細胞診」を実施している。

神戸市指定医療機関（約450施設）から提出された受診者の喀痰は、神戸市医師会医療センターが収集し、当協会に搬入される。検査結果は神戸市肺がん検診読影委員会へ報告し、胸部X線検査結果と併せて総合判定される。

今年度の男女別年齢階級別検査状況および検査数（表1・図1）を見ると、男性では65～74歳で際立って多く、この年代の肺がんに対する関心の深さが窺える。一方女性では、40～44歳で多く、これは神戸市が「肺癌集団検診の手引き」より対象者を40歳以上に拡大し、さらに

「40歳総合健診」（無料）を実施しているためと思われる。要精検は男性7例、女性0例であった。

- [補足]
- 要精検者数 = 判定区分D（悪性疑） + E（悪性）
  - 要精検率% = 要精検者数 / 検査数 - 判定区分A（材料不適）
  - 判定区分B（正常）・C（良性）

年度別検査状況推移（表2）を見ると、検査数は増加傾向にあり、今年度は顕著であった。また、要精検者数は少数ながら実績を挙げている。

肺がん検診は、胸部X線検査および高危険群への喀痰細胞診の併用で、死亡数減少効果があるとされている。今後は、検診効率を高めるためにも、喫煙者や高齢者等の高危険群に対する受診勧奨を強化すべきと思われる。

表1 男女別年齢階級別検査状況

年齢階級		検査数	要精検者数	要精検率 (%)
35～39	男	3	0	0
	女	6	0	0
	計	9	0	0
40～44	男	550	0	0
	女	1,267	0	0
	計	1,817	0	0
45～49	男	214	0	0
	女	281	0	0
	計	495	0	0
50～54	男	227	1	0.44
	女	341	0	0
	計	568	1	0.44
55～59	男	230	0	0
	女	327	0	0
	計	557	0	0
60～64	男	408	0	0
	女	556	0	0
	計	964	0	0
65～69	男	1,037	0	0
	女	921	0	0
	計	1,958	0	0
70～74	男	1,124	4	0.36
	女	898	0	0
	計	2,022	4	0.36
75～79	男	474	2	0.42
	女	397	0	0
	計	871	2	0.42
80歳以上	男	309	0	0
	女	274	0	0
	計	583	0	0
合計	男	4,576	7	0.15
	女	5,268	0	0
	計	9,844	7	0.07

表2 年度別検査状況推移

	性別	検査数	要精検者数	要精検率 (%)
平成25年度	男	3,467	3	0.09
	女	4,058	0	0
	計	7,525	3	0.04
平成26年度	男	3,734	3	0.08
	女	4,221	1	0.02
	計	7,955	4	0.05
平成27年度	男	4,576	7	0.15
	女	5,268	0	0
	計	9,844	7	0.07

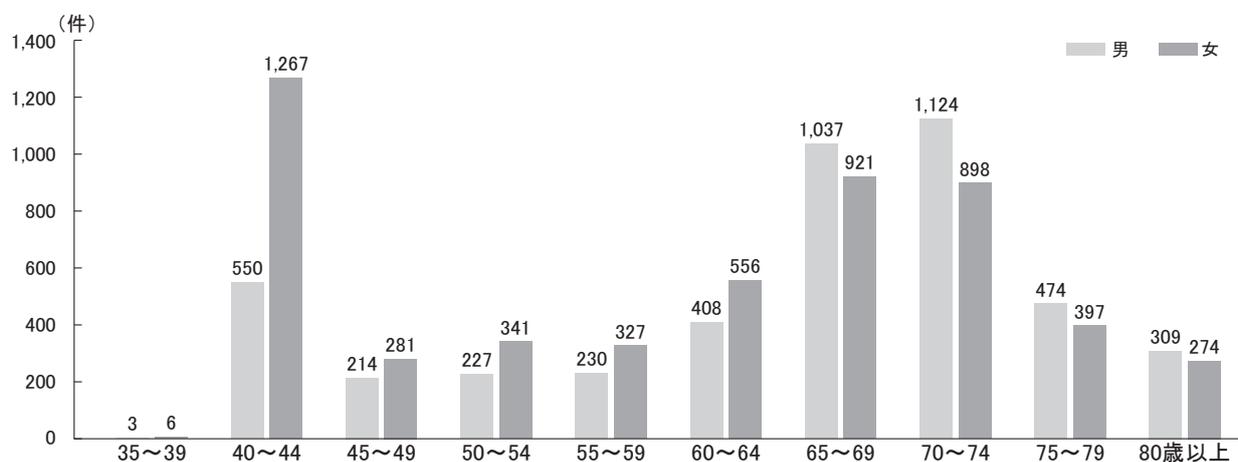


図1 男女別年齢階級別検査数

## 10. 腸内細菌検査

腸内細菌検査は、主として食品取り扱い者（給食従事者を含む）からの依頼に応じて実施している。また、平成15年より神戸市の感染症関連業務の一部の4項目（赤痢菌・腸チフス菌・パラチフス菌・腸管出血性大腸菌O-157）を継続受託している。

今年度におこなったサルモネラ保菌検査は70,876件で、19件の検出があった。一方、腸管出血性大腸菌保菌検査

は73,220件で、5件の検出があった。また、赤痢保菌検査は70,811件で、検出は一切なかった。

当協会では、サルモネラ食中毒防止の疫学的解析の一つとなると考え、保菌者検索で分離した株の血清群を確認している。今年度は、O4群36.8%、O8群31.6%、O7群21.1%、その他10.5%であった。

表1 腸内細菌年度別検査件数と陽性件数

年 度	検査件数			陽性件数		
	赤痢菌	サルモネラ属菌	腸管出血性大腸菌	赤痢菌	サルモネラ属菌	腸管出血性大腸菌
平成25年度	94,096	94,124	98,683	0	29	14
平成26年度	86,953	86,980	86,309	0	16	8
平成27年度	70,811	70,876	73,220	0	19	5

表2 年度別神戸市保健所受託検査件数

平成25年度	赤痢菌	8	陽性者なし		
	腸チフス菌	0	陽性者なし		
	パラチフス菌	6	陽性者なし		
	腸管出血性大腸菌O-157	136	VT I・II (13名)	VT IIのみ (1名)	
平成26年度	赤痢菌	4	陽性者なし		
	腸チフス菌	4	陽性者なし		
	パラチフス菌	0	陽性者なし		
	腸管出血性大腸菌O-157	69	VT I・II (2名)	VT Iのみ (3名)	VT IIのみ (3名)
平成27年度	赤痢菌	2	陽性者なし		
	腸チフス菌	4	陽性者なし		
	パラチフス菌	12	陽性者なし		
	腸管出血性大腸菌O-157	49	VT I・II (1名)	VT Iのみ (3名)	VT IIのみ (1名)

# 11. 環境測定

## 作業環境測定

労働安全衛生法に基づく作業環境測定をおこなう機関として、有害物取扱事業所の労働衛生管理の一翼を担い、特殊健康診断と連携して働く人のより快適な職場環境づくりに協力している。

また、測定精度の維持、向上のため、(公社)日本作業環境測定協会の「総合精度管理事業」、各種講習会などに継続して参加し、「粉じん計の較正」の実施と併せ、適正な測定業務の遂行に努めている。

今年度の測定件数は表1に示すとおり、測定受託事業所数59、年2回の実施を含めた延べ事業場数は113と昨年度にほぼ変動はなかったが、測定単位作業場所数は316と増加した。これは、印刷、洗浄、塗装業務などに使用される有機溶剤並びに特別有機溶剤などを対象とする測定の増加によるところが大きい。

測定結果の報告に加えて、作業場の作業環境改善の具体策についても助言を実施した。測定・評価の結果、前年度と同様に、作業環境管理の状態について改善を要すると判断された作業場の割合は、騒音、特定化学物質順で高く、改善が進んでいない状況が続いており施設設備改善の難しさも一因であると推察される。

## 事務所衛生基準規則等の空気環境測定

作業環境測定機関の他に、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく空気環境測定業の登録をおこない、特定建築物に該当する施設、その他事業所の事務所などにおける空気環境の測定をおこない、環境管理の支援をおこなっている。

表2に今年度の実施数を示す。

表1 作業環境測定件数（指定作業場）

測定項目	事業所数（延べ数）	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		単位作業場所	測定点	単位作業場所	測定点	単位作業場所	測定点
粉 じ ん	重量法	23	23	22	22	23	23
	相対濃度法	23	155	22	152	23	170
	個人暴露	3	7	4	8	5	10
特定化学物質（金属類を除く）		78	506	80	532	106	690
特定化学物質（金属類）		0	0	23	149	33	235
金 属 類		4	26	5	58	4	44
分 析 の み		4	78	2	54	2	54
有 機 溶 剤		76	548	93	647	104	722
騒 音 測 定		19	191	11	113	10	106
局 所 排 気 装 置		6	96	6	96	6	96
計		236	1,630	268	1,831	316	2,150

表2 空気環境測定等件数（測定点数）

測定項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事務所衛生基準	911	897	918
喫煙対策	2	0	0
熱中症対策	7	0	0
計	920	897	918

# 12. 食品検査

## はじめに

厚生労働省登録を受けた食品検査機関であり、主として地域の食品関連事業者における自主衛生管理をサポートする種々の検査を実施している。

微生物検査を中心とするさまざまな検査を実施しており、食品工場や飲食店の施設設備や加工食品などの微生物汚染の検査を通して施設衛生状況を調査。また、衛生レベルの向上と食中毒事故の防止を目的とした助言や衛生講習会をおこなっている。

行政関連としては、平成16年度より引続き、神戸市内の公・私立保育所（園）の給食室を対象とした衛生調査を実施しており、食の安全・安心に対する関心が高まっている中、公益性の高い業務の実施に努めている。

## 業務内容

食品の微生物および理化学的成分について、次の検査

と検査結果に基づく衛生指導助言をおこなっている。

- ① 食品の品質および安全性に関する検査
- ② 食品の苦情などに基づく異物の同定検査
- ③ 食品の品質保持期限などの設定のための保存検査
- ④ 調理器具類、従事者手指などのふき取り検査（衛生調査）、検査結果に基づく衛生指導（文書、現場指導）

## 結果

今年度の検査実績は、検体数で5,347件、検査項目数で10,084件であり（表1）、内訳は微生物検査が7,924項目（表2）、理化学検査が1,686項目（表3）であった。細菌検査では、大腸菌群と一般生菌が全体の半数以上を占めており、衛生指標菌として一般的な衛生管理の検証に幅広く用いられていると推測される。衛生調査は、のべ約380施設に対し実施し、現場での助言、文書助言、衛生講習会などを実施し、改善指導を支援した。

表1 食品検査検体数および検査項目数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
検 体 数	5,473	3,672	5,347
延べ検査項目数	9,749	10,606	10,084

（検体数、延べ検査項目数には、ふき取り検査件数が含まれる。）

表2 細菌検査件数

検査項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
大 腸 菌 群	2,721	3,201	3,652
一 般 生 菌 数	2,026	2,490	1,836
腸 炎 ビ ブ リ オ	122	108	86
黄 色 ブ ド ウ 球 菌	1,542	1,150	1,407
サ ル モ ネ ラ	297	237	173
腸 管 出 血 性 大 腸 菌	344	274	210
大 腸 菌 ( <i>E.coli</i> )	170	104	43
カンピロバクター	48	74	57
セ レ ウ ス 菌	22	16	35
真 菌 検 査	328	350	297
そ の 他	60	444	128
計	7,680	8,448	7,924

表3 理化学検査件数

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
栄養成分	エネルギー	17	5	10
	たんぱく質	21	8	16
	脂質	20	5	15
	炭水化物	19	1	17
	ビタミン	2	0	4
	ミネラル・灰分	33	10	15
	ナトリウム（食塩相当量）	4	14	19
品質管理	水分	267	331	228
	水分活性	260	315	237
	糖度	255	334	217
	pH	261	340	222
	VBN・ヒスタミン	40	17	33
	油脂・変質	531	656	546
	その他	44	0	0
規格検査	乳脂肪分	1	1	0
	無脂乳固形分	7	1	0
食品添加物	50	91	102	
アフラトキシン	5	0	0	
残留農薬	96	0	0	
その他	137	1	5	
計	2,070	2,130	1,686	

## 13. 水質検査

水質検査は、飲用水検査として水質基準に照らされる建築物衛生管理や貯水槽水道、飲用井戸管理の検査のほか、遊泳プール、公衆浴場などの衛生管理上の検査である。今年度の実施件数は2,192件であった（表1）。

平成25年度を以て、水道事業者対象の水質検査および

計量証明事業を廃業して以降の大幅な減少は変わらない。

飲用水検査、プール衛生管理検査において水質基準或いは管理基準を超過する割合（不適率）は、昨年度に増加した掘削直後と思われる井戸水検査が減少したため例年並みとなった。

表1 水質検査実施件数推移

検査項目	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
	件数	不適	不適率(%)	件数	不適	不適率(%)	件数	不適	不適率(%)
井戸水等精密検査	35	6	17.1	1	0	0	2	0	0
建築物環境衛生関係検査	75	0	0	24	0	0	38	0	0
飲料水簡易検査(10・11項目)	392	4	1.0	287	41	14.3	268	17	6.3
プール水(学校・一般)	128	0	0	116	0	0	108	1	0.9
レジオネラ検査	773	-	-	604	-	-	585	-	-
排水等計量証明検査	431	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1,247	-	-	1,191	-	-	1,191	-	-
計	3,081	-	-	2,223	-	-	2,192	-	-

## 14. 水道施設検査

### 概要

厚生労働大臣登録簡易専用水道検査機関として受水槽水道施設(簡易専用水道及び小規模受水槽水道)の検査を実施し、安全で衛生的な水の確保に対する貢献を図っている。

簡易専用水道とは、水道事業の用に供する水道から供給を受ける水を水源とし、給水方式が受水槽方式であり、この受水槽の有効容量が10立方メートルを超えるものをいう。

設置者は供給される水の安全および衛生を確保するために、厚生労働省令で定める基準に従いその水道を管理し、さらに設置者自らが管理の適否について専門的な知識を有する者の検査を受けることと定められている。

一方、受水槽の有効容量が10立方メートル以下の施設においては法規制対象外であったため、管理の不徹底に起因した衛生上の問題が発生する可能性が指摘されてきた。その後、各自治体では受水槽水道衛生管理指導要綱などを整備し、受水槽の有効容量が10立方メートル以下の施設に対しても、簡易専用水道と同等の管理をおこなうよう規定し、受水槽の有効容量の区別を設けることなく安全で衛生的な飲料水の確保を図っている。

### 検査内容及び実施結果

検査内容は、大きくは次の3つに分けられる。

- 施設の外観検査
- 給水栓における水質検査
- 書類検査

施設の外観検査を主とするが、検査項目としては74あり、それぞれの項目について判定し3段階の総合判定を決める。

簡易専用水道検査は今年度においても、県内の広い範囲で3,398施設の検査を実施した(表1、表2)。全体で「良好」の判定は2,755施設(81.1%)、「やや良(概ね良好)」は639施設(18.8%)、「要改善(速やかに改善を要する)」は4施設(0.1%)であった。良好施設の割合は、ここ数年横ばいであったが、今年度は増加に転じた。

小規模受水槽水道では、法的な検査義務がないこともあり、818施設の検査を実施した(表2、表3)。

検査後、改善が必要な施設については実務担当者などに具体的な改善方法などを例示、提案し、補修および改善の参考となるよう助言をおこなっている。また、所轄監督行政機関との連携を深めることにより、受検を促し、安全で衛生的な水の確保への貢献に努めている。

表1 受検施設数の推移(簡易専用水道)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
受検施設数	3,748	3,572	3,398
良好施設数	2,920	2,855	2,755
良好施設割合(%)	77.9	79.9	81.1

良好施設割合(%) = (良好施設数 / 受検施設数)

表2 地域別受検施設数および検査結果

検査対象地域	検査施設数	検査結果（総合判定）						小規模施設数
		良好		やや良(概ね良好)		要改善		
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	
神戸市	1,457	1,224	84.0	230	16.0	3	0.2	647
宝塚市	277	221	79.8	56	20.2	0	0	47
芦屋市	273	217	79.5	56	20.5	0	0	22
明石市	331	265	80.1	66	19.9	0	0	18
三田市	170	130	76.5	40	23.5	0	0	9
川西市	167	133	79.6	34	20.4	0	0	12
川辺郡猪名川町	33	29	87.9	4	12.1	0	0	6
篠山市	37	30	81.1	7	18.9	0	0	8
丹波市	42	39	92.9	3	7.1	0	0	3
洲本市	40	29	72.5	10	27.5	1	2.5	3
淡路市	54	39	72.2	15	27.8	0	0	2
南あわじ市	41	30	73.2	11	26.8	0	0	0
西宮市	371	284	76.5	87	23.5	0	0	16
伊丹市	17	14	82.4	3	17.6	0	0	4
尼崎市	33	24	72.7	9	27.3	0	0	10
姫路市	24	24	100.0	0	0	0	0	5
三木市	9	5	55.6	4	44.4	0	0	1
加古川市	9	8	88.9	1	11.1	0	0	3
加西市	1	1	100.0	0	0	0	0	0
加古郡播磨町	1	1	100.0	0	0	0	0	0
高砂市	3	1	33.3	2	66.7	0	0	0
朝来市	1	1	100.0	0	0	0	0	0
小野市	5	5	100.0	0	0	0	0	1
加東市	1	0	0	1	100.0	0	0	0
赤穂市	1	1	100.0	0	0	0	0	1
計	3,398	2,755	81.1	639	18.8	4	0.1	818

表3 受検施設数の推移（小規模受水槽水道）

	平成25年度	平成26年度	平成26年度
受検施設数	919	880	818

# Ⅲ 予防医学に関する 調査研究事業



# 調査・研究

## 1. 論文発表（総説論文、原著論文等）

- (1) 上田いずみ：保健指導業務評価チェックシートの活用による指導技術の向上と特定保健指導の効果について. 予防医学ジャーナル 483：36-40, 2015
- (2) 宮本祐見子：チェックリストからみた採血業務の現状分析. 予防医学ジャーナル 483：46-49, 2015
- (3) 高橋かおる：non-HDLコレステロール. Nutrition Care メディカ出版 vol9no. 1：36-37, 2015
- (4) 高橋かおる：中性脂肪（トリグリセリド）. Nutrition Care メディカ出版 vol9no. 1：40-41, 2015

## 2. 学会報告等

- (1) 高橋かおる：現場で役立つ？ 検体検査よもやま話，楽しくてためになる健康教育の実践セミナー 2015, 京都, 2015.4.12
- (2) 高橋かおる：非糖尿病男性における蛋白尿を陽性化もしくは陰性化させる因子の検討, 第58回日本糖尿病学会年次学術集会, 下関, 2015.5.22
- (3) 富田安彦：省略4誘導心電図と2点心音図の心臓検診でみつかった心疾患, 第58回日本小児循環器学会総会・学術集会, 東京, 2015.7.16-17
- (4) 前川朝彦：小規模受水槽水道の検査状況と神戸市における取り組み, 平成27年度全国給水衛生検査協会近畿支部研修会, 大阪, 2015.9.18
- (5) 亀井真由美：ストレスチェック制度における保健師のメンタルヘルス連携の実際, 第55回近畿産業衛生学会, 兵庫, 2015.11.14
- (6) 前川朝彦：小規模受水槽水道の検査状況と神戸市における取り組み, 平成27年度全国給水衛生検査協会簡易専用水道検査全国技術研究発表会, 東京, 2015.12.10-11
- (7) 猪又麻子：要介護予防事業への取り組みについて－いきいきライフドック－, 第50回予防医学技術研究会議, 仙台, 2016.2.25-26
- (8) 平田奈緒美：行動変容をめざした特定保健指導－性格タイプ別の教材を取り入れた効果の検証－, 第50回予防医学技術研究会議, 仙台, 2016.2.25-26

- (9) 小西晴美：認知症予防に対する試み－50歳からの脳力アップセミナー－，第50回予防医学技術研究会議，仙台，2016.2.25－26
- (10) 寺田洋祐：地域保健におけるCOPDスクリーニング，第50回予防医学技術研究会議，仙台，2016.2.25－26
- (12) 富田安彦：過去の川崎病流行時と最近の患者増加時の患者年齢分布の特徴的な差異〈川崎病発病契機の疫学的アプローチ〉，第40回近畿川崎病学会，大阪，2016.2.27
- (13) 山浦泰子：Effects of Smoking Status and Smoking Cessation on Carotid Intima-Media Thickness in Subjects with Cardiovascular Risk Factors，第80回日本循環器学会学術集会，仙台，2016.3.18－20

# IV 健康支援のための健康増進 事業及び健康教育事業



# 1. 健康づくり事業

健康づくり事業は、自身の生活習慣を振り返る機会を講義や実践などを通して提供している。

参加者がこの事業をきっかけに正しい生活習慣を身に

つけ、健康の維持・増進、疾病の予防を図っていくために年齢や性別などを考慮し、ニーズに合わせた様々な企画を行っている。

## (1) 健康学習

### ① 土曜健康科学セミナー

今年度は前期12回（参加者1,011名）、後期12回（1,070名）を開催した。

高血圧や糖尿病、慢性腎臓病などの生活習慣病やその他疾病の予防や治療、フレイルやパーキンソン病などの高齢者に深く関わる疾患、さらには再生医療の現状など幅広いテーマを取り上げた。

3月12日には500回目を迎え、「医学の歴史からみたこれからの健康科学」と題して医学の歴史を振り返り、将来の健康科学の展望と「健康とは何か」についての記念講演を開催した。

今後もより内容を深く発展させ、市民の健康に寄与していきたい。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
4月11日	最近話題の感染症について	神戸大学大学院保健学科 准教授 亀岡 正典	53
4月25日	腎臓の老化と慢性腎臓病	神戸大学大学院医学研究科 腎臓内科 教授 西 慎一	119
5月9日	健康に老い生きるためのコツとは？ －フレイル予防から考える－	国立長寿医療研究センター 副院長 荒井 秀典	132
5月23日	健康な睡眠とは？	神戸市立医療センター西市民病院 精神・神経科 部長代行 中元 幸治	108
6月13日	パーキンソン病について	神戸市立医療センター中央市民病院 副院長 神経内科 部長 幸原 伸夫	110
6月27日	再生医療はどこまで進んでいるの？ －骨、関節の再生医療－	神戸大学大学院医学研究科 整形外科学 准教授 黒田 良祐	71
7月11日	女性のライフステージと漢方 －女性には女性ならではの様々な愁訴があります－	近畿大学東洋医学研究所 所長・教授 武田 卓	52
7月18日	あなたの足はむくんでいますか？	神戸市立医療センター中央市民病院 総合診療科 部長 西岡 弘晶	57
8月8日	下痢と便秘	兵庫医科大学 炎症性腸疾患内科 助教 飯室 正樹	76
8月22日	不整脈を知る・診る・防ぐ	神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科 医長 小堀 敦志	109
9月5日	糖尿病の予防と治療	神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科 教授 小川 涉	78
9月26日	ホルモン補充療法へのお誘い －女性の更年期障害について－	中野産婦人科医院 院長 中野 篤	46
10月10日	目がかすむと思ったら －超高齢時代の目の病気－	神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 眼科学分野 教授 中村 誠	103
10月24日	危ないっ！寝たきりの一歩手前！ －頸椎症はこわい病気？－	神戸労災病院 院長 鷺見 正敏	86

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
11月7日	足の瘤、むくみ - 下肢静脈瘤について -	神戸大学大学院医学研究科 心臓血管外科 血管内治療センター 副センター長・特定助教 野村 佳克	99
11月28日	尿のトラブルについて	神戸市立医療センター西市民病院 副院長 中村 一郎	118
12月5日	「のど」のがんについて	神戸市立医療センター中央市民病院 頭頸部外科 部長 篠原 尚吾	74
12月12日	キズの治り方、キズの治し方	神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 形成外科学分野 教授 寺師 浩人	68
1月16日	お薬を安全・効果的に服用するために	神戸学院大学 薬学部 教授 福島 昭二	80
1月23日	高血圧の予防と治療	神戸市看護大学 専門基礎科学医科学分野 教授 谷 知子	89
2月13日	痛みとは？ - なぜ痛いのか？ 痛みのしくみを考える -	神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 麻酔科学分野 教授 溝渕 知司	95
2月27日	飛躍的に進歩したC型肝炎治療	神戸市立医療センター中央市民病院 消化器内科 医長 鄭 浩柄	52
3月12日	医学の歴史からみたこれからの健康科学	神戸大学名誉教授 岡田 安弘	110
3月26日	NO卒中（脳卒中）について	西神戸医療センター 脳神経外科 部長 武田 直也	96

合計人数 2,081

## ② 健康づくりセミナー

食に関する正しい知識の普及啓発と食育情報の発信として食育講演会を3回開催した。また、健診でおこなわれる検査の意義等の情報を交え、健診結果の生かし方に

についてのシンポジウムも開催した。

無料公開講座としては学校検尿を取り上げ、小児の腎疾患の診断・治療についての講演を開催した。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
6月6日	食育講演会 カスピ海ヨーグルトと大豆で新・日本型食生活	フジッコ株式会社 開発本部商品開発室主任 大橋 聡 営業企画室広告宣伝課 村岡 路子	75
9月19日	食育講演会 タンパク質を摂りましょう！ ～ロコモ予防～	味の素株式会社大阪支社 広報担当専任課長 藤原 芳行	87
10月31日	シンポジウム 健診結果の読み方・生かし方 - 糖尿病予防 -	(公財)兵庫県予防医学協会 医師 島屋 真希 臨床検査技師 高橋かおる 管理栄養士 平野三恵子 保健師 平田奈穂美	86
2月6日	食育講演会 ヨーグルトの魅力 乳酸菌と免疫力の関係	株式会社明治 食品開発研究所プロバイオ学術支援G 管理栄養士 梁原 智晶	69
3月5日	無料公開講座 学校検尿と小児の腎疾患	神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野 (公財)兵庫県予防医学協会 臨床検査技師 野津 寛大 西田 勝彦	35

合計人数 352

## (2) 健康づくり教室

健康づくり教室では、『生活改善コース』、『介護予防コース』、『食育推進コース』、『すこやかコース』を開催

している。

### ① 生活改善コース

生活改善コースでは、生活習慣病の予防や改善、疾病の重症化を予防することを目的とし、実践型の教室を行っている。

食講話と試食を組み合わせた生活習慣病予防教室を始

め、CKD、糖尿病、高血圧の早期治療や重症化予防のために受診勧奨や予防啓発を行った。

連続セミナーでは、食事や運動などの生活習慣を見直し、行動変容につなげる教室を開催した。

開催日	時間帯	教室名	内 容	参加人数
4月15日	午前	いきいき食生活 ヘルシー料理食事会  健康的な生活の源は正しい知識と健全な食生活にあり！必要なエネルギーや塩分など体にやさしい食事を講話と試食で学ぶコース	その疲れの原因は	13
5月20日			油断大敵！ 食中毒	10
6月17日			食品表示に注目	9
7月15日			適塩って何グラム？	9
8月19日			あなたに必要な運動は？	9
9月16日			骨って大切！	10
10月21日			酸化（サビ）と糖化（コゲ）を防ぐ	7
11月18日			冬太り防止の法則	10
12月16日			体を変える腸内細菌	9
1月20日			旬の食材で冬を乗り切る	7
2月17日			おうちの中で身体を動かすコツ	17
3月16日			健診結果から見直す食生活	14
4月16日	午前	いきいき食生活 ヘルシー料理を作る会  健康的な生活の源は正しい知識と健全な食生活にあり！必要なエネルギーや塩分など体にやさしい食事を講話と調理実習で学ぶコース	その疲れの原因は	9
5月21日			油断大敵！ 食中毒	14
6月18日			食品表示に注目	11
7月16日			適塩って何グラム？	16
8月20日			あなたに必要な運動は？	13
9月17日			骨って大切！	11
10月22日			酸化（サビ）と糖化（コゲ）を防ぐ	11
11月19日			冬太り防止の法則	7
12月17日			体を変える腸内細菌	9
1月21日			旬の食材で冬を乗り切る	13
2月18日			おうちの中で身体を動かすコツ	10
3月17日			健診結果から見直す食生活	13

開催日	時間帯	教室名	内 容	参加人数
6月23日	午後	慢性腎臓病（CKD） 予防教室	慢性腎臓病（CKD）を予防しよう 健常者及びCKD予備群を対象に、予防、早期発見・治療の重要性を啓発し、受診勧奨を行い重症化を予防する	24
6月24日				25
9月29日				25
9月30日				14
11月27日				23
12月11日				15
3月29日				23
3月30日				23
5月27日	午後	重症化予防教室	生活習慣の改善をはじめ、 早期受診、早期治療を促し、 糖尿病・高血圧の重症化を予防する。	血糖値を上げない食事と簡単筋トレ
11月13日				血糖値を上げない食事と簡単筋トレ
12月9日				血圧を下げるためにできること（食体験つき）
12月4日～2月12日	午前			糖尿病重症化予防セミナー（全4回）
2月10日～3月2日	午後			高血圧重症化予防セミナー（全3回）
5月19日～6月2日	午後	尿もれ予防体操教室 （全2回）	尿もれを体操で予防！ 40代以上の女性を対象に、講話と骨盤底筋体操の実践で、早期からの腹圧性尿失禁の予防・啓発を行う。	12
12月1日～12月15日				13
2月17日～3月2日				3

合計人数 524

## ② 介護予防コース

介護予防コースは、運動機能や身体活動を維持・向上させ、ロコモティブシンドロームや認知症を予防することを目的としている。

初心者や高齢者でも無理なく参加できる運動教室、体操やゲームなどを楽しみながら脳を活性化させていく教室などを開催した。各教室の中に実践の場を設けることで、家庭でも実行し続けていけるようにしている。

	実施回数	参加人数（延べ）
認知症予防実践教室 頭にいいラジオ実践編	12	105
50歳からの「脳力アップ」セミナー（全4回）	2	18
膝痛なくなれ！ 運動教室（全6回）	2	9
骨量測定付き骨粗しょう症予防運動教室（全4回）	1	6
歌って笑って♪ 健康体操	35	361
骨粗鬆症予防のための太極拳体験	3	20
ボールエクササイズ&ストレッチポール	10	48
和みのヨガ	37	530
自力整体	12	168
自分でカンタンゆがみリセット	1	29
音楽療法	12	183

合計人数 1,477

## ③ 食育推進コース

食育推進コースでは、初めて包丁を持つという料理初心者から、栄養バランスを考えた献立づくりを学びたい料理経験者まで、それぞれのレベルやニーズに合わせた

料理教室を幅広く開催し、健康づくりのための食生活改善に楽しく取り組める機会を提供している。「美味しく、安全に」を原則に、衛生管理の知識の啓発にも力を入れている。

開催日	時間帯	教室名	内 容	参加人数
4月23日～6月11日	夜間	料理の基礎コース	料理の基本技術をマスターし、料理がしてみたくなる入門編	16
7月9日～9月10日				21
10月15日～12月10日				20
1月14日～3月24日				14
4月21日～6月30日	夜間	はじめてクッキング	料理初級者を対象に、作ることと食べることの楽しさを覚え、食材に関する知識や栄養バランスを考えた食事づくりが学べるコース	14
7月21日～9月8日				9
10月27日～12月22日				9
2月2日～3月22日				16
4月24日	夜間	味わいごはん	『おいしい』はもちろん、からだにうれしい健康的な家庭料理を学べるコース	12
5月8日				7
5月22日				12
6月12日				10
7月24日				7
8月7日				7
8月28日				11
9月11日				10
10月16日				7
11月6日				8
11月20日				7
12月4日				13
1月15日				8
2月5日				9
2月19日				8
3月4日	4			
4月8日	夜間	まんぞくクッキング	キャベツをおいしくいただきます	16
6月3日			旬の味わい 玉ねぎづくし	20
10月7日			秋の美味しい彩り和食	13
12月2日			サンドイッチパーティー	15
2月3日			雑穀クッキング	6

## IV 健康支援のための健康増進事業及び健康教育事業

開催日	時間帯	教室名	内 容	参加人数
5月12日	午前	まんぞくクッキング アンコール  まんぞくクッキングで人気のあったメニューを再びおさらいするコース	野菜たっぷり！ 韓国料理	12
7月8日			手打ちうどんて夏をのりきる	10
9月9日			ナンプラーを使いこなそう	23
11月11日			ドイツ料理で年末年始を	9
1月13日			2016年恵方は南南東 節分料理	15
3月9日			豚まんを作ろう	25
4月4日	午前	お魚クッキング	旬の魚介を使って桜ご膳	23
6月13日			触ってさばいておさかな教室	16
8月1日			納涼夏祭りメニュー	7
10月10日			秋のおしゃれミニ懐石	18
12月19日			メリークリスマス	9
2月20日			ごちそうおかずを作りましょ！	14
5月15日	午前	季節のごちそう	ガーデンランチ	11
7月1日			七夕の宴	15
9月25日			炒（チャオ）を習おう	13
10月30日			味覚満載！ 和膳	16
1月29日			2月のイベントレシピ	18
3月25日			アジアの食卓から	12
5月9日	午前	今さら聞けない?! 料理の“基本のき”	ホームパーティー	10
7月25日			みんな大好き 中華	10
9月12日			秋の旬彩弁当	12
11月7日			クリスマスコースメニュー	22
1月30日			はじめてのエスニック	11
3月12日			春待ちパーティーメニュー	11
6月20日	午前	ヘルシークッキング  今話題の食品や昔ながらの行事食をとおして、旬の素材や四季の変化を感じる食生活を学ぶコース	大麦料理で健康に 体の中から美しく	24
7月10日			大豆とカスピ海ヨーグルトで夏をのりきるヘルシー料理	25
11月21日			基本のおせち料理	18
12月5日			創作おせち	23
9月18日	午後	ヘルシークッキング 番外編	英国式紅茶を楽しむ会 アフターヌーンティー	30
4月22日	午前	美味しいコツのわかる お菓子教室	イチゴショートケーキ&ミルクレープ	20
7月3日			ババロア・ジャポネ&ココナッツ・ロッシェ	8
10月28日			キャラメルバターケーキ&Café（カフェ）	11
2月10日			ケイクフランボワーズチョコ&ヴァニラブレツェル	7

合計人数 837

## ④ すこやかコース

すこやかコースでは、ストレス解消やコーチングなどの自己コントロール力をつける講座、リンパマッサージなどの運動により心身をリラックスさせる講座、創作活

動を通じて感性を豊かにする講座などを開催した。

自身の生活を振り返り、身体と心の両面から働きかけ、健康維持・増進を図ることを目的としている。

	実施回数	参加人数（延べ）
自律訓練法と瞑想法	2	34
太極気功と腹式呼吸法	2	18
認知行動療法	2	27
コミュニケーション講座〈コーチング〉（全3回）	1	10
自律訓練法 アスリートのコーチが教えるイメージトレーニング（全4回）	1	9
コミュニケーション講座〈心理学〉（全2回）	1	10
プリザーブドフラワー	4	45
セルフリンパマッサージ	4	46
フェイスリンパマッサージ&メイク	1	21
和太鼓のひびき 鑑賞&演奏体験	1	28
女性のためのフェロモンストレッチ、メリハリ☆ボディ	6	104

合計人数 352

## 2. 健康づくり支援事業

### (1) 講師派遣など

健康づくり支援事業では、事業所・団体向けに健康教育のための教室の開催、講師派遣を行っている。

今年度も講話や検査、運動実践や調理実習などを組み合わせた教室の開催やポピュレーションアプローチを目的とした講習会に、医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士、トレーナー等の講師派遣を行った。

糖尿病予防セミナーでは医師の講演と合わせて健診フロアで健康チェックを行い、生活習慣病予防セミナーで

はライフキッチンを利用してヘルシー料理の試食を行った。

また、機関誌などの依頼に対して、健康や栄養などをテーマに原稿を提供した。

これらの機会を通して、健康づくりへの知識の普及や取り組みへの動機付けを行うと共に、当協会が実施する各種健康診断や健康づくり教室を案内し、栄養・運動・休養をトータル的に実践できる施設として健康ライフプラザのPRを行った。

実施月	依頼先	内容	回数	出務職種
4月	日本山村硝子株式会社	いつもと違う気づきで始まるラインケア	1	保健師
	兵庫県土建一般労働組合姫路支部	腰と骨は元気の要	1	保健師
6月	海空運健康保険組合	すっきり・ぐっすり・熟眠のコツ 疲労回復ストレッチ	2	保健師 トレーナー
7月	生活協同組合コープこうべ	健康教室 上手に食べて健康力アップ 楽しく身体を動かそう	3	管理栄養士 健康運動指導士
	川崎重工業健康保険組合	神戸本社 食生活改善セミナー 食事からはじめるあなたの健康ライフ	1	管理栄養士
	川崎重工業健康保険組合	健康アップセミナー 食事で家族を健康に！	2	管理栄養士
8月	川崎重工業健康保険組合	健康アップセミナー 食事で家族を健康に！	2	管理栄養士
9月	地方独立行政法人 神戸市民病院機構	神戸市看護職員リフレッシュ研修 プリザーブドフラワー、リフレッシュ体操	1	専門講師 トレーナー
	甲南土木建築労働組合兵庫支部	認知症の予防対策～あなたの脳は大丈夫？～	1	保健師
	神戸市職員共済組合	目の疲れや肩こりを和らげよう 簡単ストレッチ	2	保健師
	神戸市職員共済組合	足・腰・ひざを元気に ～無理なく動ける体を維持しましょう～ 腰痛・膝痛予防&解消のための運動	1	健康運動指導士
	神戸市職員共済組合	老化の原因は「サビ」と「コゲ」 ～賢い食べ方でアンチエイジング～ リラックス体操	1	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	脳の健康を保つ教室 ～やわらかアタマでいるために～ 簡単ストレッチと脳トレゲーム	1	保健師
	川崎重工業健康保険組合	明石工場 25. 30歳従業員対象健康教室 食事からはじめるあなたの健康ライフ	2	管理栄養士
	兵庫自動車販売店健康保険組合	健康管理推進委員会 ロコモティブシンドロームについて	1	健康運動指導士
	川崎重工業株式会社神戸本社	体験して納得！ 人と自分との上手な付き合い方	1	保健師
10月	明石市総務部職員厚生課	ヘルシー料理講座 秋バテ防止！ からだ元気ごはん	1	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	老化の原因は「サビ」と「コゲ」 ～賢い食べ方でアンチエイジング～ リラックス体操	2	管理栄養士

実施月	依頼先	内容	回数	出務職種
10月	神戸市職員共済組合	足・腰・ひざを元気に ～無理なく動ける体を維持しましょう～ 腰痛・膝痛予防&解消のための運動	5	健康運動指導士
	神戸市職員共済組合	脳の健康を保つ教室 ～やわらかアタマでいるために～ 簡単ストレッチと脳トレゲーム	1	保健師
	神戸市職員共済組合	目の疲れや肩こりを和らげよう 簡単ストレッチ	1	保健師
	神戸市職員共済組合	健診結果の見方・生かし方 リラックス体操	1	管理栄養士
	地方独立行政法人 神戸市民病院機構	神戸市看護職員リフレッシュ研修 プリザーブドフラワー、リフレッシュ体操	3	専門講師 トレーナー
	公益財団法人 先端医療振興財団	神戸医療産業都市一般公開来場者対象 健康チェック 簡易骨密度測定・自動式血圧測定・簡易認知機能検査・ 光学式ヘモグロビン測定・体組成測定	1	臨床検査技師 保健師 トレーナー
11月	地方独立行政法人 神戸市民病院機構	神戸市看護職員リフレッシュ研修 経絡・ツボ押し、エアフレッシュナー作成、ヨガ	2	専門講師
	神戸市職員共済組合	脳の健康を保つ教室 ～やわらかアタマでいるために～ 簡単ストレッチと脳トレゲーム	1	健康運動指導士
	神戸市職員共済組合	目の疲れや肩こりを和らげよう 簡単ストレッチ	3	保健師
	神戸市保健福祉局 高齢福祉部介護保険課	いきいきシニアライフフェア 来場者対象 健康チェック 簡易骨密度測定・光学式ヘモグロビン測定	1	管理栄養士 トレーナー
	ACデルコ会	ACデルコ会総会 知って得する健康講座	1	健康運動指導士
	社会福祉法人 神戸市北区社会福祉協議会	ボランティアスキルアップ講座 頭と体を鍛えよう～レッツ リフレッシュ	1	健康運動指導士
	明石市総務部職員厚生課	睡眠で心と体のエネルギー補給	1	保健師
	近畿産業衛生学会	ストレスチェック制度における保健師のメンタルヘルス連携の実際	1	保健師
	神戸市職員共済組合	足・腰・ひざを元気に ～無理なく動ける体を維持しましょう～ 腰痛・膝痛予防&解消のための運動	4	健康運動指導士
	神戸市職員共済組合	老化の原因は「サビ」と「コゲ」 ～賢い食べ方でアンチエイジング～ リラックス体操	1	管理栄養士
	日本山村硝子株式会社	受けて終わりはもったいない！ 活用しよう健診結果	1	保健師
	神戸新聞社	アクティブシニアフェア 来場者対象健康チェック（簡易骨密度測定・光学式 ヘモグロビン測定）、ステージイベント（健康表現 体操、元気はつらつ教室）	1	健康運動指導士 トレーナー
	神戸税関	VDT症候群の予防と対策	1	保健師
12月	神戸市職員共済組合	老化の原因は「サビ」と「コゲ」 ～賢い食べ方でアンチエイジング～ リラックス体操	5	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	足・腰・ひざを元気に ～無理なく動ける体を維持しましょう～ 腰痛・膝痛予防&解消のための運動	2	健康運動指導士
	神戸市職員共済組合	健診結果の見方・生かし方 リラックス体操	1	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	目の疲れや肩こりを和らげよう 簡単ストレッチ	1	保健師

IV 健康支援のための健康増進事業及び健康教育事業

実施月	依頼先	内容	回数	出務職種
12月	予防医学事業中央会	ストレスチェック制度における保健師のメンタルヘルス連携の実際	1	保健師
1月	神戸市職員共済組合	脳の健康を保つ教室 ～やわらかアタマでいるために～ 簡単ストレッチと脳トレゲーム	3	保健師
	神戸市職員共済組合	老化の原因は「サビ」と「コゲ」 ～賢い食べ方でアンチエイジング～ リラックス体操	2	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	健診結果の見方・生かし方 リラックス体操	1	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	目の疲れや肩こりを和らげよう 簡単ストレッチ	1	保健師
	神戸市職員共済組合	足・腰・ひざを元気に ～無理なく動ける体を維持しましょう～ 腰痛・膝痛予防&解消のための運動	1	健康運動指導士
	神戸市保健福祉局 健康部健康づくり支援課	健康増進事業従事者研修会 調理実習「野菜、もう一皿食べよう！」	1	管理栄養士
	神戸市環境局庶務課	腰痛防止講習会	4	健康運動指導士
	健康保険組合連合会兵庫連合会	生活習慣病予防セミナー 講演 狭心症、心筋梗塞を発症した患者さんから 教わったあれこれ 講話 動脈硬化を防ぐために～体に良い油とは～ ヘルシー料理試食、健康度測定	1	医師 管理栄養士 看護師 臨床検査技師
2月	兵庫医科大学 保健管理センター保健管理室	女性のための健康セミナー 女性のライフスタイルと食生活 ストレッチ運動	1	健康運動指導士
	神戸市保健福祉局健康部 健康づくり支援課 全国健康保険協会兵庫支部	こうすれば怖くない糖尿病セミナー 糖尿病とともに「幸せ」に暮らすには	1	医師 管理栄養士 保健師 看護師 臨床検査技師
	神戸市職員共済組合	目の疲れや肩こりを和らげよう 簡単ストレッチ	1	保健師
	日本山村硝子株式会社	ストレスチェック結果の見方と活用方法	1	保健師
	神戸市環境局庶務課	腰痛防止講習会	3	健康運動指導士
3月	神戸市環境局庶務課	腰痛防止講習会	3	健康運動指導士
	兵庫県土建一般労働組合 阪神支部	腰と骨は元気の要	1	保健師

神戸市消防局 機関誌「雪」	第108回	足の疲れを取る	4月号
	第109回	目のかすみ	5月号
	第110回	いま注目の栄養素 タウリン	6月号
	第111回	筋肉痛を取る	7月号
	第112回	生体リズム	8月号
	第113回	いま注目の栄養素 クエン酸	9月号
	第114回	背中での疲れを取る	10月号
	第115回	健診結果を見直そう～糖代謝～	11月号
	第116回	いま注目の栄養素 乳酸菌	12月号
	第117回	腰の疲れを取る	1月号
	第118回	花粉症	2月号
第119回	いま注目の栄養素 ビタミンD	3月号	
CO-OPステーション	40歳からの、健康学 第59回 健康診断結果の活用	4月号	

# V 沿革・概要



# 1. 沿革

昭和46年4月	予防医学事業推進のため神戸市医師会と神戸市衛生局が協議、渡邊一九 志賀一清 青井立夫 石垣四郎 鹿野昭二 前島健治らが発起人となり「兵庫予防医学協会」を設立 事務所を神戸市生田区加納町1丁目5神戸市衛生研究所内に置く 会長 渡邊一九就任	昭和51年5月	創立5周年記念「健康をめざす婦人大会」開催 基本財産を増額し、1,500万円となる 第1回予防医学講座開催
6月	児童・生徒の寄生虫卵検査開始	9月	灘神戸生活協同組合より胸部X線車 すこやか3号の寄贈を受ける
9月	「兵庫県予防医学協会」と変更 財団法人予防医学事業中央会及び財団法人日本寄生虫予防会の兵庫県支部となる 灘神戸生活協同組合 組合員健診開始 児童・生徒の尿検査開始	11月	第2回予防医学講座開催
11月	予防医学講演会開催	12月	国民健康保険被保険者対象 胃検診開始
昭和47年4月	事務所を神戸市東灘区御影本町6丁目5-2に移転	昭和52年6月	第3回予防医学講座開催
5月	診療所開設、健診・検査開始	7月	細菌検査部門開設
7月	事業所の定期健診、特殊健診開始	10月	中央労働災害防止協会 中小企業労働者特殊健康診断機関となる
11月	神戸市胃部X線車による、胃がん検診開始	12月	兵庫労働基準局作業環境（測定粉じん）測定登録機関となる
12月	「神戸市子宮がん細胞診センター」業務開始	昭和53年4月	葺合区仮施設へ移転
昭和48年6月	「財団法人兵庫県予防医学協会」設立 基本財産 1,200万円 出捐は 兵 庫 県 300万円 神 戸 市 500万円 灘神戸生活協同組合 100万円 渡邊元会長 100万円 兵庫県予防医学協会 200万円	8月	新館建設 資金 日本船舶振興会 7,020万円 兵庫県 1,500万円 神戸市 2,000万円 借入金 22,000万円 自己資金 3,380万円 計35,900万円 鉄筋コンクリート5階建 敷地面積 654㎡ (神戸市より借地) 建築面積 443.82㎡ 建築床面積 2,117.5㎡
7月	機関誌「あすの健康」第1号発行 法人設立記念講演会として「健康を守る婦人大会」を開催	昭和54年1月	厚生大臣指定 簡易専用水道検査機関となる
9月	登録衛生検査所となる	3月	厚生大臣指定 空気環境測定・飲料水の水质検査機関となる
10月	灘神戸生活協同組合より健診車・X線車生協すこやか号の寄贈を受ける	4月	新館竣工
11月	社団法人全国労働衛生団体連合会加入	5月	中央労働災害防止協会 中小企業労働者健康管理事業助成制度 「じん肺・石棉・クロム・鉛」に係る健康診断機関となる
昭和49年4月	循環器検診、住民健診、予防接種開始	7月	婦人科検診開始 喀痰細胞診開始 胃部精密検査開始
8月	灘神戸生活協同組合 各店舗事務所基準環境測定開始 灘神戸生活協同組合従業員健診開始	10月	成人病総合健診『人間ドック』開始
昭和50年10月	健康保険法 保険医療機関となる	11月	間接断層X線撮影装置による肺がん検診開始 肺がんをなくす会発足

昭和55年 2月	予防医学事業推進 近畿・北陸・東海地区 検査室会議開催	11月	予防医学事業 推進 近畿・東海・北陸地 区会議開催
4月	脊柱検診開始 消化器内視鏡検査開始 公益法人会計基準による会計に移行	昭和63年 2月	予防医学事業中央会全国業務研修会開催
5月	渡邊会長、吉田哲夫医師叙勲受章	4月	ホロンピア'88「新しい健康福祉づくり展」 参加
6月	作業環境測定に「有機溶剤・金属・特定化 学物質」を追加	5月	神戸新聞奨励賞受賞
8月	脊柱検診専門委員会発足 予防医学事業推進全国大会において、渡邊 会長が感謝状を受ける	7月	政府管掌健康保険成人病予防健診機関とな る
昭和58年 1月	学校腎臓専門委員会設置	平成元年 3月	基本財産を増額し1億円となる 出捐は
4月	健康指導室新設		兵庫県 300万円
8月	神戸市長より医学振興への貢献に対し、感 謝状を受ける		神戸市 3,400万円
昭和59年 1月	日本船舶振興会補助事業 胃部X線検診車 すこやか22号完成		灘神戸生活協同組合 670万円
3月	灘神戸生活協同組合より胸部X線車すこや か7号の寄贈を受ける		渡邊元会長 100万円
5月	厚生大臣指定 食品検査機関となる 保健環境検査センターを開設し環境化学分 析、細胞診等の検体検査部門を統合		兵庫県予防医学協会 5,530万円
7月	全国飲用牛乳取引協議会指定検査機関とな る	9月	フェスピック神戸大会組織委員会より大会 への貢献に対し、感謝状を受ける
昭和60年 3月	骨粗鬆症検診MD法により、全国に先駆け、 検診を開始	10月	労働安全衛生法改正により特殊健診に尿代 謝物・血中鉛等の生体試料検査追加、定期 健診に心電図・聴力検査・血液検査追加
4月	学校心臓検診「心音心電図検査」開始	平成2年 4月	健康ライフプラザ準備室開設
8月	灘神戸生活協同組合より胸部X線車すこや か9号の寄贈を受ける	8月	日本自転車振興会補助事業 胸部X線車す こやか19号完成
9月	神戸市長よりユニバーシアード神戸大会へ の貢献に対し、感謝状を受ける	12月	予防医学事業推進 近畿・東海・北陸地区 会議開催
10月	予防医学事業推進全国大会開催	平成3年 5月	会長 青井立夫 名誉会長 渡邊一九 就 任
昭和61年 5月	中央労働災害防止協会 中小企業共同安全 衛生改善事業助成制度に係る作業環境測定 機関となる	6月	創立20周年感謝の集い開催
6月	全国労働衛生団体連合会 鉛検査機関とな る	7月	生活協同組合コープこうべよりDXA車す こやか20号の寄贈を受ける
9月	日本自転車振興会補助事業 胸部X線車す こやか12号完成	9月	DXA車による骨量測定開始
10月	VDT検診開始	10月	THP推進委員会設置
昭和62年 4月	ビル管法適用施設について簡易専用水道検 査開始 レジオネラ属菌検査開始	平成4年 1月	予防医学事業中央会 全国生理機能検査研 修会開催
9月	保健環境検査センター東灘区田中町へ移転 登録衛生検査所再登録	10月	予防医学事業推進全国大会において、青井 会長が感謝状を受ける
		11月	日本自転車振興会補助事業 肺がん検診車 すこやか10号完成 神戸市大腸がん検診開始
		12月	天長島村酒造株式会社と事務所棟建設のた め1,490.08㎡の借地契約締結
		平成5年 6月	中央労働災害防止協会 労働者健康保持増 進サービス機関となる

9月	事務所棟竣工 建築面積 477.15㎡ 建築床面積 1,249.15㎡	4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザの業務全面開始 産業保健専門委員会設置
12月	厚生大臣指定水質検査指定機関となる	5月	計量証明事業（濃度）開始
平成6年1月	予防医学技術研究会学術賞「児玉賞」受賞 「1次検診におけるランニング運動付加心電図検査」	7月	全衛連近畿地方協議会第1回開催
2月	高速らせん型CT装置設置	9月	日本総合健診医学会 優良総合健診施設に認定される
7月	神戸市より医学振興への貢献に対し、感謝状を受ける 兵庫県指定水質検査機関となる	平成11年1月	予防医学技術研究会学術賞「児玉賞」受賞 「水におけるクリプトスポリジウム検出方法の検討」
8月	公益事業「元気な骨をつくるキャンペーン」を実施	2月	全衛連近畿地方協議会第2回開催
10月	日中医療技術協力に参加	4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ1泊2日ドック開始
平成7年1月	阪神・淡路大震災発生 保健環境検査センター全壊 第29回予防医学事業技術研究会中止 出張健診再開	7月	全衛連近畿地方協議会第3回開催
2月	外来健診再開 総合健診再開保健環境検査センター代替施設建設決定	9月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ政府管掌健康保険生活習慣病予防健診実施機関に認定される
4月	中央労働災害防止協会 中小企業安全衛生活動促進事業助成制度による健康診断及び作業環境測定機関となる	11月	社団法人日本作業環境測定協会より作業環境管理への尽力に対し、感謝状を受ける 労働衛生評価機構より評価基準達成の認定
11月	保健環境検査センター竣工 建築面積 300.76㎡ 建築床面積 837.72㎡	平成12年2月	全国労働衛生団体連合会近畿地方協議会第4回開催
12月	社会保険庁より政府管掌健康保険及び厚生年金事業発展への功績に対し、青井会長が表彰状を受ける	7月	健診センター、労働者災害補償保険法の規定による療養の給付を行う診療所（労働者災害補償保険指定医療機関）に指定 神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー100回を迎える
平成8年2月	保健環境検査センターの業務全面開始 登録衛生検査所再登録	9月	生化学自動分析装置（日立7600-110）導入 自動血球分析装置（SysmexSE9000）導入
5月	厚生大臣指定食品検査機関となる	11月	得意先向健診データ管理支援システム「Life-Net」完成 健康ライフプラザ 日本総合健診医学会優良総合健診施設に認定される
12月	日本自転車振興会補助事業 自動血球計数装置設置 予防医学事業推進 近畿・東海・北陸地区会議開催	平成13年1月	予防医学技術研究会学術賞「児玉賞」受賞 「超音波による骨量測定の基準値について」
平成9年4月	一泊二日ドック開始	4月	頸動脈超音波装置（GE横河メディカル社VIVID 3）導入
8月	日本自転車振興会補助事業 胸部検診車2号完成	5月	当協会創立30周年記念講演会を神戸新聞松方ホールにて開催 同時に記念出版として健康ライフプラザ土曜健康科学セミナーの100回分をまとめた『21世紀の「生命」を考える－これからの健康科学～岡田安弘編著・金芳堂』を発行
平成10年2月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ開業に伴う受託事業開始		
3月	磁気共鳴診断装置（MRI）設置		

6月	労働者災害補償保険（労災保険）二次健診等給付指定医療機関となる	6月	NPO法人 J-POSH寄贈 乳がん検診車すこやか55号完成
平成14年1月	第36回予防医学技術研究集会「神戸からの発信－予知の医学をめざして－」を兵庫・神戸で開催	平成18年1月	予防医学事業推進 近畿・東海・北陸地区会議開催
2月	中央労働災害防止協会機器整備補助事業X線装置（DHF-153HⅡ）を導入	3月	保健環境センター ISO9001（JISQ9001：2000）認証取得
3月	神経芽細胞腫検査専用機（東ソ-LC-726VMAⅢ）導入	4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ指定管理制度により受託
4月	財団法人先端医療振興財団 先端医療センターと提携し、人間ドックのオプションとしてPET検診開始	9月	日本自転車振興会 補助事業 胃部X線検診車すこやか21号車完成
7月	日本財団補助事業 胸部X線車すこやか12号完成	10月	便中ヘリコバクターピロリ菌抗原検査開始
8月	胸部X線車すこやか13号完成	平成19年2月	プライバシーマーク認証取得
9月	全自動糖分析装置（シノテストGlucoroder MAX）導入	3月	KEMSこうべ環境マネジメントシステム（ステップ1）認証取得
11月	財団法人日本公衆衛生協会 第6回地域保健全国大会（富山県）において、平成14年度公衆衛生事業功労者表彰団体表彰を受ける	5月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー300回を迎える 会長 近藤武久 名誉会長 青井立夫 就任
12月	高速自動遠心分離機（ABBOTT）導入	7月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ、トレーニングジム利用者100万人達成
平成15年2月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザレディースドック開始 HbA1c分析装置（東ソ-HLC-723G7）導入	10月	特定健診・特定保健指導事業推進本部の設置
3月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー200回を迎える	平成20年3月	ノロウイルス検査（リアルタイムRT-PCR法＝遺伝子検出）開始 灘区岩屋北町の土地（新館建設予定地）のJR西日本株式会社との取得・処分実施
4月	神戸市住民健診事業の全面委託を受ける 自動免疫測定装置（富士レビオLUMIPULSEf）導入	4月	神戸市住民健診から特定健診・特定保健指導制度に移行
7月	生化学自動分析装置（日立7700）導入	平成21年3月	胸部撮影用デジタルX線検診車すこやか15号完成 高性能HbA1c分析装置（DM-JACK Ex）導入
11月	自動免疫測定装置（ABBOTT ARCHITECT i2000SR）導入	平成22年1月	マルチスライスCT装置（日立社ECLOS）設置
平成16年1月	胸部X線車すこやか3号、胃部X線車すこやか27号完成	4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ指定管理制度により受託（第2期）
3月	細隙灯顕微鏡導入	6月	生化学自動分析装置（日本電子BM8020）導入 採血管準備システム（テクノメディカBC・ROBO-888）導入
4月	睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査開始	7月	自動血球装置（シスメックスXT188i）導入 X線骨密度測定装置（HOLOGIC ExplorerC）導入
5月	兵庫県予防医学協会 灘分室開設	8月	会長 松村陽右 就任
11月	第49回予防医学事業推進全国大会を神戸で開催	平成23年1月	財団法人JKA補助事業 胸部デジタルX線検診車すこやか17号完成
平成17年3月	胸部X線車すこやか14号完成 X線骨密度測定装置（DXA：米国HOLOGIC社）導入		
4月	緑内障スクリーニング検診開始		

2月	予防医学技術研究会議開催を神戸で開催				
3月	子宮がん細胞診液状検体処理装置（BDプレップステインフルセット）導入 印刷機（富士ゼロックス 700Digital Color Press）導入				協会けんぽ健診実施機関指定 御影健診センター改修工事開始 予防医学事業中央会学術賞「児玉賞」受賞 「X線学的胃粘膜萎縮度について－胃がん検診におけるハイリスクストラテジーとしての一考」
7月	基本財産を増額し255,979千円となる 出捐は				
	兵庫県	3,000千円			3月
	神戸市	34,000千円			1.5T磁気共鳴断層撮影装置（シーメンス・ジャパンMAGNETOM ESSENZA A Tim+Dot System）設置
	生活協同組合コープこうべ	6,700千円			4月
	渡邊一九 前名誉会長	1,000千円			神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ指定管理制度により、(株)オーグースポーツ、(株)日立ビルシステムとの共同体で受託（第3期）
	兵庫県予防医学協会	211,279千円			要介護予防事業の一環として、「頭にいいラジオ」（ラジオ関西）放送開始
8月	ガスクロマトグラフ（GC-2010PlusAF）導入				5月
10月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー400回を迎える				上部消化管汎用スコープ（オリンパスGIF-PQ260）導入
12月	便潜血自動免疫化学分析装置（DIANA）導入				6月
平成24年2月	胸部X線撮影デジタルシステム導入				御影健診センター竣工 建築面積 443.88㎡ 建築床面積 2,033.95㎡
3月	胸部デジタルX線検診車すこやか18号完成				8月
6月	上部消化管内視鏡検査システム（オリンパス EVIS LUCERA CV-260）、上部消化管汎用ビデオスコープ（オリンパスGIF-PQ260）導入 胸部デジタルX線検診車すこやか12号、14号完成				内視鏡ビデオシステム（EVIS-LUCERA ELITE）導入
8月	神戸市灘区岩屋北町に、新館建設着工 鉄筋コンクリート5階建 敷地面積 4,429.91㎡ 建築面積 1,697.74㎡ 建築床面積 6,970.54㎡				9月
12月	会長 南部征喜 就任				いきいきライフドック開始
平成25年3月	デジタル胃部X線撮影装置（東芝Raffine DREX-RF50101）設置 胸部デジタルX線検診車すこやか19号完成 胃部デジタルX線検診車すこやか23号、27号完成 上部消化管汎用スコープ（オリンパスGIF-PQ260）導入				12月
4月	公益財団法人へ移行				予防医学事業推進 近畿・東海・北陸地区会議開催 旧2、3号館の借地を返還
11月	新館竣工 建築面積 1,697.74㎡ 建築床面積 6,970.54㎡				平成27年3月
	デジタル胸部X線撮影（日立メディコ DHF-155H4、キャノンFPD-CXDI）設置				胃部デジタルX線検診車すこやか24号完成 胸部デジタルX線検診車すこやか1号完成 全自動免疫測定装置（シスメックス HISCL-5000）導入
12月	健診センター 診療所開設				4月
平成26年1月	健診センター落成 保険医療機関指定				神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ 神戸市国民健康保険加入者対象のセット健診（特定健康診査・特定保健指導、がん検診）開始 トレッドミル走行装置（フクダ電子MAT-2700）導入
					6月
					神戸市市民健診 慢性閉塞性肺疾患（COPD）リスクチェック開始
					11月
					メンタルヘルス事業 ストレスチェックシステム導入
					12月
					認知症予防事業開始 禁煙外来開設 日本宝くじ協会 助成事業 乳がん検診車すこやか56号完成
					平成28年2月
					胸部デジタルX線検診車すこやか5号完成
					3月
					自動血球分析装置（Sysmex XN-1000, 2000）導入 神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー500回を迎える

## 2. 施設概要

### 健診センター

所在地	神戸市灘区岩屋北町1丁目8-1	
敷地面積	4,429.91㎡	
建物	構造	鉄筋コンクリート、5階建
	建築面積	1,697.74㎡
	延床面積	6,970.54㎡

### 御影健診センター

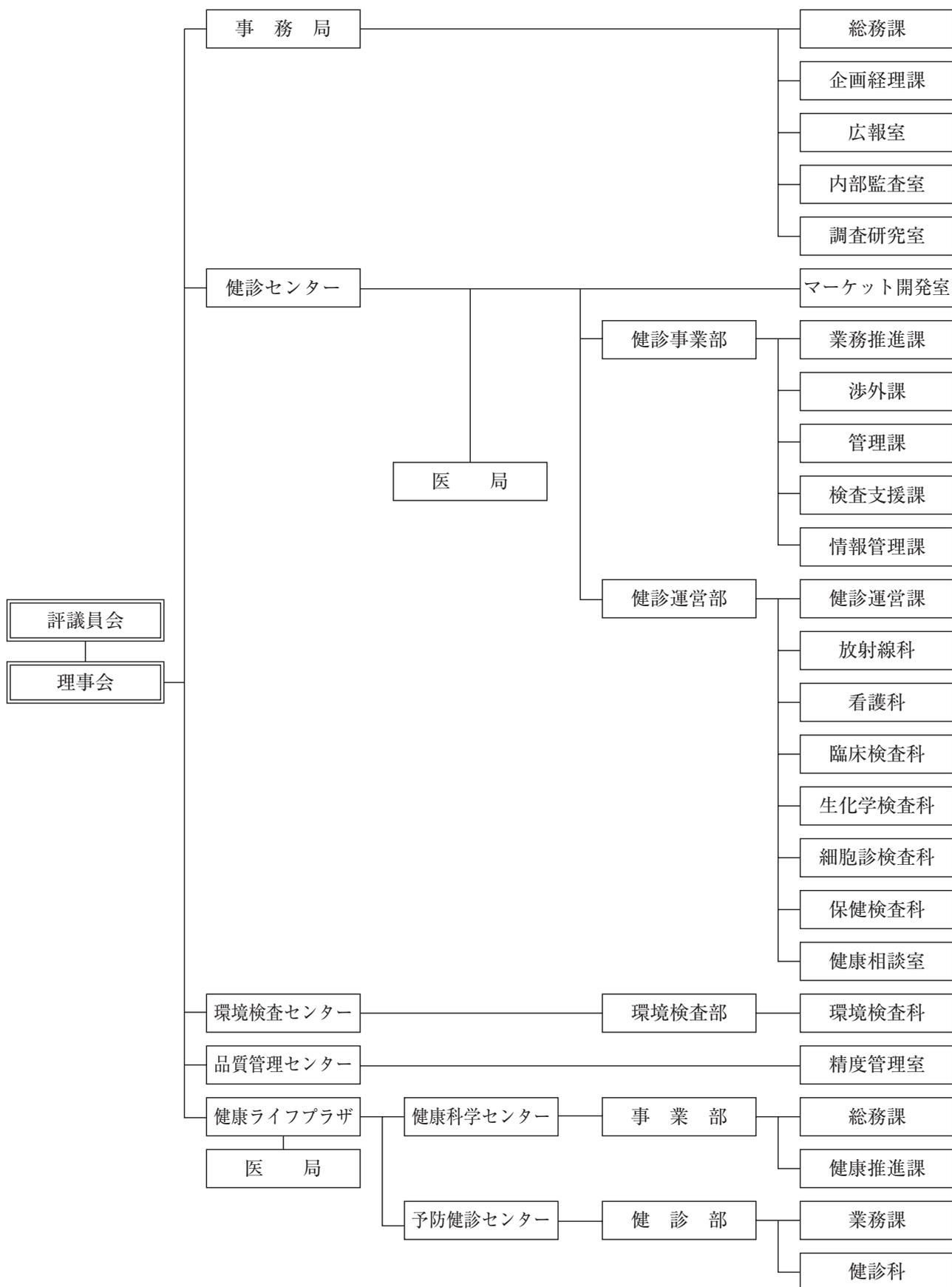
所在地	神戸市東灘区御影本町6丁目5-2	
敷地面積	652.50㎡	
建物	構造	鉄筋コンクリート、6階建
	建築面積	443.88㎡
	延床面積	2,033.95㎡

### 神戸市健康づくりセンター 健康ライフプラザ

所在地	神戸市兵庫区駅南通5丁目1番2-300号	
敷地面積	8,099.95㎡	
建物	構造	鉄筋コンクリート
	建築面積	4,878.06㎡
	延床面積	6,771.43㎡

### 3. 組織図

平成28年5月31日現在



## 4. 名簿

### (1) 評議員

(五十音順)

平成28年5月31日現在

氏 名	公 職 等	備 考
置 塩 隆	一般社団法人神戸市医師会 会長	
門 野 隆 弘	株式会社神戸新聞社 地域活動局長	
太 城 力 良	学校法人兵庫医科大学副理事長	
畑 祐 司	生活協同組合コープこうべ 健康管理室統括部長	
藤 澤 正 人	神戸大学医学部附属病院長	
細 谷 亮	神戸市立医療センター中央市民病院院長代行	
三 木 孝	神戸市保健福祉局長	
藪 本 訓 弘	兵庫県健康福祉部健康局長	

合計8名

[任 期] 平成25年4月1日から平成29年6月の定時評議員会の終結時まで

## (2) 理事

平成28年5月31日現在

役 職	氏 名	公 職 等	備 考
会 長	南 部 征 喜		
副 会 長	西 田 芳 矢		
〃	槇 村 博 之	前一般社団法人神戸市医師会副会長	
常務理事	岡 秀 次		
〃	安 田 敏 成		
理 事	岡 田 泰 長	一般社団法人神戸市医師会副会長	
〃	木 田 克 也	生活協同組合コープこうべ専務理事	
〃	田 中 良 樹	一般社団法人兵庫県医師会常任理事	
〃	池 窪 勝 治		
〃	石 原 享 介		
〃	泉 佳 延		
監 事	尾 崎 一 夫	尾崎会計事務所 税理士	
〃	中 嶋 徹	中嶋法律事務所 弁護士	

合計13名（理事11名 監事2名）

[任 期]

理 事 平成27年6月19日から平成29年6月定時評議員会の終結時まで

(石原理事：平成27年4月1日から平成28年6月定時評議員会の終結時まで)

監 事 平成25年4月1日から平成29年6月定時評議員会の終結時まで

## (3) 顧問・名誉会長

平成28年5月31日現在

役 職	氏 名	公 職 等
顧 問	井 戸 敏 三	兵庫県知事
〃	久 元 喜 造	神戸市長
〃	川 島 龍 一	一般社団法人兵庫県医師会会長
〃	高 士 薫	株式会社神戸新聞社代表取締役社長
〃	石 垣 四 郎	元公益財団法人兵庫県予防医学協会副会長
〃	藤 田 拓 男	神戸大学名誉教授
〃	河 野 通 雄	神戸大学名誉教授
〃	住 野 公 昭	神戸大学名誉教授
〃	中 村 肇	神戸大学名誉教授
〃	野 田 起一郎	近畿大学名誉学長
〃	多田羅 浩 三	大阪大学名誉教授
〃	松 村 陽 右	前公益財団法人兵庫県予防医学協会会長
〃	柴 谷 昭 治	元公益財団法人兵庫県予防医学協会副会長
〃	森 脇 潤	公益財団法人こうべ市民福祉振興協会理事
〃	岡 田 安 弘	神戸大学名誉教授

役 職	氏 名	公 職 等
名誉会長	青 井 立 夫	元公益財団法人兵庫県予防医学協会会長

## 5. 有資格者一覽

平成28年5月31日現在

医師	14名	細胞検査士	5名
保健師	8名	超音波検査士	3名
看護師	15名	マンモグラフィ検診認定技師	3名
管理栄養士	3名	胃がん検診専門技師	8名
臨床検査技師	42名	消化器内視鏡技師	7名
診療放射線技師	15名	選別聴力検査員	5名
環境計量士	3名	簡易専用水道検査員	17名
作業環境測定士（第一種）	3名	健康運動指導士	3名
衛生管理者	30名	労働衛生コンサルタント	2名
産業医	7名		

# 平成27年度 事業年報

第33号

平成28年 6月 1日 発行

発行人 南 部 征 喜

編集人 千 葉 裕 司  
事業年報編集委員会

発行所 公益財団法人 兵庫県予防医学協会  
〒657-0846 神戸市灘区岩屋北町1-8-1  
電話 078(855)2716

印刷所 水山産業株式会社